MITSUBISHI MOTORS
GENUINE PARTS

三菱純正用品
オリジナルナビゲーション
（詳細版）

MM114D-WM

取 扱 説 明 書

部品番号:
MZ609599

ご使用前に必ずお読みください。

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

道路の状況や本機の精度により、不適切な案内をする場合がありますので、本機はあくまで走行の参考にしてください。
ルート案内時でも、走行中は必ず道路標識など実際の交通規制（一方通行など）に従って走行してください。

事故防止のため、運転中は絶対に操作しないでください。

- ●本書内の画面やイラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- ●本書は仕様変更により、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本機の故障、誤動作または不具合により本機に記録できなかったデータ、消失したデータなどについては補償できません。

BLUETOOTH® 対応装置には技術基準適合認定を受けた無線機器を搭載しております。

本書の読みかた

本書では、用途別に下記のマークを使用しています。
本書をお読みになる前にご確認ください。

A-1	アルファベットは章、数字は章のページを表します。
メニュー ／ 自宅	本体パネルのボタン／タッチパネルのボタンを表します。
	参照していただきたい本文のタイトル名やページ番号を表します。
	画面上でタッチするボタンを表します。

本機でできること

快適なドライブをするためにさまざまな機能が用意されています。それぞれの機能の特長をご理解いただき、正しくご使用ください。

VICS…F-2

渋滞情報などを地図上に表示させることができます。

カーウイングス…H-1

カーウイングス情報センターと通信し、目的地や経由地などを設定できます。

ハンズフリー…N-1

携帯電話を操作することなく、電話を受けたり、かけたりできます。

ラジオ…K-7

ラジオや道路交通情報を聞くことができます。

USB機器…K-16

ウォークマン®／USBメモリーに収録されている音楽データを再生できます。

SDカード…K-16

SDカードに収録されている音楽データを再生できます。

iPod／iPhone…K-10

iPod／iPhoneに収録されている音楽やビデオを再生できます。

TV…L-1

地上デジタルテレビ放送を見ることができます。

外部接続…M-1

AV機器やポータブルオーディオ機器などの映像や音声を視聴できます。

もくじ

本書の読みかた……3
本機でできること……4

はじめに A–1

安全上のご注意……A–2
使用上のお願い……A–10
本機を起動する……A–13
各部のなまえとはたらき……A–16
メニュー画面の操作のしかた……A–17
メニューのボタンを変更する……A–18
ディスプレイの角度を調整する……A–19
ディスクやSDカードを入れる／取り出す……A–20
文字／数字の入力のしかた……A–21

ナビゲーションの基本操作 B–1

地図の見かた……B–2
地図表示(方位)を切り替える……B–4
地図をスクロールする(地図を動かす)……B–5
地図を拡大／縮小する……B–6
現在地を表示する……B–7
自宅を登録する……B–8
Quick機能について……B–9
右画面に地図／情報を表示する……B–11
Quick MENUを設定する……B–13

目的地を探す C–1

施設の名称で探す……C–2
住所で探す……C–4
郵便番号で探す……C–5
登録地から探す……C–6
電話番号で探す……C–7
履歴の中から探す／削除する……C–8
周辺にある施設から探す……C–9
施設のジャンルから探す……C–11
マップコードで探す……C–13
緯度・経度で探す……C–13
スマートフォンアプリNaviConについて……C–14

ルート探索をする D–1

ルート設定について……D–2
ルート探索をする……D–3
クイック ルート探索をする……D–6
現在地から自宅までのルートを探索する……D–6
ルートを変更する……D–7
ルート案内をストップ／スタートする……D–12
現在のルートを表示する……D–12
現在のルートを保存する……D–13
現在のルートを削除する……D–13
保存したルートの呼び出し／削除をする……D–14
渋滞地点を確認する……D–15
渋滞予測ルート探索をする……D–16
シミュレーション走行をする……D–18
迂回探索をする……D–19
再探索をする……D–20
ルート探索の詳細条件を設定する……D–21

ナビゲーションの設定 E–1

地図画面の表示設定をする……E–2
自車位置の設定をする……E–6
走行軌跡の設定をする……E–7
案内画面の設定をする……E–8
高速道路での逆走報知を設定する……E–11
地点を登録する……E–12
自宅／登録地／フォルダ名を編集する……E–13
自宅／登録地を削除する……E–16
登録地の順番を並び替える……E–17
VICS情報表示の設定をする……E–18
渋滞情報保存時間を設定する……E–19

情報を見る F–1

交通情報(VICS情報)を見る……F–2
緊急情報を見る……F–4
交通情報を選局する……F–5
プリセット(保存)する……F–6
プリセット(保存)した放送局を呼び出す……F–6
エコ運転診断の設定をする……F–7
GPS情報を見る……F–9
渋滞予測地図を見る……F–10
システム情報／バージョン情報を見る……F–11

各種設定／登録をする G–1

セキュリティを設定する……G–2
盗難多発地点を設定する……G–4
iPod／iPhone抜き忘れ案内の設定をする……G–5
メンテナンス情報を設定する……G–6
ユーザー切り替え／ユーザー名を変更する……G–7
メニュー項目を英語／韓国語／中国語で表示する…G–8
音声案内の音量調整／詳細設定をする……G–9

接続確認をする……G-10
さまざまな情報を初期化する……G-11
オプションボタンを設定する……G-12
携帯電話を登録する……G-13
携帯電話のデータ通信設定……G-17
キー操作音の設定をする……G-19

カーウイングスを利用する H-1

カーウイングスについて……H-2
オペレータに接続する……H-4
渋滞情報を取得する……H-6
情報チャンネルを見る……H-7
ここです車メールを使う……H-8
お気に入りチャンネルを登録する……H-9
お気に入りチャンネルに登録したリストを消去する……H-11
オペレータ履歴を見る……H-12
情報チャンネル履歴を見る……H-14
オペレータ接続の設定をする……H-16
情報チャンネルの設定をする……H-17
渋滞情報の自動取得設定をする……H-18
プローブ情報を設定する……H-19
カーウイングスの停止を申請する……H-20

カメラを使う I-1

リヤビューカメラの映像を表示する……I-2

地図を更新する J-1

地図更新について……J-2
全国地図更新を利用する……J-2
主要地図更新を利用する……J-3

オーディオを楽しむ K-1

オーディオの基本操作……K-2
CDを聞く……K-4
ラジオ(FM／AM／交通情報)を聞く……K-7
iPod／iPhoneを使う……K-10
USB機器／SDカードを使う……K-16
オーディオ設定をする……K-21
車速連動音量を設定する……K-23

TVを見る L-1

TVを見る……L-2
視聴エリアの変更をする……L-6
スキャンする……L-6
郵便番号を設定する……L-7
中継・系列局サーチをする……L-7
デバイスID／システム情報を見る……L-7
各種設定をする……L-8
受信レベルを確認する……L-9
緊急警報放送について……L-9

外部機器の映像を見る／音声を聞く M-1

接続する……M-2
映像を見る／音声を聞く……M-3

ハンズフリーを使う N-1

ハンズフリー電話を使う……N-2
ハンズフリーの通話設定……N-6
携帯電話のアドレス帳を本機に転送する……N-7

困ったとき O-1

故障かな？と思ったら……O-2
こんなメッセージが表示されたら……O-17

必要なとき P-1

GPS衛星の電波受信と測位……P-2
自律航法とマップマッチング……P-3
音声案内について……P-4
音声はそのままで、画面を消す……P-6
ルート案内時の注意点……P-7
出発地・経由地・目的地の設定について……P-9
VICSについて……P-10
地図ソフトについて……P-14
市街地図の収録エリア……P-18
地図に表示される記号……P-24
表示できる施設……P-25
映像の調整のしかた……P-27
オーディオ／テレビ／ラジオについて……P-29
ディスク／SDカードについて……P-30
USB機器について……P-32
ウォークマン®について……P-33
iPod／iPhoneについて……P-35

ハンズフリーについて……P-36
ステアリングオーディオリモコンスイッチ
について……P-38
音楽ファイルについて……P-39
仕様……P-43
初期設定一覧……P-44
別売品(システムアップ)について……P-47
商標など……P-48
個人情報の取り扱いについて……P-50
保証とアフターサービス……P-50
さくいん……P-51

A はじめに

安全上のご注意……A-2
使用上のお願い……A-10
本機を起動する……A-13
利用開始日登録とイージーセットアップを行う… A-13
各部のなまえとはたらき……A-16
ディスプレイ閉 …… A-16
ディスプレイ開 …… A-16
メニュー画面の操作のしかた……A-17
目的地メニューの表示のしかた …… A-17
AVメニューの表示のしかた …… A-17
情報・設定メニューの表示のしかた…… A-18
メニューのボタンを変更する……A-18
ディスプレイの角度を調整する……A-19
ディスクやSDカードを入れる／取り出す…A-20
文字／数字の入力のしかた……A-21
ひらがな／カタカナ／英数／記号を入力する … A-21
漢字を入力する …… A-22
数字を入力する …… A-22
携帯電話入力方式で入力する …… A-23
修正する …… A-23

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

● **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

⚠ **警告**	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ **注意**	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

● **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

取り付けや配線をするとき

⚠ 警告

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと干渉や接触することがないよう注意し、加工部のサビ止めや浸水防止の処置をする

火災や感電の原因となります。

取り付け作業前には、必ずバッテリーの⊖端子を外す

プラス⊕とマイナス⊖経路のショート事故による感電やけがの原因となります。

コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープなどでまとめ固定する

ハンドルやセレクトレバー、シフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと交通事故の原因となり危険です。

コード類の配線は、高温部を避けて行う

コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災・感電の原因となります。

取り付けや配線をするとき

⚠ 警告

フィルムアンテナは取付要領書に指示された場所に貼り付ける

視界不良となり事故の原因となることがあります。取付要領書の指示どおりの取り付けをしないと、保安基準の適合として認められないことがあります。また、再貼り付けや汎用の両面テープなどで取り付けないでください。フィルムアンテナがはがれて思わぬ事故の原因となることがあります。

接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープなどで絶縁する

ショートにより火災や感電、故障の原因となります。

取り付けや配線が終わったら、ブレーキランプ、ライト、ホーン、ウィンカー、ワイパーなど、全ての電装品が正しく動くことを確かめる

正常に動かない状態で使用すると火災や感電、交通事故の原因となります。

本機を、前方の視界を妨げる場所やハンドル・シフトレバー・ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険をおよぼす場所には取り付けない

交通事故やけがの原因となります。

本機を取り付けるときやアースを取るときに、車体のボルトやナットを使用する場合は、ハンドル・ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルトやナットは絶対に使用しない

これらを使用しますと制動不能や発火、交通事故の原因となります。

本機を船舶、航空機などの主航法装置として使用しない

測定誤差が生じたりするため、事故の原因となります。
また、塩害などにより、火災・感電の原因となります。

取り付けや配線をするとき

⚠ 警告

本機は 12 V車専用です。24 Vの車(トラック・バス・寒冷地仕様のディーゼル車など)では使用しない

24 V車で使用すると火災や故障などの原因となります。

電源コード線の被覆を切って、他の機器の電源を取らない

コード線の電流容量をオーバーし、火災や感電・故障の原因となります。

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない

エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。
車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

分解禁止

本機を分解したり、改造しない

交通事故・火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

本機の取り付け・配線は、専門技術者に依頼する

安全のため必ずお買い上げの販売会社に依頼してください。
誤った取り付けや配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。

必ず付属の部品を指定どおり使用する

指定以外の部品を使用すると、本機内部の部品を傷めたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。

取付要領書に従って、正しく配線する

正規の接続を行わないと、火災や故障の原因となることがあります。

取り付けや配線をするとき

⚠ 注意

電源コードの接続は、配線作業の最後に行う

ショート事故による感電やけがの原因となることがあります。

車体やねじ部分・シートレールなどの可動部にコード類を挟み込まないように配線する

断線やショートにより、故障や感電・火災の原因となることがあります。

雨が吹き込むところや、水のかかるところなど湿気やほこり・油煙の多いところには取り付けない

本機に水や結露（エアコンホース周辺など）・ほこり・油煙が混入しますと発煙や発火、故障の原因となることがあります。

振動の多いところなど、しっかりと固定できないところには取り付けない

外れて事故やけがの原因となることがあります。

本機の通風孔や放熱板をふさがない

通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

コード類は決して途中で切断しない

コード類にはヒューズなどが付いている場合があるので、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。

コードが金属部に触れないように配線する

金属部に接触しコードが破損して、火災や感電・故障の原因となることがあります。

電源用のリード線は、バッテリーに直接接続しない

車の振動や熱でコードの被膜が破れ、ショートして火災や感電の原因となることがあります。

取り付けや配線をするとき

⚠ 注意

左右のスピーカーの⊖側を共通線にしたり、車体にアースしない

ショート事故による感電やけがの原因となることがあります。

本機を車載用として以外は使用しない

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。

ご使用になるとき

⚠ 警告

万一、異物が入った・水や飲みものがかかった場合や、煙が出る・変なにおいがする・変な音がするなど異常が起こった場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売会社に相談する

そのままご使用になると思わぬ事故・火災・感電の原因となります。

運転者がテレビなどを見るときは必ず安全な場所に車を停車して使用する

テレビなどは安全のため走行中は表示されません。交通事故の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

医療用電気機器などへの影響を確認する

本機は、無線機能を搭載しています。心臓ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用になる場合は、当該の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について必ずご確認ください。

ご使用になるとき

⚠ 警告

運転者は走行中に、本機や周辺機器の操作やディスクの交換はしない

前方不注意となり交通事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない

思わぬ事故・火災・感電の原因となります。

本機の中に水や異物を入れない

発煙や発火、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視しない

必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

SDカードなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐ医師に相談してください。

⚠ 注意

長時間ご使用にならないときは、ディスク／SDカードを取り出す

長時間、本機内に入れておくと、高温などのためにディスク／SDカードを傷める原因となることがあります。

運転中の音量は車外の音が聞こえる程度で使用する

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

ご使用になるとき

⚠ 注意

ナビゲーションによるルート案内と実際の交通規制が異なる場合は、実際の交通規制に従って走行する

ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制に反する場合があり、交通事故の原因となります。

ディスク／SDカードを出し入れするときは、シフトレバーがディスプレイに当たらない位置で行う

交通事故の原因となります。

直射日光が当たる場所で使用しない

金属部分が高温になり、触れると火傷する可能性があります。

ディスク／SDカード挿入口に異物を入れない

火災や感電、故障の原因となることがあります。

ディスク／SDカードに、はがれやすいシール、シート類が貼り付いた状態で挿入しない

火災や感電、故障の原因となることがあります。

エンジンを停止したままで長時間使用しない

車のバッテリーがあがるおそれがあります。

音声が割れる・ひずむなどの異常状態で使用しない

火災の原因となることがあります。

タッチパネルを強く押したり、強い衝撃を与えない

タッチパネルのガラスが割れて、けがの原因となることがあります。

ディスプレイを開けたまま走行しない

急ブレーキ時に開いたディスプレイに体が当たり、思わぬけがをするおそれがあります。

ご使用になるとき

⚠ 注意

液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れない

皮膚の炎症などの原因となることがあります。

- 万一口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり皮膚に付着した場合は、清浄な水で充分洗浄した後、医師に相談してください。

ディスプレイの収納や角度調整時に、手や指を入れない

挟まれてけがの原因となることがあります。

ディスク／SDカード挿入口に手や指を入れない

けがの原因となることがあります。

接触禁止

本機の電源が入っているとき、または電源を切った直後などに、本機裏側の放熱板や、アンプに触れない

高温のため、やけどの原因となることがあります。

使用上のお願い

温度について

極端に寒いときや暑いときは、正常に動作しないことがあります。
常温に戻ると正常に動作します。

結露について

雨の日または湿度が非常に高いとき、または寒いとき、ヒーターをつけた直後など本機内部の光学系レンズに露(水滴)が生じることがあります。この状態では、レーザーによる読み取りができず正常に動作しないことがあります。周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ正常に動作するようになります。

振動について

本機に強い振動が加わると、まれに音飛びや映像が欠けるなどの症状がみられることがあります。
強い振動がおさまると通常の動作に戻ります。

ディスプレイについて

- 液晶の特性上、直射日光が反射して画面が見づらくなることがあります。
- 液晶パネルの同じ場所に、赤い点や青い点などが現われる場合がありますが、これは液晶パネルの性質上起こるものであり、故障ではありません。
- タッチパネル面に保護フィルムを貼り付けた場合、正常に動作しないことがありますので、保護フィルムは貼り付けないでください。

地図画面の表示について

- 最も詳細な地図の縮尺が地域によって異なるため、地図画面を移動して縮尺の異なる地域に移ると、地図が切れたような画面になります。そのまま地図を移動し続けると、通常の地図画面に戻り、縮尺は表示中の地域の最も詳細なものに変わります。
- 走行中は、細街路(道幅5.5 m未満の道路)を表示しません。
  ※細街路を走行しているときは、細街路表示をします。
  ※細街路によっては、走行中も消えないものもあります。

車のエンジン停止中でのご使用について

- 車のエンジン停止中に本機をご使用になりますと、車のバッテリーがあがるおそれがあります。
  エンジンを停止したままで長時間ご使用にならないでください。
- エンジン停止中に本機を使用しているとき、エンジンを始動すると、電圧降下により、初期の画面に戻ることがあります。

お手入れについて

- 画面は指紋やほこりが付きやすいので、ときどき清掃してください。
  清掃するときは、車のキースイッチを「OFF」にし、乾いた柔らかい布で拭いてください。（汚れをおとす場合は、中性洗剤を少量溶かした水に浸してよく絞った布か、エタノールをしみ込ませた柔らかい布で拭いてください。）
  ぬれたぞうきん・有機溶剤（ベンジン、シンナーなど）・酸・アルカリ類は使用しないでください。また硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。
- キャビネットやパネル面、その他の付属品にベンジン、シンナー、殺虫剤などの揮発性の薬品をかけると、表面が侵されることがありますので使用しないでください。またセロハンテープやばんそうこうなどの粘着性のものを貼ったりすることも、キャビネットを汚したり傷めますので避けてください。

キーレスオペレーションキーの動作について

キーレスオペレーションキーが装着されている車両では、キーレスオペレーションキーを本機に近づけると動作しなくなる場合がありますので、十分にご注意ください。

地上デジタルテレビ放送の番組受信について

- 安全のため、走行中はナビゲーション画面のみ表示可能です。（走行中はTV画面は映らず、音声のみとなります。）
- 受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音が途切れたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺の環境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など（パソコンや携帯電話など）を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像・音声などに不具合が発生する場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたり雑音がはいる場合があります。
- 車の走行速度によっては音声が乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動きなどにより受信状態が悪くなり、映像・音声が乱れる場合があります。
- コピーガードがかかっている番組は録画機器を経由して視聴すると正常に受像できない場合があります。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とモニターを接続してください。

免責事項について

- 火災、地震、水害、落雷、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他の異常な条件下でのご使用により故障または損傷した場合には有料修理となります。
- 本機の使用または使用不能から生じる損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)に関して、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本機を業務用の車両(タクシー・トラック・バス・商用車など)に使用した場合、保証の対象にはなりません。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、本機に入力した個人情報(登録地の住所や電話番号など)の取り扱い、管理(消去など)は、必ずお客さまの責任において消去してください。
- 本機の使用を誤ったときや静電気・電気的なノイズの影響を受けたときに基本プログラムなどが消失・変化した場合は補償できません。また、修理によって本機に登録した内容(登録地など)が消去された場合も補償できません。
- 地上デジタルテレビ放送に関する情報は、本機に保存されます。万一、本機の故障、不具合によって、これらの情報が消失した場合でも補償できません。
- 本機で再生するデータは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはデータが失われるおそれがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。

その他

お客さまが録音・録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっているデータの記録されたUSB機器などは、著作権法の規定による範囲内で使用してください。

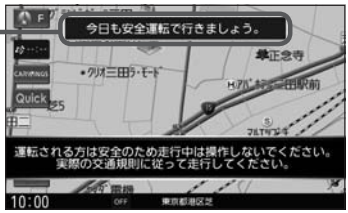
本機を起動する

1 車のキースイッチを「ACC」または「ON」に入れる。

※初回起動時は、取り付け設定・確認画面が表示されますので、以降の手順に従って登録操作およびイージーセットアップを行ってください。

安全運転メッセージの内容は時間帯によって異なります。

起動時に地図画面が表示されたとき(例)



お知らせ

- **お買い上げ後、一度も現在地の測位ができていない場合は、三菱自動車工業本社付近を表示します。**
- 安全運転メッセージは非表示にできます。

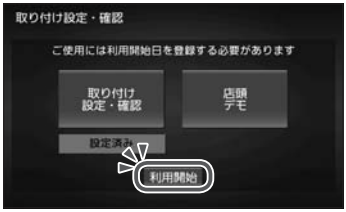
利用開始日登録とイージーセットアップを行う

初回起動時、取り付け設定・確認画面が表示されます。

1 利用開始 をタッチする。

※ 利用開始 を選べない場合は、車をGPSが受信できる場所に移動してください。

※ 利用開始 以外をタッチした場合は、車のキースイッチを入れなおしてください。

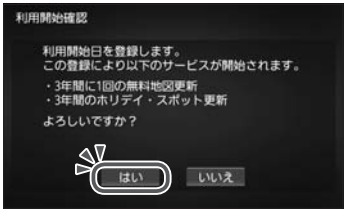


2 はい をタッチする。

：利用開始日登録確認画面が表示されます。

※3年の間に1回無料*[1]で全国地図の更新が受けられます。

*1…無料の全国地図更新を受けられるのは、12ヶ月／24ヶ月法定点検時、3年車検時のいずれか1回のみです。



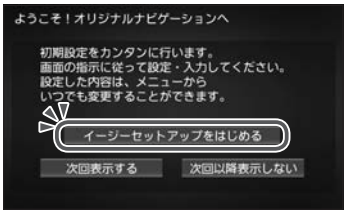
3 以降は、画面の指示に従って登録操作をする。

：登録が完了すると、イージーセットアップ画面が表示されます。

お知らせ

一度登録すると、次回から登録画面は表示されません。登録しないで車のキースイッチを「OFF」にすると、本機を起動時、再度登録画面が表示されます。

4 イージーセットアップをはじめる をタッチして、イージーセットアップを始める。



お知らせ

次回表示する をタッチすると、次回起動時に再度イージーセットアップ画面が表示されます。
次回以降表示しない をタッチすると、次回起動時にイージーセットアップ画面は表示されません。
情報・設定メニューから ナビ設定 ➡ イージーセットアップ をタッチしてください。

5 画面の指示に従って、セットアップ操作をする。

※ 次へ をタッチすると、次の画面に移ります。
前へ をタッチすると、ひとつ前の画面に戻ります。
終了 をタッチすると、現在地の地図画面になります。

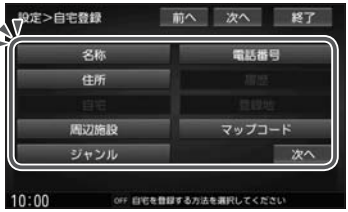
■ 音声案内の設定

－ ／ ＋ をタッチしてルート案内時の音声の音量を設定します。

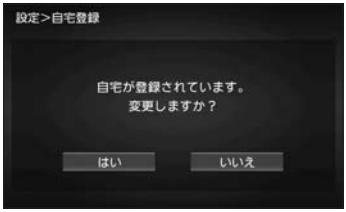
■ 自宅の設定

自宅へのルートを探索するために自宅の登録を行います。
登録方法を選んで自宅を登録してください。

※自宅が登録済みの場合は、確認メッセージが表示されます。



自宅が登録済みの場合



■ BLUETOOTHの設定

ハンズフリーなどを使うために携帯電話の登録や音量設定などを行います。

■ オプションボタンの設定

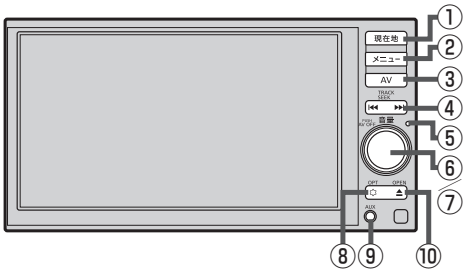
本機前面の☆(オプション)に割り当てる機能を設定します。

6 **イージーセットアップを終わるときは、終了をタッチする。**

：現在地の地図画面を表示します。

各部のなまえとはたらき

ディスプレイ閉



① 現在地 ボタン

- 現在地の地図を表示します。
- 長押しすると画質調整画面を表示します。

② メニュー ボタン

- トップメニュー画面を表示します。
- 長押しすると画面を消します。

③ AV ボタン

選択中のオーディオ画面またはAVメニュー画面を表示します。

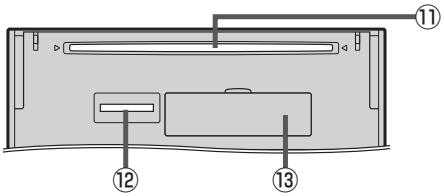
④ ⏮ ⏭ ボタン

- 短押しすると
  曲／ファイル　：頭出し
  ラジオ／TV　：選局
- 長押しすると
  曲／ファイル　：早戻し（⏮）、早送り（⏭）
  ラジオ／TV　：自動選局

⑤ セキュリティインジケータ

セキュリティコードを設定すると、点滅して盗難抑止のお知らせをします。

ディスプレイ開



⑥ 音量 ツマミ

音声案内中／オーディオON時／ハンズフリー中に各音量を調整します。

※次の音量は音出力中でなくても別方法で音量設定できます。
音声案内 G-9、ハンズフリー N-6

⑦ PUSH AV OFF ボタン

オーディオをON／OFFできます。

⑧ ボタン（オプション）

オプションボタン画面で選んだ機能の操作をします。

⑨ AUX端子

市販のポータブルオーディオ機器を接続します。

⑩ ⏏ ボタン（OPEN）

ディスク／SDカードの出し入れやディスプレイの角度調整をするときに押します。

⑪ ディスク挿入口

⑫ SDカード挿入口

⑬ 地図SDカード挿入口

あらかじめ地図SDカードが挿入されています。

※ドライバーなど工具を使用して開けると、ツメ部分が破損するおそれがありますのでご注意ください。

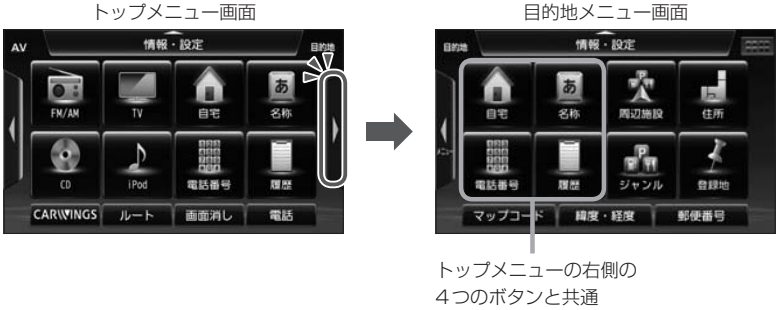
メニュー画面の操作のしかた

本機には4つのメニュー画面(トップメニュー、AVメニュー、目的地メニュー、情報・設定メニュー)があり、ほとんどの操作はメニュー画面から行います。

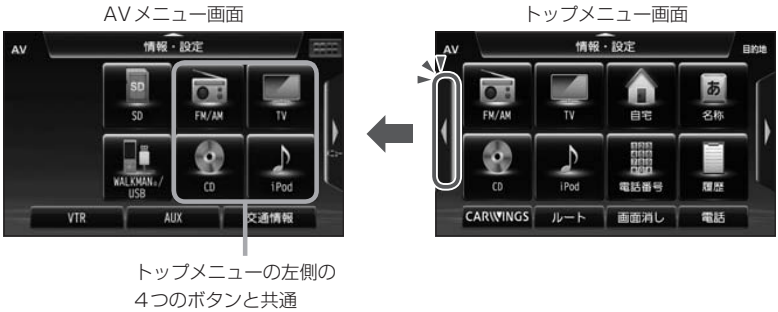
1 メニュー を押してトップメニューを表示させ、上左右の表示ボタンをタッチする。

トップメニュー画面

目的地メニューの表示のしかた



AVメニューの表示のしかた



情報・設定メニューの表示のしかた

トップメニュー画面

情報・設定メニュー画面

移る前のメニュー名を表示します。
（トップメニューは“メニュー”と表示）
タッチすると移る前の画面に戻ります。

お知らせ

目的地メニューやAVメニューから情報・設定メニューに移ることもできます。

メニューのボタンを変更する

目的地メニューまたはAVメニューのボタンを変更できます。

1 **目的地メニューまたはAVメニューから カスタマイズボタンをタッチする。**

目的地メニュー（例）

メニュー下段のボタンは入れ替えできません。

2 **入れ替えたいボタンをそれぞれタッチする。**

：選んだボタンが入れ替わります。

目的地メニューから
カスタマイズボタンをタッチした場合（例）

トップメニューの右側の４つのボタンと共通になります。
※AVメニューからカスタマイズした場合は、トップメニューの左側の４つのボタンとカスタマイズ画面の右側の４つのボタンが共通になります。

操作説明画面を表示

目的地メニューがお買い上げ時の設定に戻ります。

目的地メニュー／AVメニューともにお買い上げ時の設定に戻ります。

ディスプレイの角度を調整する

1 ▲(OPEN)を押す。

2 ▲または▼をタッチする。

※ディスプレイの角度を５段階に調節できます。

お知らせ

車のキースイッチを「OFF」にすると、ディスプレイは自動で閉じ収納されますが、次回、車のキースイッチを「ACC」または「ON」にすると、前回角度調整した段階でディスプレイが開きます。

ディスクやSDカードを入れる／取り出す

miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ず専用のカードアダプターに装着してご使用ください。

1 ▲(OPEN)を押し、**OPEN**をタッチする。

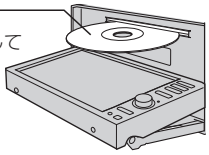
：ディスプレイが開きます。

2 ■ ディスク／SDカードを入れる

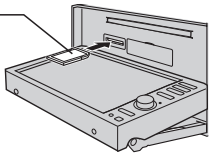
① ディスク／SDカード挿入口にディスク／SDカードを挿入する。

：自動的にディスプレイが閉じます。

ディスク
記録面を下にして入れる。



SDカード
ラベル面を上にカチッと音がするまで入れる。



■ ディスクを取り出す

① **DISC EJECT**をタッチする。

：ディスク挿入口より自動で押し出されます。

② ▲(OPEN)を押す。

：ディスプレイが閉じます。

■ SDカードを取り出す

① SDカードを1回押して取り出す。

② ▲(OPEN)を押す。

：ディスプレイが閉じます。

お知らせ

- ディスプレイが開いたまま、車のキースイッチを「OFF」にした場合は、自動的にディスプレイが閉じます。ディスクやSDカードが完全に入っていないときは、自動的には閉じません。
- ディスクを取り出すとき、ディスクが熱くなっている場合がありますので、十分お気をつけください。
- 長時間使用すると、SDカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- ディスクを入れると自動でディスクの再生がはじまります。

文字／数字の入力のしかた

入力する画面によっては、入力できる文字の種類に制限があります。画面に表示されるボタンは、入力する画面によって異なります。
(例)名称検索(C-2)で入力できるのは、「ひらがな」のみです。

ひらがな／カタカナ／英数／記号を入力する

1 ボタンをタッチして文字の種類を選ぶ。

：タッチするたびに
カナ → 英数 → 記号 → かな
と切り替わります。

※ボタンが表示されていない画面では
文字の種類は選べません。

2 文字を入力し、 無変換 ➡ 決定 をタッチする。

※ 無変換 のタッチが不要な場合があります。そのときは 決定 をタッチしてください。

※小文字、濁点、半濁点文字に変換したい場合は、 小" ° をタッチしてください。
（変更可能な文字のみ）

漢字を入力する

1 ひらがなで文字を入力し、**変換** をタッチする。

※ **変換** が表示されていない画面では
漢字入力はできません。

2 変換したい漢字を選んで、**決定** をタッチする。

お知らせ

- **←** ／ **→** をタッチして変換する文字の範囲を選ぶことができます。
- **　** をタッチすると１文字分のスペースを空けることができます。
- 設定を変更するときは **決定** をタッチして設定を保存してください。**決定** をタッチしないで 現在地 ／ メニュー を押したり、**戻る** をタッチした場合は、設定を保存しないでそれぞれの画面に戻ります。

数字を入力する

1 数字を入力し、**決定** をタッチする。

携帯電話入力方式で入力する

1 文字入力画面で、 入力切替 をタッチする。

：携帯電話入力方式に切り替わります。
再度 入力切替 をタッチすると、通常の入力方式に戻ります。

※ 入力切替 が表示されていない画面では、携帯電話入力方式で文字入力できません。

2 ボタンをタッチして文字の種類を選ぶ。

：タッチするたびに
カナ → 英字 → 数字 → かな
と切り替わります。

※ボタンが表示されていない画面では文字の種類は選べません。

3 入力したい文字が表示されるまでボタンをタッチする。

お知らせ

- 濁点、半濁点を入力するには、文字を入力してカーソルを文字の後ろに当てた状態で 小" ° をタッチします。 小" ° をタッチして小文字と大文字を切り替えることもできます。
- 「あい」などのように同じボタンに割り振られている文字を続けて入力したい場合は、 送り をタッチしてカーソルを移動させてください。

修正する

入力した１文字を修正	修正 をタッチ
全ての文字を修正	修正 を長押し
途中の文字を修正	← ／ → をタッチし、修正したい文字の右側へカーソルを移動 ➡ 修正 をタッチ

B
ナビゲーションの基本操作

地図の見かた……B-2
タッチパネルについて……B-2
画面の表示内容について……B-3
地図表示(方位)を切り替える……B-4
地図をスクロールする(地図を動かす)……B-5
平面地図をスクロールする……B-5
3D表示画面でスクロールする……B-6
地図を拡大／縮小する……B-6
現在地を表示する……B-7
自宅を登録する……B-8
Quick機能について……B-9
右画面に地図／情報を表示する……B-11
Quick MENUを設定する……B-13

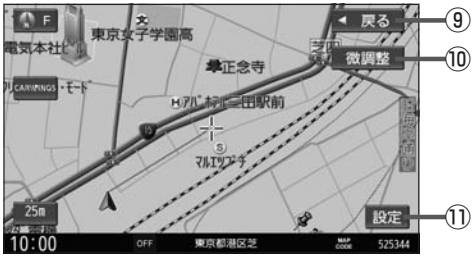
地図の見かた

操作するためのタッチボタンやさまざまな情報を地図画面に表示しています。

タッチパネルについて

現在地表示画面

スクロール画面



①方位ボタン

地図表示(方位)を切り替えることができます。

②VICSタイムスタンプボタン

- ボタン内にVICS情報が提供された時刻を表示します。
- 渋滞／規制地点を表示します。

③ CARWINGS ボタン

CARWINGSメニュー画面を表示します。

④ Quick ボタン

Quick MENUを表示します。☞ B-9

⑤ユーザー切替ボタン

ユーザー(1、2)を切り替えたり、ユーザー名を編集したりします。

⑥縮尺ボタン

地図の縮尺スケールの表示と変更をします。
市街地図の縮尺スケール表示では、🔍が表示されます。
(例)市街地図25 m： 25m

⑦ ☀ ボタン(明るさ強・弱)

車のヘッドライト点灯時に表示され、画面の明るさを切り替えます。
※設定や時間帯によって表示されない場合があります。

⑧簡易エコスコアボタン

エコ運転度やエコスコアの画面を表示します。

⑨ 戻る ボタン

ひとつ前の画面に戻ります。

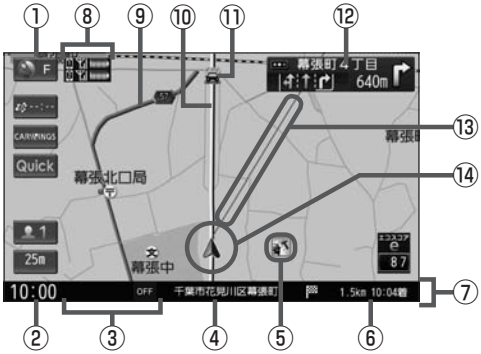
⑩ 微調整 ボタン

スクロールの微調整をします。(平面地図のみ)

⑪ 設定 ボタン

吹き出しメニューを表示します。☞ B-10
閉じる をタッチすると吹き出しメニューを閉じます。
※吹き出しメニュー以外の画面をタッチしても閉じることができます。

画面の表示内容について



①GPS表示

現在地の測位の状態を色で表示
※測位には時間がかかる場合があります。
黄色：現在地の測位完了
灰色：現在地の測位未完了／測位計算中

②現在の時刻

③各種マーク表示

携帯電話の通信状態や再生中のAVソースを表示

④周辺の住所(または道路名)／AV情報

⑤盗難多発地点表示

縮尺スケールが100 mまでの地図表示のとき、盗難が多発している地点を赤色、橙色、黄色で区分し表示
※盗難の危険が高い順に赤色→橙色→黄色で表示します。(地域により基準は異なります。)
※お客さまの設定によっては表示されません。

⑥目的地への残距離、到着予想時刻(ルート案内時)

⑦情報バー

⑧携帯電話の電波状態、電池残量

携帯電話の状態の表示
(登録／未登録、接続／未接続、電波状態、電池残量)
：電話1で登録し、未接続
：電話1で登録し、接続済み
非表示：電話1／電話2で未登録または接続設定解除時
※電話2も同様の表示となります。
※電話1／電話2以外の接続設定では本表示はされません。

⑨道路

青　色：高速道路、有料道路
赤　色：国道
緑　色：主要地方道、県道
灰色(太線)：一般道、細街路
灰色(細線)：細街路
青色(破線)：フェリー航路
※灰色(破線)はルート探索できません。
※道路色は“地図切り替え”で選んだボタンによって変わります。
※市街地図(縮尺スケールが25 m以下)の場合、高速道路・有料道路以外は上記と異なる色で表示されます。
※建設中などで、地図ソフト作成時点で未開通の道路は計画道路として表示されます。

⑩案内ルート

目的地を設定するとルート表示されます。
青　色：有料道路
黄　色：一般道路
ピンク：細街路

⑪冠水注意ポイント表示

縮尺スケールが100 mまでの地図表示のとき、豪雨時に一時的に道路が冠水し通行に支障・危険をもたらすおそれがある地点を表示

⑫交差点情報表示

交差点の名称と曲がる方向を矢印で表示
※お客さまの設定によっては表示されません。

⑬目的地方向表示

ルート設定時、赤い直線で目的地の方向を表示

⑭自車マーク

車の位置(現在地)と進行方向を表示
※設定により変更できます。

地図表示(方位)を切り替える

地図表示画面を切り替えることができます。

1 地図画面の方位ボタンをタッチする。

：タッチするたびに方位表示と画面が切り替わります。

「進行方向を上」(平面地図)

進行方向が常に上になるようにして、自車マークと画面の向きを一致させることができます。走行に合わせて地図が回転します。

「3D表示」

進行方向が常に画面の上になります。

「北方向を上」(平面地図)

北方向が常に上になります。

お知らせ

3D表示について

- 3D表示のときは、地図のスクロールが遅くなることがあります。
- 画面の手前と奥で、道路や地名などの表示内容が異なります。
- 画面表示が複雑にならないように文字表示を間引きしているため、画面が変わったときに文字の表示内容が異なったり、同じ文字が表示されなかったりします。また、同一の地名、道路名を複数表示することもあります。
- 文字と建物が重なり、文字が見えにくくなる場合があります。
- 地図と検索結果リストの両方が表示されている目的地の検索結果画面では、3D表示に切り替えることはできません。

地図をスクロールする(地図を動かす)

停車中、地図をスクロールして、見たい地域を表示できます。

平面地図をスクロールする

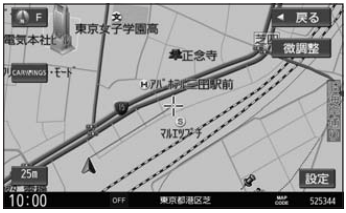
1 **地図をタッチする。**

：画面にカーソル(−┼−)が表示され、タッチした場所が中心になります。

2 **スクロールしたい方向をタッチし続ける。**

：カーソル(−┼−)の近くをタッチすると低速で、
カーソル(−┼−)から離れた場所をタッチすると高速でスクロールします。

※走行中はタッチし続けてもスクロールしません。



お知らせ

- 見たい場所を早く探すには広域な画面で目的地の周辺まで地図を移動させ、それから詳細な地図に変えて目的地を探します。
- 市街地図表示で走行中のときは、スクロールはできません。

微調整をする

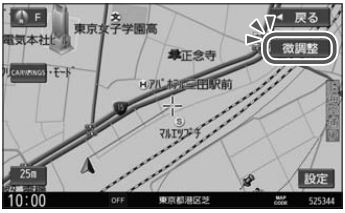
1 **地図をタッチし、 微調整 ➡動かしたい方向の矢印をタッチする。**

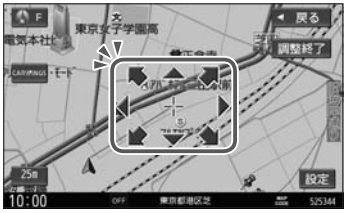
※タッチし続けると、その方向に一定の速度でスクロールします。

※ ⬚ 以外をタッチしてもスクロールしません。

※微調整が終了したら 調整終了 をタッチしてください。スクロール画面に戻ります。

※走行中は微調整できません。





3D表示画面でスクロールする

1 地図をタッチする。

：画面にカーソル(−┼−)と↰／↱が表示されます。

2 動かしたい方向へタッチし続ける。

：カーソル(−┼−)の近くをタッチすると低速で、
カーソル(−┼−)から離れた場所をタッチすると高速でスクロールします。

※↰／↱をタッチして向きを変えることもできます。
↰：カーソル(−┼−)を中心に右回転(時計回り)
↱：カーソル(−┼−)を中心に左回転(反時計回り)

※走行中は3D表示画面でスクロールできません。

自車マークは◆で表示

地図を拡大／縮小する

1 縮尺ボタンをタッチし、**詳細**／**広域**をタッチする。

詳細(拡大)表示　広域(縮小)表示

タッチでも詳細(拡大)表示、広域(縮小)表示させることができます。

お知らせ

- 右画面に地図を表示していて右画面の地図を拡大／縮小するには、右画面上で同じように操作してください。
- **詳細**／**広域**をタッチし続けると地図をフリーズームさせることができます。お好みの縮尺スケールになったら指を離してください。

現在地を表示する

地図をスクロールしたり、住所などで目的地を探索したあとに現在地表示に戻すには 現在地 を押します。

お知らせ

- 自車マークの位置／角度をお客さまで修正することもできます。
- 現在地から目的地までのルート探索をする前には、必ず実際の現在地を表示していることを確認してください。
- 自車マークの位置や角度が間違っている場合は、修正した後、ルート探索をしてください。

表示された現在地が実際の現在地と違うときは

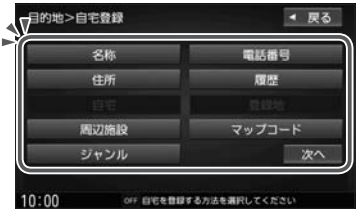
GPS受信表示が黄色の状態（GPS衛星電波を受信した状態）で、電波をさえぎる障害物のない見晴らしの良い場所を一定速度でしばらく走行してください。現在地の位置が補正されます。

自宅を登録する

自宅を登録すると、自宅までのルートを探索できます。

1 目的地メニューから 自宅 ➡ はい をタッチする。

2 登録方法を選んでタッチする。

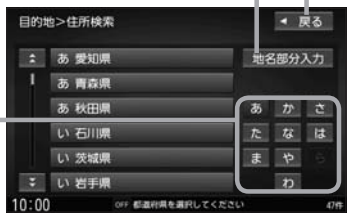


例 住所から自宅を探し登録する

① 住所 をタッチする。

② リストから画面に従って都道府県名、市区町村名、町名、丁目・字・街区・地番・戸番・枝番を順次選んでタッチする。

：自宅周辺の地図と吹き出しメニューが表示されます。
（地図 ／ 現在地付近 ／ 出発地付近 ／ 目的地付近 で探索した場合は、地図のみ表示されます。）



該当する地名の頭文字を表示し、効率よく絞り込み
タッチするたびにリストを切り替え

お知らせ

- 丁目・字・街区・地番・戸番・枝番を表示するリスト画面右の数字をタッチすると、該当する住所が表示され、効率よく場所を絞り込むことができます。
- 番地など住所の詳細が分からないときは都道府県名、市区町村名、町名を選んだあと 代表地点 をタッチすると、選んだ場所の代表地点の地図が表示されます。

3 地図に表示された地点を自宅に登録する。

表示された地点で良い	吹き出しメニューの 自宅に設定する をタッチ ※地図のみ表示された場合は 設定 をタッチし、吹き出しメニューを表示してください。
地点の位置調整をする	吹き出しメニューの 閉じる または地図画面をタッチ ➡カーソル(-┼-)が自宅に登録したい地点に合うように地図をスクロールする➡ 設定 をタッチ➡ 自宅に設定する をタッチ

：自宅が登録され、自宅までのルート探索をするかメッセージが表示されます。 はい をタッチすると、現在地から自宅までのルート探索をします。 いいえ をタッチすると、地図が表示されます。

お知らせ

- 自宅のマークは になります。マークは変更できます。
- “登録地を表示” しない に設定している場合は、自宅を登録しても地図上にマークは表示されません。
- 自宅を変更したい場合は、登録した自宅を削除してから再登録するか、または自宅編集から変更してください。

Quick機能について

主な操作を簡単にするため、Quick機能(Quick MENU／吹き出しメニュー)を設けています。
Quick MENUを表示させるには Quick (現在地表示時)、吹き出しメニューを表示させるには 設定 (地図スクロール時)をタッチします。

Quick をタッチ(現在地表示時)

お気に入り地点	お気に入り地点までのルートを探索します。
再探索	探索条件を変えて、再探索できます。 ※ルート案内を停止している場合は選べません。(ボタンは暗くなります。)
渋滞地点	設定したルート上に渋滞／規制がある場合、渋滞／規制地点を表示して確認できます。 ※ルート案内を停止している場合は選べません。(ボタンは暗くなります。)
音声案内	ルート案内時の音声の音量を設定します。
走行軌跡	通った道にしるしを付け記録します。
右画面表示	右画面に地図／ルート情報を表示します。 ※ハイウェイモード(高速道路走行中のみルート情報を右画面表示)の設定もできます。
ユーザー切替	ユーザー１とユーザー２を切り替えます。
登録・履歴消去	登録地／目的地履歴／登録ルート／走行軌跡を消去します。
地点を登録	地点を登録します。
オプション設定	(オプション)によく使う機能を設定します。

お知らせ

現在地表示時のQuick MENUはカスタマイズできます。☞ B-13

設定 をタッチ(地図スクロール時)

※一部のボタンはスクロール時でないときでも表示されることがあります。

目的地に設定する	目的地を登録し、ルートを探索します。 ※情報・設定メニューから ナビ設定 ➡ CARWINGS ➡ 渋滞情報取得設定 の“行き先設定時に取得” する の場合、ルート探索後に自動で交通情報を取得し、最速ルートを探索します。 ※最速ルート探索を行うには、別途カーウイングスサービスのお申し込みが必要です。☞H-2
最速ルートで行く	統計交通情報と最新のVICS情報を利用し、早く到着できるルートを予測してルート探索します。 ※最速ルート探索を行うには、別途カーウイングスサービスのお申し込みが必要です。☞H-2
出発地に設定する	出発地を登録し、ルートを探索します。 (ルート編集画面で出発地を変更する場合のみ)
複数探索	複数ルート探索をします。
経由地に設定する	経由地を設定します。 ※ルート案内を停止している場合は表示されません。
自宅に設定する	自宅を登録します。(自宅が未登録、自宅登録画面の場合のみ)
テナント情報	テナント情報(建物の名前だけでなく、建物の中のテナント名や階数、電話番号などの詳細情報)が確認できます。 (市街地図でテナント情報のある施設にカーソル(−┼−)を合わせた場合) ※データが収録されていない場合もあります。また、ビル名称のみ収録されている場合はテナント詳細情報を見ることはできません。 ※電話番号が収録されている場合 電話する が表示されます。 電話する ➡ 発信 をタッチすると(携帯電話を複数台登録している場合は、通話したい携帯電話(電話1／電話2)の 発信 をタッチ)、発信中画面を表示し、相手につながると通話中画面になります。(BLUETOOTH対応携帯電話の接続が必要です。)
地点を登録する	地点の登録をします。
地点を編集する	登録地の編集や削除ができます。 (登録地マークにカーソル(−┼−)を合わせた場合)
周辺の施設検索	周辺施設を検索できます。
施設の詳細	施設の詳細がある場合のみ情報が表示されます。
渋滞情報取得	カーウイングスを利用して、最新の渋滞情報を取得できます。

右画面に地図／情報を表示する

現在地表示時、画面を２つに分けて、右画面に縮尺スケールの異なる地図やルート情報などを表示させることができます。

1 現在地表示時に Quick ➡ 右画面表示 をタッチする。

2 設定したい項目を選んでタッチする。

地図

地図が２画面で表示されます。

お知らせ

- 右画面が表示されるまで、少し時間がかかることがあります。
- 右画面の方位／縮尺スケールの設定を変えることもできます。
- シミュレーション走行中は右画面地図表示⇔全画面表示の切り替えはできません。

ルート情報

ルート案内中にルート情報が表示されます。

経由地や各ポイントなどへの到着時間と距離を表示

ハイウェイモード	タッチするたびに表示灯の 点灯⇔消灯が切り替わります。 点灯：高速道路／一般有料道路 走行中のみルート情報を 右画面表示 消灯：ルート情報を右画面非表示 **お知らせ** ● ルート情報 をタッチまたは情報・設定メニューから ナビ設定 ➡ 案内 で“ルート情報の表示” する に設定すると高速道路上に加え一般道路上でも情報表示する設定になるため、 ハイウェイモード はタッチできなくなります。 ●ハイウェイモードを選んでいる場合、他の項目を選んでいてもハイウェイモードを優先して表示します。 ●ルートを引いていないとルート情報表示されません。
OFF	全画面表示に戻します。 ※ハイウェイモードで右画面表示されている場合は、 OFF をタッチしても全画面表示に戻りません。この場合、ハイウェイモードの解除も行ってください。

お知らせ

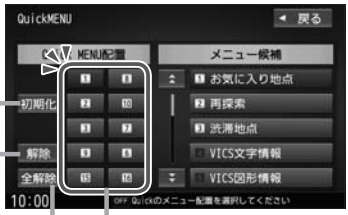
右画面表示時に左画面の地図をスクロールすると全画面表示に切り替わります。 現在地 を押す、または 戻る をタッチすると、右画面表示に戻ります。

Quick MENUを設定する

よく使う機能を10個までQuick MENUに設定できます。

1 現在地表示時に Quick ➡ 設定 をタッチする。

2 Quick MENU配置より配置したい場所を選んでタッチする。



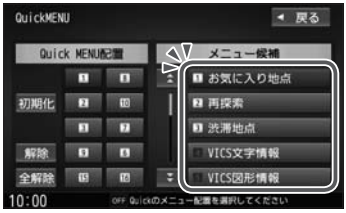
Quick MENUの設定をお買い上げ時の状態へ

選んだ配置イメージのQuick MENUを消去

選んだQuick MENUを全て消去

現在設定されているメニューの配置イメージ

3 メニュー候補より設定したい項目を選んでタッチする。



Quick MENUに追加できる機能

1お気に入り地点	5VICS図形情報	9音声案内	13消音
2再探索	6地点を登録	10ユーザー切替	14交通情報
3渋滞地点	7登録・履歴消去	11携帯電話登録一覧	15走行軌跡
4VICS文字情報	8右画面表示	12リダイヤル	16オプション設定

C
目的地を探す

施設の名称で探す……C-2
住所で探す……C-4
郵便番号で探す……C-5
登録地から探す……C-6
電話番号で探す……C-7
履歴の中から探す／削除する……C-8
周辺にある施設から探す……C-9
施設のジャンルから探す……C-11
マップコードで探す……C-13
緯度・経度で探す……C-13
スマートフォンアプリNaviConについて……C-14
本機でNaviCon対応可能な端末について……C-14
準備する……C-14
NaviConを使用する……C-14

施設の名称で探す

施設の名前を直接入力したり、候補を絞り込んで探すことができます。

1 目的地メニューから 名称 をタッチする。

2 施設名称をひらがなで入力し、検索 をタッチする。

：50音順に施設リスト画面が表示されます。

※検索施設が10,000件より多い場合 検索 は選べません。

お知らせ

- 濁点、半濁点の入力および小文字への変換を省いても検索できます。
- 入力できない文字は暗くなります。

3 検索方法を選ぶ。

■ 50音順のリストから施設名を選ぶ

① 施設名を選んで、 決定 をタッチする。

：施設周辺の地図が表示されます。

施設名と電話番号(選んだ施設に電話番号が登録されている場合)が表示されます。 ☎ ➡ 発信 をタッチすると(携帯電話を複数台登録している場合は、通話したい携帯電話(電話1 ／電話2)の 発信 をタッチ)、発信中画面を表示し、相手につながると通話中画面になります。

■ 距離順のリストから施設名を選ぶ

① 距離順 をタッチする。

：地図上の直線距離で現在地から近い順に施設名が表示されます。

② 施設名を選んで、 決定 をタッチする。

：施設周辺の地図が表示されます。

■ 絞り込みで施設を選ぶ

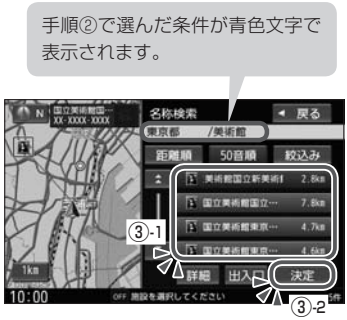
① 絞込み をタッチする。

② 条件を選んでタッチする。

地域	都道府県名➡市区町村名をタッチ
ジャンル	施設のジャンル➡施設の種類をタッチ

③ リストから施設名を選んで、
決定 をタッチする。

：施設周辺の地図が表示されます。



お知らせ

- 検索施設の件数が多くなるほど施設のリストが表示されるのに時間がかかります。
- 絞り込み検索は、最初に地域で絞り込み、さらにジャンルで絞り込むというように条件を組み合わせて絞り込むことができます。
- 指定した条件を変更したい場合は、変更したい条件のボタンをタッチして変更してください。
- リストの施設名が表示しきれない場合、施設名をタッチして続きを確認できます。(施設名がスクロールし続けます。)

4 地図または詳細情報を見る。

※目的地として設定し、ルート探索する場合は ☞ D-3

■ 周辺の地図をみる

① 閉じる または地図画面をタッチする。

：吹き出しメニューを閉じ、周辺の地図が表示されます。

■ 施設の詳細情報をみる

① 施設の詳細 をタッチする。

：施設の詳細情報が表示されます。

※電話番号が収録されている場合、 電話する が表示されます。 電話する ➡ 発信 をタッチすると(携帯電話を複数台登録している場合は、通話したい携帯電話(電話1／電話2)の 発信 をタッチ)、発信中画面を表示し、相手につながると通話中画面になります。

住所で探す

1 目的地メニューから 住所 をタッチする。

2 ■ リストから探す

① リストから画面に従って都道府県名、市区町村名、町名、丁目・字・街区・地番・戸番・枝番を順次選んでタッチする。

：周辺の地図と吹き出しメニューが表示されます。

※目的地として設定して、ルート探索する場合は
☞ D-3

☞ 下記

該当する地名の頭文字を表示し、効率よく絞り込み
タッチするたびにリストを切り替え

■ 地名を入力して探す ※市町村名で検索できます。

例 東京都港区芝５丁目33番地８号を地名部分入力で探す

① 地名部分入力 をタッチする。

② 地名をひらがなで“しは”と入力し、 検索 をタッチする。

：リストが表示されます。

※入力はひらがなのみです。

都道府県を絞り込むことができます。

③ 地名(東京都港区芝)を選んでタッチする。

※複数の都道府県に該当する地名がある場合
絞込み が表示されます。

④ 5 ➡ − ➡ 3 ➡ 3 ➡ − ➡ 8 ➡ 検索 をタッチする。

：周辺の地図と吹き出しメニューが表示されます。

お知らせ

- 丁目・字・街区・地番・戸番・枝番を表示するリスト画面右の数字をタッチすると、該当する住所が表示され、効率よく場所を絞り込むことができます。
- 番地など住所の詳細が分からないときは都道府県名、市区町村名、町名を選んだあと 代表地点 をタッチすると、選んだ場所の代表地点の地図が表示されます。

郵便番号で探す

郵便番号から、周辺施設の地図を表示することができます。
※企業など専用の郵便番号は検索できない場合があります。

1 **目的地メニューから 郵便番号 をタッチする。**

2 **郵便番号を入力し、 検索 をタッチする。**

：周辺の地図が表示されます。

※４桁以上の入力が必要です。

※目的地として設定し、ルート探索する場合は
☞ D-3

入力途中で 検索 をタッチした場合
入力した郵便番号の検索リストが表示されます。該当する項目を選び、 決定 をタッチすると周辺の地図が表示されます。

登録地から探す

あらかじめ登録しておいた場所の中から目的地を探すことができます。よく利用する場所を登録しておくと、簡単に目的地として設定できます。

1 目的地メニューから 登録地 をタッチする。

2 リストから登録地を選んで、 決定 をタッチする。

：周辺の地図が表示されます。

※目的地として設定し、ルート探索する場合は
☞ D-3

登録順で表示(例)

お知らせ

登録地の表示方法を選ぶことができます。

フォルダごとに表示
(表示させたい登録地が入っている
フォルダをタッチ)

地点が登録された順に表示

同じマーク同士をまとめて表示
(お気に入り地点は一番上に表示)

電話番号で探す

個人宅の電話番号は収録されていません。電話番号から、その地域の地図を表示できます。
地図ソフトには、NTTタウンページの情報の一部が収録されています。

1 目的地メニューから **電話番号** をタッチする。

2 電話番号を市外局番から入力し、 **検索** をタッチする。

：周辺の地図が表示されます。

※電話番号は市外局番より全桁（最大10 桁）を入力してください。

※目的地として設定し、ルート探索する場合は D-3

お知らせ

- 入力した電話番号に対して複数の施設候補がある場合は、項目を選ぶと地図が表示されます。
- 入力途中で **検索** をタッチした場合や該当する電話番号が収録されていない場合は、市内局番に該当する周辺地図を表示します。

履歴の中から探す／削除する

過去に設定した目的地の周辺地図を表示できます。一度設定した目的地に再度行きたいときに便利です。

1 目的地メニューから 履歴 をタッチする。

2 リストより目的地を表示させる、または履歴を削除する。

■ 目的地を表示

① 行きたい履歴を選んで、 決定 をタッチする。

：選んだ目的地付近の地図画面を表示します。

※目的地として設定し、ルート探索する場合は ☞ D-3

お知らせ

履歴は、最新のものから順に１ユーザーにつき１００箇所(２ユーザーまで登録可能)まで自動的に登録されます。

■ 履歴を削除

① リストから削除したい履歴を選んで、 削除 をタッチする。

※リストに他の履歴がない場合はメニュー画面に戻ります。

※全履歴を削除する場合は 全削除 をタッチしてください。

周辺にある施設から探す

現在地またはスクロール先周辺にある施設の中から目的地を探すことができます。施設までの距離と施設の位置が確認でき、近くのコンビニエンスストアを探したいときなどに便利です。

1

■ 現在地周辺の施設を検索

① 目的地メニューから 周辺施設 をタッチする。

■ 地図スクロール先周辺の施設を検索

① 地図をスクロールして 設定 ➡ 周辺の施設検索 をタッチする。

2

検索方法を選ぶ。

地図周辺	現在地またはスクロール先周辺を検索
ルート沿い	ルート沿いにある施設を検索
目的地周辺	目的地周辺にある施設を検索

お知らせ

- ルート案内していない場合、 ルート沿い ／ 目的地周辺 は選べません。（ボタンが暗くなります。）
- 現在地またはスクロール先周辺を検索する場合は、現在地またはスクロール先から半径 10 km以内に存在する施設を最大100件まで表示します。
- ルート沿いにある施設を検索する場合は現在地からルートの進行方向に沿って 10 km以内で、ルートの左右約100 m以内に存在する施設を最大100件まで表示します。現在地が設定したルートから離れすぎている場合は検索できません。

3

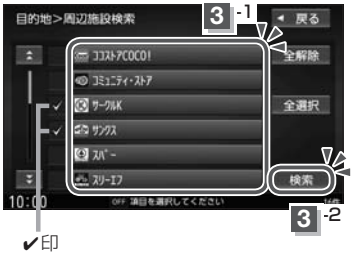
探したい施設の種類を選んで、
検索 をタッチする。

※ 検索 のタッチが不要な場合があります。

※▶が表示されているもの（交通機関など）はタッチすると詳細分類リスト（駅、空港など）が表示されます。

※選んだ種類に✔印が付きます。
全選択 をタッチすると、全種類に✔印が付きます。

※選択を解除したい場合は再度ボタンをタッチして✔印を消します。 全解除 をタッチすると、リストに付いている✔印を全て消します。



4 施設を選んで、 決定 をタッチする。

：施設の周辺地図が表示されます。

お知らせ

- C-9手順 2 で 地図周辺 を選んだ場合、施設名の横に施設から現在地またはスクロール先への距離を表示します。また、地図に現在地から施設の方向を赤い線で表示します。
  ルート沿い を選んだ場合、現在地からの距離とルート沿いの左右どちらに施設があるかを表示します。
  目的地周辺 を選んだ場合、施設名の横に施設から目的地への距離を表示します。
- リストの施設名が表示しきれない場合、施設名をタッチして続きを確認することができます。(施設名がスクロールし続けます。)

5 地図または詳細情報を見る。

※目的地として設定し、ルート探索する場合は ☞ D-3

施設のジャンルから探す

施設のジャンルや都道府県を指定して該当する施設の名称リストを表示し、住所や電話番号などの施設情報を見ることができます。ドライブ先の観光スポットを探すときなどに便利です。

1 目的地メニューから ジャンル をタッチする。

2 検索方法を選ぶ。

■ リストから選ぶ

① 探したい施設の種類を選んでタッチする。

※▶が表示されているもの(交通機関など)はタッチすると詳細分類リスト(駅、空港など)が表示されます。

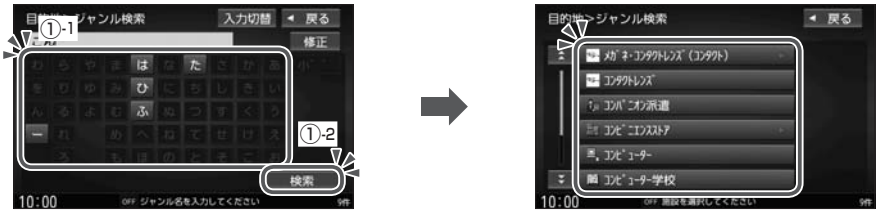
：周辺の地図が表示されます。

■ ジャンル名を入力してから選ぶ

① ジャンル名入力 ➡文字をタッチしてジャンル名を入力➡ 検索 ➡ ジャンル検索リストから該当するジャンルを選んでタッチする。

※候補が100件以上の場合は検索できません。

：周辺の地図が表示されます。



3 さらに検索する条件を選ぶ。

現在地周辺を検索	地図周辺 をタッチ
目的地周辺にある施設を検索	目的地周辺 をタッチ
ルート沿いにある施設を検索	ルート周辺 をタッチ
都道府県で検索	都道府県 ➡都道府県名を選んでタッチ ※市区町村名などさらに選択画面が続く場合は画面に従ってタッチしてください。
地域／路線で検索	地域／路線 ➡地域を選んでタッチ➡路線を選んでタッチ

お知らせ

- ルート案内をしていない場合は ルート周辺 ／ 目的地周辺 は選べません。（ボタンが暗くなります。）
- 現在地周辺を検索する場合は、現在地周辺から半径 10 km以内に存在する施設を最大100件まで表示します。
- ルート周辺にある施設を検索する場合は現在地からルートの進行方向に沿って10 km以内で、ルートの左右約100 m以内に存在する施設を最大100件まで表示します。現在地が設定したルートから離れすぎている場合は検索できません。
- 地域／路線 は、 交通機関 ➡ 高速・都市高速・有料道路施設 ➡ IC ／ SA ／ PA をタッチしたとき選ぶことができます。
- ジャンル ➡ 交通機関 ➡ 高速・都市高速・有料道路施設 ➡ 地域／路線選択 をタッチすると、道路名から選ぶことができます。

4 施設を選ぶ。

■ 地図周辺 ／ ルート周辺 ／ 目的地周辺 をタッチ

① リストから施設名を選んで、決定 をタッチする。

：周辺の地図が表示されます。

選んだ施設によっては、アイコンを表示

■ 都道府県 ／ 地域／路線 をタッチ

① リストから都道府県・地域などを選ぶ。

② リストから施設名(目的地)を選んで、決定 をタッチする。

：周辺の地図が表示されます。

選んだ頭文字の行をリスト表示（リストにない場合、 距離順 を選んでいる場合は、ボタンが暗くなり選べません。）

現在地からの近い順にリスト表示

頭文字を送ることができます。

都道府県 を選んだ場合(例)

お知らせ

リストの施設名が表示しきれない場合、施設名をタッチして、続きを確認できます。（施設名がスクロールし続けます。）

5 地図または詳細情報を見る。

※目的地として設定し、ルート探索する場合は D-3

マップコードで探す

ガイドブックなどに掲載されているマップコードから、施設周辺の地図を表示できます。

1 目的地メニューから **マップコード** をタッチする。

2 マップコードを入力し、 **検索** をタッチする。

：周辺の地図が表示されます。

※目的地として設定し、ルート探索する場合は
☞ D-3

お知らせ

マップコードについて

- 6～10桁の数字で地図上の位置を表すコードです。施設などの位置を示すためにガイドブックなどに掲載されています。
- 本機は高精度マップコードに対応しておりません。
- 本機では、地図画面でカーソルを合わせた場所のマップコードを表示します。
- 入力したマップコードのデータが収録されていない場合は、メッセージが表示され入力画面に戻ります。

緯度・経度で探す

緯度と経度を入力して目的地を探すことができます。

1 目的地メニューから **緯度・経度** をタッチする。

2 緯度と経度(日本測地系)
〔緯度(北緯)→経度(東経)の順〕 を入力し、
検索 をタッチする。

：周辺の地図が表示されます。

※目的地として設定し、ルート探索する場合は
☞ D-3

選べない数字は暗くなります。

お知らせ

- 入力した緯度と経度のデータが収録されていない場合は、メッセージが表示され入力画面に戻ります。
- 本機は日本測地系に基づくものとなっていますので、世界測地系に基づいた緯度･経度で検索すると、異なる場所を表示する場合があります。

スマートフォンアプリNaviConについて

本機はスマートフォンアプリNaviConに対応しています。
スマートフォンアプリNaviConで行きたい場所を検索して目的地を本機に送信し、本機でルート探索・ルート案内を行うことができます。

本機でNaviCon対応可能な端末について

NaviConアプリに対応しているiPhoneおよびAndroidスマートフォン
※タブレット端末やiPodでは、本機でNaviConを使用することができません。
※お手持ちのスマートフォンによっては使用できない場合があります。

準備する

- スマートフォンを本機に登録し、さらに本機で接続設定を行ってください。
  （登録方法 ☞G-13、接続設定方法 ☞G-14）
- 本機とスマートフォンをケーブルで接続している場合は、スマートフォンをケーブルから外してください。
- 本機とiPodを接続している場合、iPhoneでNaviConは使用できません。iPodをケーブルから外してください。

NaviConを使用する

NaviConアプリ側での操作方法は、NaviConのWebサイトまたはNaviConのヘルプをご覧ください。

1 スマートフォン側でNaviConアプリを起動する。
※本機とBLUETOOTH接続がされていることをアプリ側で確認してください。

2 アプリ側で目的地を設定する。
：本機に目的地が送信され、ルート探索を始めます。

3 本機で 案内スタート をタッチする。
：ルート案内を開始します。

D
ルート探索をする

ルート設定について……D-2
ルート探索をする……D-3
クイック ルート探索をする……D-6
現在地から自宅までのルートを探索する……D-6
ルートを変更する……D-7
目的地／出発地の変更……D-7
目的地の追加……D-8
経由地の追加……D-9
経由地の変更／削除……D-10
経由地／目的地など地点の入れ替え……D-10
探索条件の変更……D-11
ルート案内をストップ／スタートする……D-12
現在のルートを表示する……D-12
現在のルートを保存する……D-13
現在のルートを削除する……D-13
保存したルートの呼び出し／削除をする……D-14
渋滞地点を確認する……D-15
渋滞予測ルート探索をする……D-16
シミュレーション走行をする……D-18
迂回探索をする……D-19
再探索をする……D-20
ルート探索の詳細条件を設定する……D-21

ルート設定について

登録した条件と地図ソフトのデータをもとに、出発地から目的地までのルートを探索します。

ルート探索は、主に下記の方法で行います。

クイック ルート探索 ☞D-6

地図をスクロールしてカーソル(−┼−)を目的地に合わせ **設定** ➡ **目的地に設定する** をタッチすると、現在地から目的地までのルートが表示されます。

目的地メニューを使ってルート探索 ☞C-1

目的地メニューのさまざまな検索方法から目的地を設定すると、現在地から目的地までのルートが表示されます。

複数のルートの中からルートを選んだり、最速のルートを選ぶこともできます。

複数ルート探索 ☞D-5

ルートが表示された画面で **別ルート** をタッチすると、一般道路優先など5ルートを表示し、その中からルートを選ぶことができます。

※経由地が設定されていると複数ルート探索はできません。

最速ルート探索 ☞D-3

統計交通情報と最新のVICS情報を利用し、早く到着できるルートを予測してルート探索します。

目的地メニューを使用して目的地を設定するとき **最速ルートで行く** をタッチすると最速ルート探索をします。

※カーウイングスサービスの申し込みが必要です。

※最速ルートは、ルート探索時点で所要時間が最短と予測されるルートを表示するものであり、必ずしも渋滞を回避するものではありません。またVICS情報とその他の交通情報を用いた探索結果であり、実際の最速ルートとならない場合があります。

※統計交通情報は、過去のVICS情報を元にしているため、突発的な事故・工事・規制などによる交通状況の急な変化は考慮されない場合があります。

※渋滞の道路を案内したり、渋滞なしの道路を迂回する場合があります。

※自動的にカーウイングスに接続し、最新の交通情報を取得するよう設定できます。また、自動取得する時間間隔も設定できます。☞H-18

※最速ルート探索をするには携帯電話の接続が必要です。

設定したルートを編集できます。

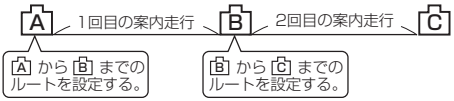
ルート編集 ☞D-7

経由地の設定、目的地の変更などができます。

お知らせ

- ルート探索中に車のキースイッチを「OFF」に入れると、ルート探索を中断します。
- 現在地を出発地にする場合は、ルート設定をする前に、実際の現在地を表示していることを確認してください。
- 出発地と目的地との距離が長すぎると、メッセージが表示され、ルート探索できない場合があります。

  例えば、A地点からC地点に行く場合、途中のB地点で区切り、ルートを2回に分けてください。



- 細街路の時間規制は考慮されない場合があります。

ルート探索をする

1 目的地メニューから検索方法を選ぶ。

この後は、選んだ方法で登録する場所周辺の地図画面を表示させます。

- 自宅
- 名称 ☞ C-2
- 住所 ☞ C-4
- 郵便番号 ☞ C-5
- 登録地 ☞ C-6
- 電話番号 ☞ C-7
- 履歴 ☞ C-8
- 周辺施設 ☞ C-9
- ジャンル ☞ C-11
- マップコード ☞ C-13
- 緯度・経度 ☞ C-13

お知らせ

目的地メニューから 自宅 を選んだ場合は、 案内スタート をタッチしてください。

2 地図表示された地点を目的地に設定する。

表示された目的地で良い	吹き出しメニューの 目的地に設定する ／ 最速ルートで行く ／ 複数探索 をタッチ ※地図のみ表示された場合は 設定 をタッチし、吹き出しメニューを表示してください。
目的地の位置調整をする	吹き出しメニューの 閉じる または地図画面をタッチ ➡カーソル(−┼−)が目的地に合うよう地図をスクロールする ➡ 設定 をタッチ ➡ 目的地に設定する ／ 最速ルートで行く ／ 複数探索 をタッチ

目的地に設定する ：1ルート探索します。
現在設定されている探索条件でルート探索が開始されます。

最速ルートで行く ：早く到着できるルートを予測してルート探索します。
※別途カーウイングスサービスのお申し込みが必要です。☞ H-2

複数探索 ：一般道路優先など5ルートを探索し、その中から選ぶことができます。

3 ルート案内を開始する。

■ 目的地に設定する をタッチしたとき

① 案内スタート をタッチする。

：ルート案内を開始します。

※設定によってはルート全表示画面が表示されない場合があります。ルート全表示画面が表示されない場合、 案内スタート のタッチは不要です。自動でルート案内が開始されます。

ルート全表示画面

ルートの詳細情報を表示

複数探索できます。

■ 最速ルートで行く をタッチしたとき

① 案内スタート をタッチする。

：最新渋滞情報のダウンロードを開始します。ダウンロードが完了すると、最新の交通情報を考慮したルートで案内を開始します。

※設定によってはルート全表示画面が表示されない場合があります。ルート全表示画面が表示されない場合、 案内スタート のタッチは不要です。自動でルート案内が開始されます。

※ 点滅中は通信中のためナビゲーションの操作はできません。
（音量調整、オーディオのON／OFFなどは可能）

渋滞情報取得を中止

渋滞情報取得中に点滅表示されます。

■ 複数探索 をタッチしたとき

① 探索条件を選んでルートを確認し、
案内スタート をタッチする。

：ルート案内を開始します。

目的地までのおおよその距離、所要時間、到着予想時刻（有料道路をルート案内した場合は合計料金を表示し、一般道路や一部の有料道路などで料金不明な場合は「－－－円」と表示されます。）

お知らせ

探索条件について

自動	高速・有料道路／一般道路の使用を自動で判断し、ルートを探索
有料優先	高速道路や有料道路を通るルートを優先的に探索
一般優先	国道や県道などを通るルートを優先的に探索 ※ 一般優先 に設定しても有料道路を使用したルート探索をする場合があります。
eco	燃料消費と有料道路料金をトータルで節約するルートを探索
距離優先	走行距離がなるべく短くなるようなルートを優先的に探索 ※ 距離優先 で探索させると、細い道路ばかり通ったり、有料道路の乗り降りを繰り返すルートになることがあります。 ※ 距離優先 で探索させた場合でも、出発地、目的地の近くでは、安全のため通りやすい基本道路を優先するので距離優先とならない場合があります。また、細街路は、通行の安全上、最短ルートとならない場合があります。

クイック ルート探索をする

1 **地図をスクロールしてカーソル(–┼–)を目的地に合わせ、**
設定 ➡ 目的地に設定する をタッチする。

：ルートの探索を始め、探索完了後ルート全表示画面になります。
(設定によっては表示しません。)
案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。

※有料道路上に設定するかメッセージが表示されたときは、有料道路(高速道路、都市高速道路を含む。)上に設定する場合は 有料道路 を、一般道路上に設定する場合は 一般道路 をタッチしてください。

現在地から自宅までのルートを探索する

1 **メニュー を押す。**

2 **目的地メニューから 自宅 をタッチする。**

：ルートの探索を始め、探索完了後ルート全表示画面になります。
(設定によっては表示しません。)
案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。

※すでに探索したルートがある場合、メッセージが表示されるので はい を選ぶとルート探索を開始します。

※自宅を登録していない場合、メッセージが表示されるので はい をタッチし自宅を登録してください。

お知らせ

☆(オプション)に自宅を設定している場合は、☆を押すと自宅までのルートを探索します。
(オプションボタンの設定方法 ☞ G-12)

ルートを変更する

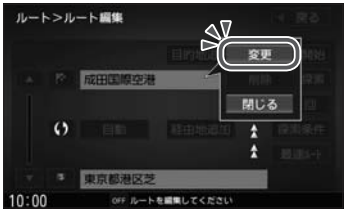
設定したルートを修正して、新しいルートを探索することができます。

目的地／出発地の変更

目的地の変更で操作説明しますが、出発地の変更の操作方法も同様です。

1 トップメニューから **ルート** ➡ **ルート編集** をタッチする。

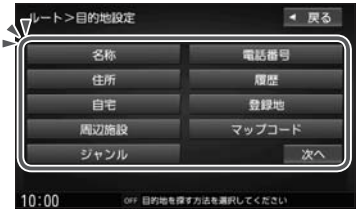
2 🏁 ➡吹き出しメニューから **変更** をタッチする。



3 検索方法を選んでタッチする。

※この後は、選んだ方法で検索した場所周辺の地図画面を表示します。

※ **目的地付近** ／ **出発地付近** ／ **経由地付近** ／ **現在地付近** をタッチした場合は、選んだ場所付近の地図が表示されるので、目的地まで地図をスクロールして **設定** をタッチしてください。



4 目的地を設定する。

表示された目的地で良い	吹き出しメニューの **目的地に設定する** をタッチ ※地図のみ表示された場合は **設定** をタッチし、吹き出しメニューを表示してください。
目的地の位置調整をする	吹き出しメニューの **閉じる** または地図画面をタッチ ➡カーソル(−┼−)が目的地に合うよう地図をスクロールする ➡ **設定** をタッチ➡ **目的地に設定する** をタッチ

5 探索開始 ／ 複数探索 ／ 最速ルート を選んでタッチする。

探索開始	ルート探索が完了し 案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。
複数探索	ルート探索が完了したものから順に、最大5ルートが表示されます。 （探索条件に設定したルートは優先的に探索されます。） ルートを選んで、 案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。 ☞ D-5
最速ルート	ルート探索を行い、ルート案内を開始すると、最新の渋滞情報をダウンロードし、より早いルートをご案内します。☞ D-4 ※カーウイングスサービスの申し込みが必要です。 ※最新の渋滞情報をダウンロードしても、より早いルートが見つからない場合もあります。

お知らせ

- 経由地を設定したときは、 複数探索 は選べません。
- 有料道路を優先しない設定にしていても、有料道路を使用したルート探索をすることがあります。
- 事前にルートを調べたいときなど、現在地と異なる場所を出発地としたルート案内を見たい場合は、 シミュレーション をタッチしてください。

目的地の追加

追加する地点を目的地にし、すでに設定した目的地を経由地にすることができます。

1 トップメニューから ルート ➡ ルート編集 ➡ 目的地追加 をタッチする。

2 D-7手順 3 、 4 を行う。

：目的地が追加され、すでに設定した目的地は経由地に変更されます。

3 ルートを探索するには 探索開始 ➡ 案内スタート をタッチする。

：ルート案内を開始します。

経由地の追加

経由地を5箇所まで追加できます。

1 追加方法を選ぶ。

ルート編集画面から追加	トップメニューから ルート ➡ ルート編集 ➡追加する場所の 経由地追加 をタッチ➡経由地の検索方法を選ぶ
ルート案内中に目的地メニューから追加	目的地メニューから経由地の検索方法を選ぶ

※この後は、選んだ検索方法で設定する場所周辺の地図画面を表示させます。

2 経由地を設定する。

表示された経由地で良い	吹き出しメニューの 経由地に設定する をタッチ ※地図のみ表示された場合は 設定 をタッチし、吹き出しメニューを表示してください。
経由地の位置調整をする	吹き出しメニューの 閉じる または地図画面をタッチ ➡カーソル(−┼−)が経由地に合うよう地図をスクロールする ➡ 設定 をタッチ➡ 経由地に設定する をタッチ

：ルート編集画面または経由地追加画面が表示されます。

3 ルート探索をする。

ルート編集画面が表示されたら	探索開始 をタッチ
経由地追加画面が表示されたら	追加 をタッチ

：ルート探索を開始します。

4 案内スタート をタッチする。

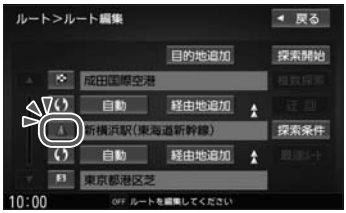
：ルート案内を開始します。

お知らせ

- 経由地間の距離が短すぎると、経路探索機能が正常に働かない場合があります。
- すでに通過した区間には経由地を設定することはできません。

経由地の変更／削除

1 トップメニューから
ルート ➡ **ルート編集** をタッチし、
変更／削除する経由地の ⚠ をタッチする。



2 変更または削除する。

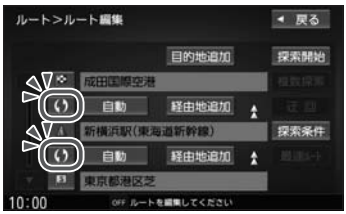
変更する	**変更** をタッチし、新しい経由地を設定する
削除する	**削除** をタッチ

お知らせ

閉じる をタッチすると、変更／削除の操作を中止します。

経由地／目的地など地点の入れ替え

1 トップメニューから
ルート ➡ **ルート編集** をタッチし、
入れ替えしたい場所の ⇕ をタッチする。



お知らせ

すでに通過した経由地の変更・入れ替えはできません。

探索条件の変更

1 トップメニューから
ルート ➡ **ルート編集** をタッチし、
変更する場所の **自動** をタッチする。

※全てを同じ探索条件に変更したい場合は、
探索条件 をタッチしても変更できます。

2 探索条件を選んでタッチする。

※探索条件については ☞ D-5

ルート案内をストップ／スタートする

よく知っている道など案内を必要としない場合は音声案内と案内画面表示を一時的に停止させたり、再度開始させることができます。

1 トップメニューから **ルート** ➡ **案内ストップ** または **案内スタート** をタッチする。

案内ストップ	ルート案内を停止
案内スタート	前回ルート探索したルート案内を開始

お知らせ

- ルート設定していない場合は選べません。（ボタンは暗くなります。）
- ルート案内をやめても、探索したルートは次にルートを探索したり、ルートの変更をしたり、保存ルートを呼び出したりするまでは保存されています。

現在のルートを表示する

設定したルートを全画面に表示させて確認することができます。

1 トップメニューから **ルート** ➡ **ルートの全表示** をタッチする。

：ルート全表示画面が表示されます。

「入口」：最初に乗るICの名称
「出口」：目的地に一番近いICの名称
「距離」：現在地から目的地までのおおよその距離
「料金」：有料道路を使用した場合の合計料金
※有料道路を通らないルートの場合や、一部の料金が不明な有料道路を通るルートの場合は「－－－」と表示されます。

お知らせ

- 3D表示のときでも、ルート全表示は平面地図画面で表示されます。
- 地図を詳細表示やスクロールして出発地から目的地までのルートを確認することができます。
- ルート詳細情報画面では各区間ごとの料金を表示します。（実際の料金と異なる場合があります。）

現在のルートを保存する

設定したルートの地点と探索条件を20件まで保存することができます。

1 トップメニューから ルート ➡ ルート保存 をタッチする。

お知らせ

- ルートの変更や再探索などをして新たなルートを設定した場合、現在のルートは自動的に削除されます。残しておきたいルートは、保存しておいてください。
- すでに設定したルートが20件保存されている場合は、保存できません。不要なルートを削除してください。
☞ D-14

現在のルートを削除する

1 トップメニューから ルート ➡ ルート削除 ➡ はい をタッチする。

：ルートを削除し、ルートメニューになります。

お知らせ

ルートの変更や再探索などをして新たなルートを設定した場合、現在のルートは自動的に削除されます。

保存したルートの呼び出し／削除をする

保存したルートを呼び出して、ルート探索したり保存したルートを削除したりできます。

1 トップメニューから ルート ➡ 登録ルート をタッチする。

2 保存したルートを呼び出す、または削除する。

呼び出す	リストから呼び出したいルートをタッチ ：ルート探索後、 案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。 ※保存したときの探索条件でルート探索されます。 ※ルート全表示画面は、設定によっては表示されません。 ※すでに現在のルートがあるときは、メッセージが表示され、 はい をタッチするとルート探索を開始します。
削除する	リストから削除したいルートの 🗑 をタッチ

渋滞地点を確認する

設定したルート上に渋滞／規制がある場合、渋滞／規制地点を表示して確認することができます。

1 現在地表示画面で
VICSタイムスタンプボタンをタッチする。

：音声案内とともに渋滞／規制地点が表示されます。

お知らせ

- ルート上に渋滞／規制がない場合、音声案内のみとなります。
- 渋滞地点は現在地から前方 10 km以内の一番近い渋滞／規制地点が表示されます。
- Quick ➡ 渋滞地点 で、渋滞地点を確認することもできます。
- ルート案内を停止している場合、VICSタイムスタンプボタンは無効です。

渋滞予測ルート探索をする

設定したルートについて、出発日時を変えたときに所要時間やルートがどう変化するか、本機に収録されている統計交通情報を使って予測できます。

1 トップメニューから **ルート** ➡ **渋滞予測回避** をタッチする。

2 出発日時を設定する。

■ **現在時刻探索** をタッチ

：ルート探索を開始します。ルート探索が完了すると、ルート確認画面が表示されます。

① **現在時刻** ／ **30分後** ／ **1時間後** ／ **予測なし** ／ **カレンダー** を選んでタッチし、ルートを確認する。

現在時刻	出発時刻を現在の時刻で設定
30分後	出発時刻を現時刻の30分後で設定
1時間後	出発時刻を現時刻の1時間後で設定
予測なし	渋滞統計データを考慮しないルートで設定
カレンダー	出発日時をお好みに設定

目的地までのおおよその距離と所要時間と到着予想時刻(有料道路をルート案内した場合は合計料金を表示し、一般道路や一部の有料道路などで料金不明な場合は「－－－円」と表示されます。)

■ **日時指定探索** をタッチ

① 日付を選んでタッチする。

カレンダー送りができます。
(今月を指定しているときは、前月を指定することはできません。**前月** は暗くなります。)

② 時間を24時間制(15分単位)で入力し、**探索** をタッチする。

：ルート探索を開始します。ルート探索が完了すると、ルート確認画面が表示されます。

③ **指定日時** ／ **30分後** ／ **1時間後** ／ **予測なし** をタッチしてルートを確認する。

指定日時	日時指定探索で設定した出発時刻とする。
30分後	日時指定探索で設定した出発時刻の30分後を出発時刻とする。
1時間後	日時指定探索で設定した出発時刻の1時間後を出発時刻とする。
予測なし	渋滞統計データを考慮しないルートで設定する。

目的地までのおおよその距離と所要時間と到着予想時刻
(有料道路をルート案内した場合は合計料金を表示し、一般道路や一部の有料道路などで料金不明な場合は「－－－円」と表示)

出発日時を変更します。

3 案内スタート をタッチする。

：ルート案内を開始します。

お知らせ

- 日時指定探索画面で過去の日時を設定することはできません。
- ルート確認画面で地図を詳細表示やスクロールして出発地から目的地までのルートを確認できます。
- 過去の渋滞状況をもとに渋滞を予測してルート探索するため、実際の渋滞を避けたルートになるとは限りません。
- 出発地と目的地との距離が長い場合、経由地を多く設定している場合は、ルート探索に時間がかかります。

シミュレーション走行をする

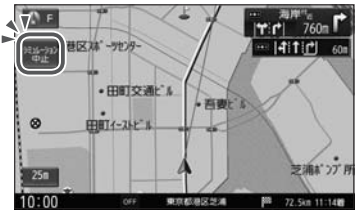
設定したルートを画面に表示し、地図上で走ってみることができます。（シミュレーション走行）
出発前に、前もってルートを確認するのに便利です。

1 トップメニューから **ルート** ➡ **ルートの全表示** をタッチする。

2 **シミュレーション** をタッチする。

：シミュレーション走行が開始されます。

3 シミュレーション走行を終えるには
シミュレーション中止 をタッチする。



お知らせ

- メニュー を押してもシミュレーション走行を終了させることができます。
- シミュレーション走行を終了しても、ルートは設定されています。走行を開始するとルート案内を開始します。
- シミュレーション走行時、交差点の拡大をしない／音声案内が遅れる／自車マークが大きく移動することがあります。
- シミュレーション走行中の操作は、実際の操作と異なります。（Quick MENUなどは操作できません。また、走行軌跡の表示はしません。）
- シミュレーション走行中に ▶ をタッチすると、JCTビュー、交差点拡大表示を一時的に消すことができます。（再度表示したい場合は ◀ をタッチ）

迂回探索をする

ルート案内走行時に工事や渋滞などで前方の道が通れない場合、別の道を通るようにルートを一部修正することができます。

1 トップメニューから **ルート** ➡ **ルート編集** をタッチする。

2 **迂回** をタッチする。

3 **迂回距離を選ぶ。**

：選んだ距離の迂回ルートを再探索します。

お知らせ

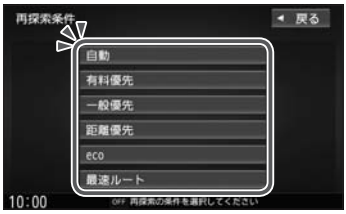
- 保存ルートを呼び出してルート案内走行していた場合、保存されているルートは変わりません。
- 迂回探索は、安全な場所に車を止めて行ってください。迂回探索中に移動すると、迂回ルートが表示されたときに、すでにそのルートから外れてしまっている可能性があります。
- 別の道がない場合や探索した迂回路が極端に遠回りになる場合は、現在のルートをそのまま表示する場合があります。
- 経由地を登録している場合は、経由地を通るルートを探索します。（すでに通過している経由地は除く。）

再探索をする

“自動再探索” しない に設定しているとき、ルート案内走行時に設定ルートから外れてしまったら、手動で現在地から目的地までの参考ルートを再探索することができます。
再探索が完了すると、古いルートが消えて、新しいルートが表示されます。
※あらかじめQuick MENUに 再探索 を設定しておく必要があります。☞ B-13

1 **現在地表示画面で、 Quick ➡ 再探索 をタッチする。**

2 **探索条件を選んでタッチする。**



お知らせ

- 経由地を設定している場合、経由地を通るルートを探索します。（すでに通過した経由地は除く。）
  また、選んだ探索条件は次の経由地までとなります。
- 再探索は、安全な場所に車を止めて行ってください。ルート探索中に移動すると、設定ルートが表示されたときに、すでにそのルートから外れてしまっている可能性があります。
- 高速道路上にいる場合は、一般道路に移動した後で行ってください。高速道路上で再探索をすると、GPS衛星電波の誤差により、再探索の出発地（現在地）が反対車線に設定され、進行方向と逆のルートを表示する場合があります。

ルート探索の詳細条件を設定する

ルート探索する条件を変更できます。次に行うルート探索から変更後の条件で探索します。

1 情報・設定メニューから ナビ設定 ➡ 探索 をタッチする。

2 詳細条件を選んでタッチする。

探索条件	探索条件(☞D-5)をタッチ
料金表示	車種をタッチ
自動再探索	する ／ しない をタッチ
フェリーを優先	する ／ しない をタッチ
季節規制考慮	する ／ しない をタッチ
時間規制道路を考慮	する ／ しない をタッチ ※祝祭日指定の時間規制のある道路では、一年中規制があるものとしてルート探索します。 ※実際の規制とは異なる場所もありますので、実際の交通規制に従って走行してください。
スマートICを利用 スマートIC： SA／PAなどから一般道に出入り可能なETC専用のインターチェンジ	する ／ しない をタッチ
ルート学習結果を利用 過去の交通状況データや自車の走行履歴などをもとにします。	する ／ しない をタッチ ※“探索条件” 距離優先 を選んでいる場合は、ルート学習結果を考慮しない場合があります。
VICS自動再探索	する ／ しない をタッチ ※“リアルタイム交通／VICS情報を考慮” しない に設定するとボタンが暗くなり選べません。 ※FM VICSのみの場合は渋滞による自動探索はできません。
リアルタイム交通／VICS情報を考慮 カーウイングスからの現在の交通情報やVICS情報をもとにします。	する ／ しない をタッチ ※FM VICSのみの場合は渋滞の考慮はできません。
統計交通情報を考慮	する ／ しない をタッチ
到着予想	自動 ／ 手動 をタッチ ※ 手動 に設定した場合は、 − ／ ＋ をタッチして平均走行速度を設定してください。(5 km/h単位) ※ 走行は実際の法定速度に従って走行してください。 ※ 自動 に設定するとVICS情報や統計交通情報を考慮して、目的地までの到着予想時刻を表示します。

お知らせ

探索条件について

- 自動 、 有料優先 、 一般優先 、 距離優先 、 eco のいずれか１つ設定できます。
- ルート案内中に探索条件を変更し 戻る をタッチすると、変更した探索条件で再探索を開始します。
- 探索条件で 一般優先 または 距離優先 を選んでいる場合でも、有料道路を使用したルート探索をする場合があります。

料金表示について

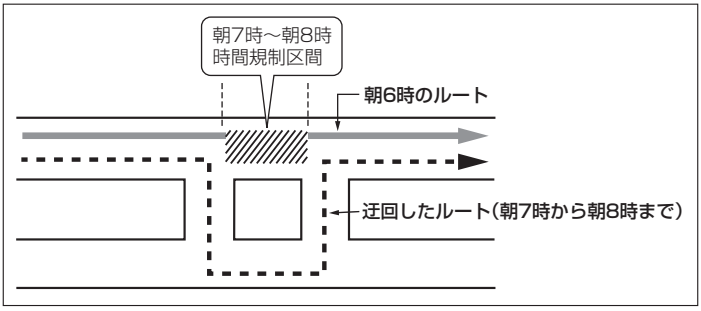
- 料金表示は目安としてお使いください。また、ETC割引には対応していません。
- 料金表示の対象道路は、都市間高速(東名高速、中央高速、名神高速など)、都市内高速(阪神高速、名古屋高速、首都高速など)および、一般有料道路がルートに含まれる場合、その通行料金が表示されます。ただし、一部の一般有料道路には対応していません。
- 料金表示は、探索されたルート上の料金所へのIN、OUTの情報から計算されます。
- 単一料金区間では乗り入れたときに精算するため、区間内で再探索を行っても、料金は表示されません。
- １つ目の料金所を通過した時点で、自動再探索が働いたり、手動によるルート探索を行うと、２つ目の区間だけの料金が表示されます。
- 高速道路、有料道路上で手動によるルート探索を行った場合は、料金表示はされず、「－－－円」と表示される場合があります。(ルートの出発地／目的地が高速(有料)道路上にある時も、料金の表示は「－－－円」となります。)
- “○○IC”を目的地に設定した場合は、目的地を設定した高速道路／有料道路の料金は表示されない場合があります。料金を表示したい場合は、料金所を出た一般道に目的地を設定してください。
- ルート探索を再度行わない限り、料金は最初に計算された表示のままです。
- ルート確認画面、ルート全表示画面、ルート詳細情報画面では出発地から目的地までのルートに含まれる有料道路の合計料金を表示します。
- ルート情報画面では有料道路の各区間ごとの料金を表示します。
- 新規開通道路または料金非対応路線を含むルートの場合は、「－－－円」または実際の料金と異なる場合があります。

フェリーを優先について

“フェリーを優先” する に設定にしていても、出発地と目的地の間にフェリー航路が地図データにない場合は、陸路になります。また、フェリー航路を優先しない場合もあります。

時間規制道路を考慮について

下記斜線部分に朝７時から朝８時まで時間規制がある場合、規制を考慮したルート探索をします。



※ルート探索した時間が朝６時のときは迂回しないルート探索をしますが、実際に運転されていて朝７時を過ぎると自動的に再探索され、迂回するルートに変わります。

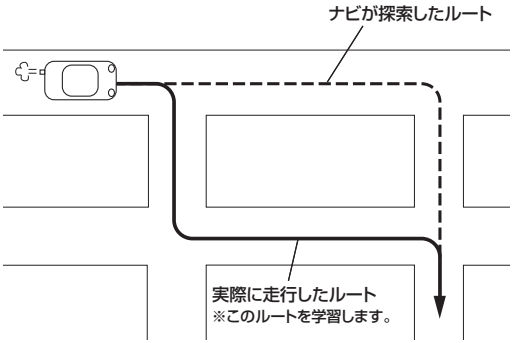
お知らせ

スマートICについて

- スマートICはETCユニットまたはDSRC車載器を搭載した車両のみご利用できます。
- 営業時間、営業期間、出入り方向などを考慮したルート探索は行っていますが、対象車種を考慮したルート探索は行っていません。（営業時間、営業期間は変更される場合がありますのでご注意ください。）
  ※ETCを搭載していない車両は通行できません。
  ※通行可能車両、通行可能時間などが制限されている場合がありますので、ご利用の際はご注意ください。

ルート学習結果について

- ルート案内中に探索したルートを外れて他のルートを何度か走行した場合、そのルートを学習します。
  ※探索したルートが渋滞している場合、ルート学習結果は考慮されません。
  ※ルート学習結果を初期化するには ☞ G-11



VICS自動再探索・リアルタイム交通／VICS情報を考慮・統計交通情報を考慮について

- “VICS自動再探索” する に設定すると、ルート前方に通行止めなどの規制情報が存在した場合に、自動でルートを再探索します。
- “リアルタイム交通／VICS情報を考慮” する に設定していても規制のみ（通行止めなど）を考慮したルート探索となります。
- カーウイングスでリアルタイム交通情報を受信した場合は渋滞情報を考慮したルート探索を行います。
- “リアルタイム交通／VICS情報を考慮” する 、“VICS自動再探索” する に設定しても、VICS情報を受信できていない場合は渋滞を考慮するルート探索やVICS自動再探索はされません。
- “リアルタイム交通／VICS情報を考慮” する に設定しても、カーウイングスから最新の交通情報が提供されていない区間では、渋滞が発生していても考慮されない場合があります。
- “統計交通情報を考慮” する に設定すると本機に収録されている季節・曜日・大型連休・時間などをパターン化した過去のVICS渋滞統計データをもとにルート探索を行うため、突発的な事故・工事・規制などによる交通状況の急な変化には考慮されない場合があります。
- 探索されたルートは必ずしも渋滞区間を含まないルートになるとは限りません。

E
ナビゲーションの設定

地図画面の表示設定をする …… E-2
自車位置の設定をする …… E-6
走行軌跡の設定をする …… E-7
案内画面の設定をする …… E-8
高速道路での逆走報知を設定する …… E-11
地点を登録する …… E-12
自宅／登録地／フォルダ名を編集する …… E-13
　自宅や登録地を編集する …… E-13
　お気に入り地点を登録／解除する …… E-15
　フォルダ名を編集する …… E-15
自宅／登録地を削除する …… E-16
登録地の順番を並び替える …… E-17
VICS情報表示の設定をする …… E-18
渋滞情報保存時間を設定する …… E-19

地図画面の表示設定をする

メイン画面／右画面や地図色、情報バー表示などの設定ができます。

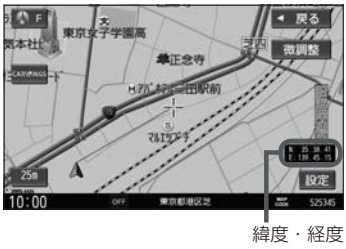
1 情報・設定メニューから **ナビ設定** ➡ **表示** をタッチする。

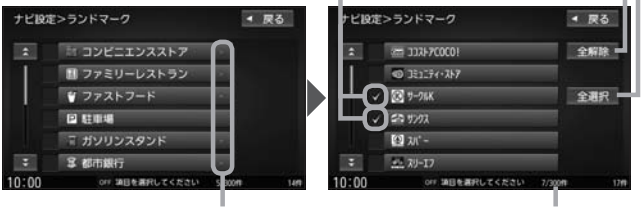
2 設定したい項目を選んで設定する。

メイン画面用地図設定／右画面用地図設定	
名称の文字サイズ	地図に表示されている名称の文字サイズを変更
吹き出しを表示	高速道路の出入口、主要交差点の交差点名を吹き出しで表示／非表示 ※表示は収録されているデータに基づいて行うため、収録されていない交差点では表示しません。
標高地図を表示	地図の縮尺が5 km以上の画面で、詳細な地形地図にする／しない
地図モード	地図表示(方位)を設定できます。(☞ B-4) **北向き** …… 北方向を上 **進行方向** … 進行方向を上 **3D** …… 3D表示
3D視角調整	3D表示の角度を調整 …角度を下げる　…角度を上げる
右画面に地図表示 (右画面用地図設定のみ)	右画面に地図を表示／非表示

地図色設定	
昼夜切り替え	**時間連動** …… 日付、時間と自車位置を考慮し、地図色を切り替え **昼** ／ **夜** …… 昼モード／夜モードに固定 **スモール連動** … 車のライトをONにすると夜モードの色に、ライトをOFFにすると昼モードの色に自動的に切り替え
地図切り替え	**ノーマル** …… 道路・文字が標準的に表示 **道路メイン** …… 詳細地図で国道と一般道を識別しやすくするため、道路をしっかりと表示 **文字メイン** …… 文字情報を強調した地図を表示
標高地図色	**季節連動** …… GPSからの日付情報をもとに3月～5月は春、6月～8月は夏、9月～11月は秋、12月～2月は冬と自動的に切り替え **標準** ／ **春** ／ **夏** ／ **秋** ／ **冬** …… 標準色や各季節色に固定

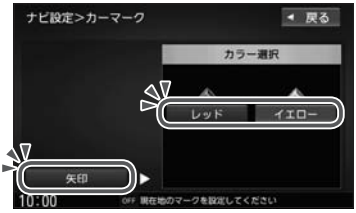
情報バー表示設定	
MAPCODEを表示	マップコードを表示／非表示 （現在地表示時は除く。）
地図情報を表示	住所名 …住所名を表示 道路名 …道路名を表示 ※住所名を選んだ場合は周辺の名称を表示し、道路名を選んだ場合は地図データに収録されている道路を走行しているとき道路名を表示します。 地図情報（例） ※道路名表示ができない場合は周辺の住所を表示します。 ※GPS衛星電波の誤差により、実際に走行している道路名が出なかったり、近くの別の道路名が出る場合もあります。
AV情報を表示	現在地表示時に、再生中の曲名や周波数、放送局名などを表示／非表示

その他設定	
緯度・経度を表示	地図画面（現在地表示時は除く。）に、緯度・経度を表示／非表示 
冠水注意ポイント表示	冠水注意ポイントを表示／非表示 ※縮尺スケールが100 mまでの地図表示のとき、豪雨時に一時的に道路が冠水し通行に支障・危険をもたらすおそれがある地点を表示します。 ※冠水注意ポイント表示は一部地域をを除く都道府県で表示対応しています。
市街地図での冠水注意ポイント表示	“冠水注意ポイント表示” する に設定した場合、市街地図で冠水注意ポイントを表示／非表示

その他設定	
登録地を表示	登録地マークを表示／非表示 登録地マーク
映像中の時計表示	映像の全画面表示中に画面左下に時計を表示／非表示
安全運転メッセージ	本機を起動時に安全運転メッセージを表示／非表示 （条件により表示されない場合があります。）
エコ運転機能を表示	現在地表示のとき、エコ運転機能を表示／非表示
アニメーションを表示	「トップメニューからAVメニューへ」などメニュー画面を切り替えるとき、画面をどのように表示させるか設定できます。 **する** …… 画面がスクロールするように次のメニュー画面へ切り替わる **しない** …… すぐに次のメニュー画面へ切り替わる
ランドマーク	コンビニエンスストアなどの各施設を地図上にマークで表示できます。 ① **設定する** **➡表示したいジャンル、施設を選んでタッチ** ：選んだ施設に✔印が付きます。 （再度タッチすると✔印が解除） ② **戻る** **をタッチ** ✔印　全施設に✔印　✔印を全て解除  細かい分類がある場合は▶マークが表示 ✔印を付けた数（最大300件まで）

お知らせ

- 縮尺スケールが500 m以上の場合は、ランドマークは表示されません。
- 複数の施設を表示する場合、多数の情報がある地域では、地図がマークだらけになり、マークが重なり合って見づらくなります。不要な施設は表示をやめることをおすすめします。
- ランドマークにカーソルを合わせると、地図画面下に施設名が表示されます。

その他設定	
カーマーク	自車マークの色を選ぶことができます。 ① **設定する** ➡ **マークの色を選んで タッチ** ：選んだ色で表示 されます。 
自車位置	☞ E-6
走行軌跡	☞ E-7

自車位置の設定をする

走行環境やGPS衛星の状態などにより、自車マークの位置や角度が実際とずれることがあります。
GPS衛星電波をさえぎる障害物のない見晴らしの良い場所を一定速度でしばらく走行すると、自動的に修正されますが、お客さまで修正することもできます。

1 情報・設定メニューから **ナビ設定** ➡ **表示** ➡ “自車位置” **修正する** をタッチする。

2 地図をスクロールし、自車マークを修正したい場所にカーソル(−┼−)を合わせ、**セット** をタッチする。

※必要に応じて **微調整** をタッチして位置を合わせてください。

3 矢印をタッチして、自車マークの角度を合わせ、**セット** をタッチする。

：修正された現在地の地図画面が表示されます。

お知らせ

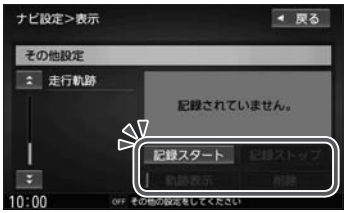
現在地から目的地までのルート探索をする際、自車マークの位置／角度が間違っている場合は、必ず修正してください。

走行軌跡の設定をする

通った道にしるしを付け、記録することができます。
通った道をあとで確認したり、同じ道を通りたいときなどに便利です。

1 情報・設定メニューから **ナビ設定** ➡ **表示** をタッチする。

2 “走行軌跡”の設定をする。



軌跡の記録をする	**記録スタート** をタッチ ：軌跡の記録を開始します。自車マークが移動すると、軌跡が表示され、登録が開始されます。
軌跡の記録をやめる	**記録ストップ** をタッチ
地図上に軌跡を表示する	**軌跡表示** をタッチし、表示灯を点灯 ：地図上に軌跡が青色で表示されます。 ※走行軌跡の記録をしていない場合はタッチできません。 ※表示するだけで記録はされません。
地図上の軌跡の表示をやめる	**軌跡表示** をタッチし、表示灯を消灯 ※表示をやめるだけで、メモリから消すわけではありません。
軌跡を削除する	**削除** をタッチ ：メッセージが表示されるので、 **はい** をタッチします。 ※走行軌跡の記録をしていない場合はタッチできません。

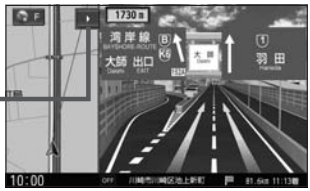
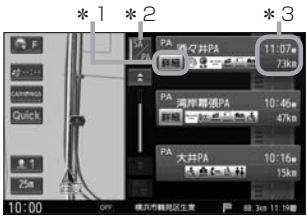
お知らせ

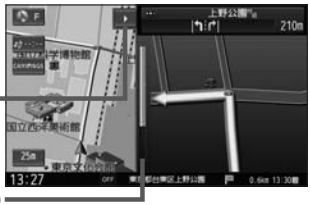
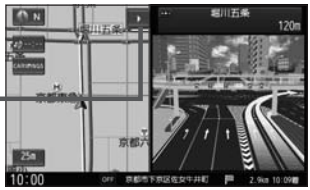
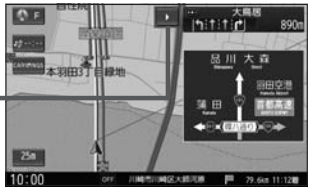
- 軌跡は、約500 kmまで記録できます。容量をこえると、古い軌跡から順に自動的に消し、新しい軌跡を記録します。
- 軌跡の記録をやめ、再度軌跡の記録を開始した場合は、前回記録した続きより記録されます。
- シミュレーション走行中は軌跡の記録を行いません。
- 軌跡を記録中は、軌跡の表示をやめることはできません。
- 走行中の操作はできません。

案内画面の設定をする

1 情報・設定メニューから **ナビ設定** ➡ **案内** をタッチする。

2 設定したい項目を選んで設定する。

ルートの全表示	ルート探索終了後、ルート全表示をする／しない ※ **しない** に設定していても、複数ルート探索後はルート全表示となります。
交差点情報の表示	走行中、常に交差点情報を表示／非表示 （ルート案内時に曲がる方向を黄色の矢印で表示） ※ **案内中のみ** をタッチするとルート案内時のみ交差点情報を表示します。
ETCレーンの表示	料金所の手前でETCレーンを表示／非表示 ▶ をタッチすると、一時的にETCレーン表示を消します。（再度表示するには ◀ をタッチ）
JCTビューの表示	JCTビューを表示／非表示 ▶ をタッチすると、一時的にJCTビュー表示を消します。（再度表示するには ◀ をタッチ） 
ルート情報の表示	ルート情報を表示／非表示  ＊1…高速道路を走行中に、パーキングエリア(PA)、サービスエリア(SA)、料金所(￥)のボタンが表示されたとき、 **詳細** をタッチすると、特徴や施設情報などの詳細情報を表示できます。(探索したルートに高速道路がある場合でも、その高速道路に情報がない場合、ボタンは表示されません。)走行中は詳細情報は表示できません。 ＊2…ルート案内中に高速道路または有料道路を走行中 **SA／PA** をタッチすると、サービスエリア／パーキングエリアのみルート情報を表示します。探索したルートに高速道路がある場合でもその高速道路にサービスエリア／パーキングエリアがないときは選べません。 ＊3…経由地や各ポイントなどへの到着時間や距離を表示します。

ハイウェイモードの表示	高速道路／一般有料道路走行時のみルート情報を表示／非表示
交差点拡大図の表示	交差点拡大図を表示／非表示  ▶をタッチすると、一時的に交差点拡大図表示を消します。（再度表示するには◀をタッチ） バーの長さによって交差点までの残距離の目安を表示
リアル3D表示	リアル3D 交差点を表示／非表示  ▶をタッチすると、一時的にリアル3Dの表示を消します。（再度表示するには◀をタッチ）
方面看板の表示	走行中は常に方面看板を表示／非表示  ▶をタッチすると、一時的に方面看板表示を消します。（再度表示するには◀をタッチ） ※ 案内中のみ をタッチするとルート案内時のみ方面看板を表示します。 ※ する ／ 案内中のみ に設定している場合、ルート案内時に進む方向を黄色の矢印で表示します。
高速道路での逆走報知	E-11
AV画面中の案内割込み	オーディオ画面表示中に左折や右折などの情報がある場合、ルート案内画面に切り替える／切り替えない ※ルート案内終了後、オーディオ画面に戻ります。 ※▶をタッチするとルート案内画面を一時的に消します。

お知らせ

交差点情報の表示について

- 交差点情報は次の案内ポイントまでの距離と曲がる方向、交差点の名称を表示します。（表示される距離は目安です。実際の距離とは異なる場合もあります。）
- 次の交差点が10 km以上の場合は交差点情報マークに“みちなり”と表示されます。
- 次の案内ポイントまでにレーン情報がある場合、交差点情報の下にその交差点までの距離とレーンガイドを表示します。

お知らせ

ETCレーンの表示について

- ETCレーン表示は、ETCユニット未接続時でも表示されます。
- 表示は地図ソフトに収録されているデータに基づいて行うため、
  - ・データが収録されていないETCレーンでは、ETCレーン表示はしません。
  - ・データは地図ソフト作成時のものであるため、表示された内容が実際とは異なる場合がありますのでご注意ください。

JCTビューの表示について

- 高速道路や都市高速道路のJCT分岐や都市高速道路の出口(ランプ)が近づくと、その付近の案内図を右画面に表示します。案内図には、方面案内とともに、曲がるべき方向が表示されます。案内が終わると、もとの画面に戻ります。
- 表示は、地図ソフトに収録されているデータに基づいて行うため、
  - ・データが収録されていない分岐点では、JCTビューはしません。
  - ・データは地図ソフト作成時のものであるため、表示された内容が実際とは異なる場合がありますので、ご注意ください。
- 地図ソフトでは、JCTビューは、高速道路や都市高速道路の一部に対応しています。

ルート情報の表示について

- “ルート情報の表示” **する** に設定すると、ルート探索をしてルート案内に従って走行しているとき、道路名称、曲がる方向／距離、高速道路／一般有料道路の各区間ごとの料金や情報などを表示します。ルート情報は、ルート案内時とシミュレーション走行時に表示できます。
- VICS情報を受信している場合、その区間の渋滞状況やVICS情報マークを表示します。

ハイウェイモードの表示について

- “ルート情報の表示” **する** に設定すると、高速道路／一般道路の情報も表示する設定になるため、“ハイウェイモードの表示”は選べなくなります。
- ハイウェイモードを表示する設定にしていても、ルートを引いていないと表示されません。

交差点拡大図の表示について

- 主要な交差点に近づくと、その交差点の拡大図を右画面に表示します。拡大図には、交差点名やランドマークとともに、曲がるべき方向が矢印で表示されます。
- GPS衛星からの電波が受信できず、正しい測位ができない場合や、GPSデータの誤差が大きい場合は、交差点拡大図機能は正常に働きません。また、連続する交差点間の距離が短すぎる場合は、この機能は働きません。
- 表示は、地図ソフトに収録されているデータに基づいて行うため、
  - ・データが収録されていない交差点では、交差点拡大図表示はしません。
  - ・交差点によっては、交差点名やランドマークが表示されないものもあります。
  - ・データは地図ソフト作成時のものであるため、表示された内容が実際とは異なる場合がありますので、ご注意ください。

リアル3D表示について

ルート案内時、札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京23区、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市の一部交差点でリアル3D交差点(立体的デザイン)を表示します。

方面看板の表示について

交差点まで距離が短い場合、方面看板は表示されません。

AV画面中の案内割込みについて

- 本機を操作している間は、ルート案内画面に切り替わらない場合があります。
- ルート案内画面に切り替わった際に本機を操作するとAV画面に戻らない場合があります。

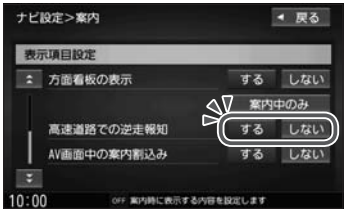
高速道路での逆走報知を設定する

高速道路で逆走してしまったとき、画面表示と音声でお知らせし、運転者に注意を促します。

1 情報・設定メニューから ナビ設定 ➡ 案内 をタッチする。

2 “高速道路での逆走報知” する ／ しない を タッチする。

する	逆走報知を設定する
しない	逆走報知を設定しない



⚠注意
- 高速道路での逆走報知機能は状況によって、報知しないことや報知の内容が実際の状況と異なることがあります。実際の道路状況を確認のうえ、安全に走行してください。
- 高速道路上で逆走をしてしまった場合は安全を確保したうえで、高速道路上に設置された非常電話などで指示を受けるようにしてください。

お知らせ

- 逆走報知画面は 現在地 を押す、または ▶ ／ 解除 をタッチすると表示を解除できます。

逆走報知画面(例)

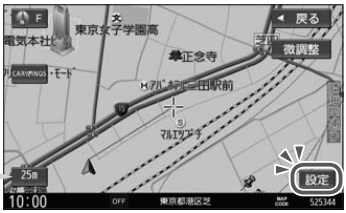
- 下記のような条件などの場合には、画面表示、音声で報知しないことや、報知内容が実際の状況と異なることがあります。
  - ・走行条件が複雑な都市高速道路のインターチェンジ付近における逆走
  - ・周囲に分岐・合流のない本線道路上のUターン
  - ・ダッシュボードの上に物を置いたなどGPS信号が受信できない場合
  - ・トンネルなどの遮蔽によりGPS信号が受信できない場合
  - ・高架橋下や高層ビル群地帯などGPS信号が正しく受信できない場合
  - ・旋回、切り返し、その他の走行条件などにより、ナビゲーションが正しい道路に自車位置を表示できない場合
  - ・地図画面に表示されない道路や新設された道路、改修などにより形状が変わった道路を走行の場合

地点を登録する

地点にマークを付けて登録できます。
（1ユーザーにつき最大900箇所（2ユーザーまで登録可能）・自宅を含む。）

1 マークを付けたい場所にカーソル（−┼−）を合わせ、**設定** をタッチする。

最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。



2 **地点を登録する** をタッチする。

：地図上に地点マークが追加されます。

お知らせ

- 地点を登録してルート探索した結果とジャンル検索でルート探索した結果が異なる場合があります。
- 登録地の情報はメインフォルダに格納されます。マークやフォルダの変更など登録地の情報を編集することができます。E-13
- マークを非表示にできます。（登録地検索時は表示）E-4

自宅／登録地／フォルダ名を編集する

自宅や登録地の名称などを変更したり、電話番号(TEL)などを登録したりできます。

自宅や登録地を編集する

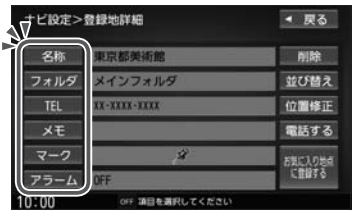
1 情報・設定メニューから **ナビ設定** ➡ **登録地編集** をタッチする。

2 **自宅編集** ／ **お気に入り地点編集** ／ **登録地編集** を選んでタッチする。

※ **登録地編集** をタッチした場合は、リストから編集したい登録地を選んでタッチしてください。

3 変更／登録したい項目をタッチする。

登録地詳細画面(例)



お知らせ

- **自宅編集** をタッチした場合、表示されるボタンは異なります。
- カーソル(−┼−)を編集したい地点マークに合わせ **設定** ➡ **地点を編集する** でも登録地詳細画面を表示できます。
- 電話番号が収録されている場合、 **電話する** が表示されます。 **電話する** ➡ **発信** をタッチすると(携帯電話を複数台登録している場合は、通話したい携帯電話(電話1／電話2)の **発信** をタッチ)ハンズフリーで電話をかけます。

■ 名称／メモを編集する

① **名称** ／ **メモ** をタッチ➡文字を入力し、 **決定** をタッチする。

名称 …全角12文字、半角25文字まで

メモ …全角16文字、半角32文字まで

■ 電話番号を編集する

① **TEL** をタッチ➡数字を入力し、 **決定** をタッチする。

■ フォルダを変更する

① **フォルダ** をタッチ➡
移動させたいフォルダを選んでタッチする。

：選んだフォルダに登録地が移動します。

※“自宅”はフォルダを選べません。

■ マークを変更する

① **マーク** をタッチ➡表示したいマークを選んでタッチし、 **戻る** をタッチする。

■ アラームを変更する

① **アラーム** をタッチする。

② お好みのアラーム音を選んでタッチする。

アラーム１	登録地付近です
アラーム２	チェックポイントです
アラーム３	スピードに注意してください
アラーム４	お帰りなさい
アラーム５	運転おつかれさまでした
アラーム６	効果音１
アラーム７	効果音２
アラーム８	効果音３
アラーム９	効果音４

③ 案内距離を選んでタッチする。

※選んだ距離まで近づくと、アラーム音が鳴ります。

④ 特定の方向から登録地に近づいたときにアラーム音を鳴らす場合は、 **進入角度** をタッチし、矢印をタッチして自車マークの方向を修正し、 **セット** をタッチする。

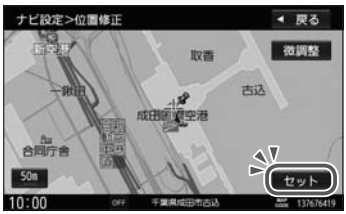
：アラーム編集画面に戻り、 **進入角度** の表示灯が点灯します。

⑤ **戻る** をタッチする。

■ 位置を修正する

① **位置修正** をタッチ➡カーソル(−┼−)の位置を修正し、 **セット** をタッチする。

：位置が修正されます。



お気に入り地点を登録／解除する

1 情報・設定メニューから ナビ設定 ➡ 登録地編集 をタッチする。

■ 登録する

① お気に入り地点編集＜登録されていません＞ ➡
お気に入り地点にしたい登録地を選んでタッチする。

お知らせ
- お気に入り地点の登録は 1 箇所のみです。
- お気に入り地点を登録すると、マークが自動的に ★ に変わります。

■ 解除する

① お気に入り地点編集 ➡
お気に入り地点を解除する をタッチする。

フォルダ名を編集する

1 情報・設定メニューから ナビ設定 ➡ 登録地編集 をタッチする。

2 フォルダ名編集 ➡編集したいフォルダを選んでタッチする。

3 文字を入力し、 決定 をタッチする。

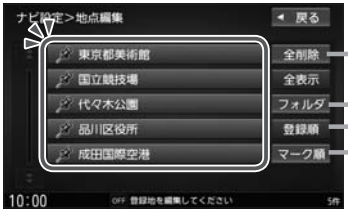
自宅／登録地を削除する

1 情報・設定メニューから **ナビ設定** ➡ **登録地編集** をタッチする。

2 **自宅編集** ／ **お気に入り地点編集** ／ **登録地編集** を選んでタッチする。

※ **自宅編集** ／ **お気に入り地点編集** をタッチした場合は ☞ 手順 **4** へ

3 削除したい地点を選んでタッチする。



- 全削除 — 全ての登録地を削除
- フォルダ — フォルダごとに表示
- 登録順 — 地点を登録した順に表示
- マーク順 — 同じマーク同士をまとめて表示（お気に入り地点は一番上に表示）

4 **削除** をタッチする。

お知らせ

- 登録地を削除すると、地図上からマークが消え、登録した内容も全て消えます。一時的に、地図上からマークを消したい場合は ☞ E-4
- カーソル（┼）を編集したい登録地マークに合わせ **設定** ➡ **地点を編集する** をタッチしても登録地詳細画面を表示できます。

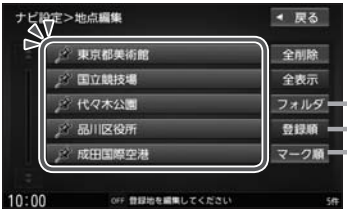
登録地の順番を並び替える

1 情報・設定メニューから **ナビ設定** ➡ **登録地編集** をタッチする。

2 **登録地編集** をタッチする。

3 並び替えをしたい登録地を選んでタッチする。

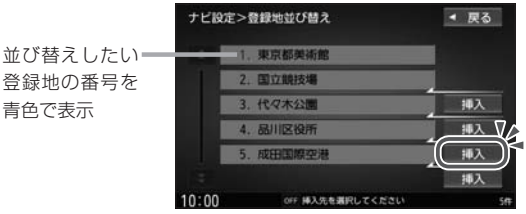
※全ての登録地を表示している場合は全登録地で並び替え、フォルダで表示している場合は選んだフォルダ内で並び替えをします。



4 **並び替え** をタッチする。

5 挿入したい場所の **挿入** をタッチする。

例 品川区役所の下に挿入する場合



お知らせ

- 登録地が自宅以外に２個以上ある場合に並び替えができます。１個の場合は **並び替え** は表示されません。
- カーソル（ ）を編集したい地点マークに合わせ **設定** ➡ **地点を編集する** をタッチして登録地詳細画面を表示させることもできます。

VICS情報表示の設定をする

地図画面にVICS情報を表示する道路や表示する項目を設定できます。

1 情報・設定メニューから **ナビ設定** ➡ **渋滞情報** ➡ **VICS表示設定** をタッチする。

2 表示したい道路を選んでタッチする。

：表示灯が点灯／消灯し、マークや矢印の表示／非表示が切り替わります。

一般道	一般道路に対し交通情報を表示
有料道	有料道路に対し交通情報を表示

3 表示したい項目を選んでタッチする。

：表示灯が点灯／消灯し、選んだ項目の表示／非表示が切り替わります。

※ **点滅** をタッチして表示灯を点灯させると、VICS情報の矢印表示が点滅します。

お知らせ

- 表示したい項目の表示灯を点灯させても、VICS情報が表示されない場合は、表示中の地域に情報がない、または表示中の縮尺がVICS情報表示できない縮尺であることが考えられます。
- 情報が多い場合は、VICS情報表示するまでに数秒かかることがあります。
- VICS情報表示は、地図スクロール中はデータ処理のために消える場合がありますが、スクロールをやめると表示されます。
- 地図画面にVICS情報を表示する場合は、VICS放送局を受信してください。

渋滞情報保存時間を設定する

取得したVICS情報を保存する時間を設定できます。

1 情報・設定メニューから **ナビ設定** ➡ **渋滞情報** ➡ **渋滞情報保存時間設定** をタッチする。

2 保存時間を選んでタッチする。

お知らせ

- VICS情報が受信されない状態で、設定した保存時間を過ぎると情報が消去されます。
- 設定した保存時間内に新しいVICS情報を受信した場合は、情報が上書きされます。

F
情報を見る

交通情報(VICS情報)を見る……F-2
交通情報(VICS情報)とは……F-2
文字情報(レベル1)、簡易図形情報(レベル2)を見る…F-2
VICS情報の地図表示(レベル3)について……F-3
緊急情報を見る……F-4
緊急情報について……F-4
交通情報を選局する……F-5
プリセット(保存)する……F-6
プリセット(保存)した放送局を呼び出す……F-6
エコ運転診断の設定をする……F-7
履歴を表示する……F-8
エコ運転診断データをリセットする／
SDカードに保存する……F-8
GPS情報を見る……F-9
渋滞予測地図を見る……F-10
システム情報／バージョン情報を見る……F-11
システム情報を見る……F-11
バージョン情報を見る……F-11

交通情報(VICS情報)を見る

交通情報(VICS情報)とは

FM多重放送局の中には、VICSセンターから提供されるVICS情報(レベル1、レベル2、レベル3)を放送している局*1があります。本書および画面表示では、このVICS情報を“交通情報”とも呼んでいます。

VICS情報を見るには、あらかじめ受信する放送局を選局しておく必要があります。☞F-5

※表示形式は、放送局によって異なる場合があります。

※表示内容は更新(変更)される場合があります。

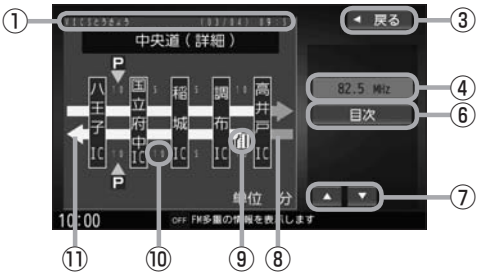
＊1…本書では交通情報を放送しているFM多重放送局を“VICS放送局”と呼んでいます。

文字情報(レベル1)、簡易図形情報(レベル2)を見る

1 情報・設定メニューから 情報 ➡ 渋滞情報 ➡ “FM VICS” 文字情報 ／ 図形情報 をタッチする。

文字表示(例)
文字で情報などが表示されます。

簡易図形表示(例)
簡単な図形や文字で交通情報が表示されます。



①ヘッダー文

VICS放送局名、ページ、情報提供時刻などを表示します。

②目次内容

③ 戻る ボタン

ひとつ前の画面に戻ります。

④受信中の周波数

⑤目次選択ボタン

⑥ 目次 ボタン

目次画面に戻ります。

⑦ ▲ ／ ▼ ボタン(ページ戻し／送り)

2ページ以上ある場合に表示されます。暗い項目は選べません。

⑧渋滞情報

赤色：渋滞　　橙色：混雑

※渋滞方向を矢印で表示します。

⑨VICS情報マーク☞F-3

⑩矢印方向の次の地点までのおおよその所要時間

所要時間を5分単位で表示します。

⑪ 矢印表示

高速・有料道路がこの先も続くことを示します。
この先に情報提供がない場合は、灰色です。

VICS情報の地図表示(レベル3)について

VICS情報(レベル3)を受信すると、地図画面に交通規制や渋滞情報などを表示します。

地図表示(例1：現在地表示画面)
地図上に交通情報が表示されます。

地図表示(例2：スクロール画面)

①VICSタイムスタンプボタン

- 交通情報の提供時刻を表示します。
  ※表示可能なレベル3情報がないときは
  “－－：－－”を表示します。
- ルート案内中にタッチすると、渋滞／規制を確認することができます。

②渋滞情報

赤色：渋滞　橙色：混雑　緑色：渋滞なし　黄色：規制
※渋滞の方向を矢印で表示します。

③VICS情報マーク

VICS情報マーク(一例)

事　故	故障車	路上障害	工　事	凍　結	片側交互通行
チェーン規制	対面通行	車線規制	徐　行	大型通行止め	入り口制限

④マーク詳細情報

地図をスクロールさせてVICS情報マークにカーソル(－┼－)を合わせると、マーク詳細情報が表示されます。

お知らせ

- 渋滞情報は、情報が不明な場合は表示されません。
- 縮尺によってはレベル3表示できない場合があります。
- レベル3表示の情報提供時刻は、レベル1やレベル2表示の情報提供時刻と一致しない場合があります。
- 情報提供時刻が表示されているときに、レベル3が表示できます。
- 受信状況によっては、レベル1、レベル2、レベル3の情報を全て表示することはできない場合があります。
- 次の場合は、本機で受信した情報が消去されます。
  ・車のキースイッチを「OFF」にしたり、受信周波数が変わると受信した情報が消去されることがあります。
  ・渋滞情報保存時間が経過した場合、消去されます。

緊急情報を見る

交通情報の緊急情報番組を受信します。

1 **情報・設定メニューから 情報 ➡ 渋滞情報 ➡ “FM VICS” 緊急情報 をタッチする。**

※情報を受信していないときは、ボタンは暗くなります。
情報表示中に新しい情報を受信すると、自動的に情報を書き替えます。

緊急情報について

受信中の放送局の緊急情報番組を受信すると、受信音で知らせます。

- 現在地、スクロール画面、メニュー画面、AV画面表示時などに受信した場合は、自動的に情報を表示します。ただし、再探索中などは割り込み表示しません。
  ※しばらくすると緊急情報は消え、自動的に割り込み前の画面に戻りますが、緊急情報表示画面で、▶ をタッチして、割り込み前の画面に戻すこともできます。
- 交通情報表示中に受信した場合は、他の情報より優先して、受信した緊急情報を表示します。この場合、緊急情報表示画面で、 戻る をタッチすると、メニューに戻ります。
- 上記以外のときに受信した場合、緊急情報を見るには、情報・設定メニューから 情報 ➡ 渋滞情報 ➡ “FM VICS” 緊急情報 をタッチしてください。

お知らせ

緊急情報表示をやめる場合は、 現在地 ／ メニュー を押すか、 ▶ をタッチしてください。

交通情報を選局する

交通情報を見るには、情報を受信する放送局を選局してください。
選局には、自動選局、手動選局、エリア選局の３つの方法があります。

1 情報・設定メニューから 情報 ➡ 渋滞情報 ➡ “FM VICS” 周波数設定 をタッチする。

2 選局方法を選んで選局する。

受信中の放送局と周波数
表示灯
自動選局を選ぶとき
エリア選局を選ぶとき
手動選局を選ぶとき

自動選局	自動選局 をタッチし、表示灯を点灯／消灯 （点灯：自動選局に設定、消灯：自動選局解除） ※自動選局に設定すると、“サーチ中”と表示され、自動選局を開始します。（放送局が受信できるまでは、“サーチ中”を表示したままとなります。） ※自動選局に設定中は、受信中の電波が弱くなると自動的に電波の強い周波数（放送局）に切り替えます。
手動選局	＋ ／ － をタッチし、受信したい周波数を表示 ※ ＋ をタッチすると、0.1 MHzアップ、長めにタッチすると始めは0.1 MHzアップし、その後１MHzずつアップします。 － をタッチすると、0.1 MHzダウン、長めにタッチすると始めは0.1 MHzダウンし、その後１MHzずつダウンします。
エリア選局	① エリア選局 をタッチ ：放送局リスト画面が表示されます。 ② 選局する放送局を選んでタッチ 放送局リスト画面

お知らせ

- 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなり、自動選局／エリア選局ができない場合があります。その場合は手動選局で周波数を合わせてください。
- 電波が強くなければ交通情報は受信できません。音声放送が聞けたとしても、交通情報は受信できない場合があります。

プリセット(保存)する

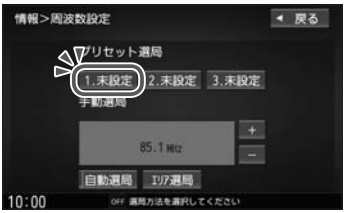
放送局を3個までプリセットできます。

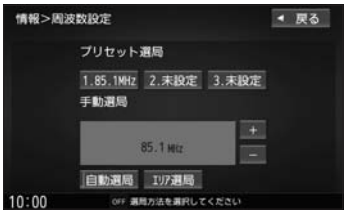
1 プリセットしたい放送局を受信する。

お知らせ

自動選局にしている場合は、自動選局を止めてください。自動選局のままにしておくと、受信中の電波が弱くなった場合に本機がサーチを始め、周波数が変わる場合があります。

2 保存させたいボタンを選んで長押しする。





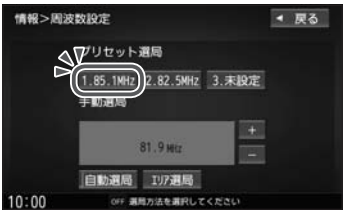
お知らせ

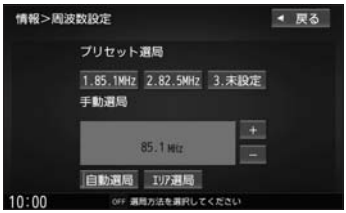
すでに他の放送局がプリセットされているボタンを選ぶと、新しい放送局が上書きされます。

プリセット(保存)した放送局を呼び出す

1 情報・設定メニューから 情報 ➡ 渋滞情報 ➡ “FM VICS” 周波数設定 をタッチする。

2 呼び出す周波数を選んでタッチする。





※プリセットした放送局を呼び出したときは、手動選局表示になります。

エコ運転診断の設定をする

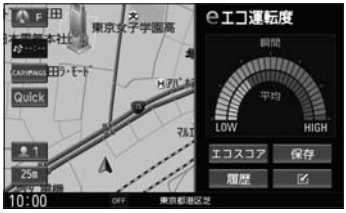
環境にやさしく無駄の少ない運転ができているか評価して、診断結果を見ることができます。診断結果を参考にゲーム感覚でエコ運転を身につけることができます。

1 現在地表示のとき、簡易エコスコア表示ボタンをタッチする。

：エコ運転度画面またはエコスコア画面が表示されます。

※簡易エコスコアボタンが非表示の場合は、情報・設定メニューから **ナビ設定** ➡ **表示** ➡ “エコ運転機能を表示” **する** に設定してください。

エコ運転度画面



エコスコア をタッチ

エコ運転度 をタッチ

エコスコア画面

【エコ運転度画面】

エコ運転度を確認できます。

エコ運転度は車の速度・加速度などから計算され、バーの伸び縮みで表示します。

エコな運転であるほど、メーターがHIGH側に伸びます。

メーターを参考にして運転することで、エコ運転の向上が期待できます。

“瞬間”……瞬間のエコ運転度を示します。

“平均”……リセットしてから次にリセットするまでの平均エコ運転度を示します。

【エコスコア画面】

走行シーン別に、エコ運転度を確認できます。

走行全体の評価は、100点満点のエコスコアで表現され、「発進」「巡航」「減速」シーン別評価は、バーの長さで表現されます。

※エコスコアはリセットしてから次にリセットをするまでの運転を評価します。

エコ運転のコツ

エコ運転ができると、エコスコアも良くなります。

発進…ふんわりアクセルでやさしい発進を心がけましょう。最初の5秒で時速20 kmが目安です。

巡航…加減速の少ない運転を心がけましょう。車間距離に余裕をもって、速度にムラのない走行をしましょう。

減速…停止位置が分かったら、早めにアクセルから足を離して、エンジンブレーキを利用して減速しましょう。

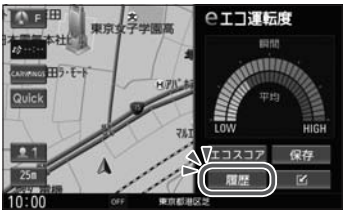
お知らせ

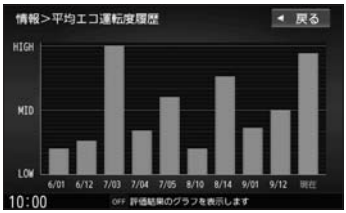
- エコ運転度画面またはエコスコア画面の ☑ をタッチすると簡易エコスコア表示画面になります。
- 簡易エコスコア表示画面では、地図画面にエコスコアの数値のみを表示します。
- エコ運転診断を参考にして運転する場合は、ナビゲーション画面を注視せず、安全に十分注意して運転してください。
- 急な坂道など走行環境によりエコ運転度またはエコスコアが低く計算される場合があります。
- エコ運転度またはエコスコアのリセットについては ☞F-8
- エコ運転診断の表示をやめる場合は、情報・設定メニューから **ナビ設定** ➡ **表示** ➡ “エコ運転機能を表示” **しない** に設定してください。

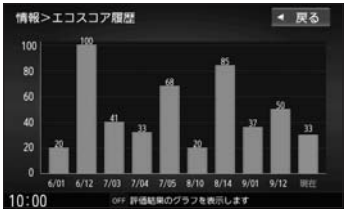
履歴を表示する

今までのエコ運転診断の履歴を見ることができます。

1 エコ運転度画面またはエコスコア画面の 履歴 をタッチする。







※現在のエコ運転診断の履歴は、オレンジで表示されます。

エコ運転診断データをリセットする／SDカードに保存する

エコ運転診断のデータをリセットできます。また、リセットと同時にSDカードへE1Grand Prixに参加するためのデータを保存するか選択できます。

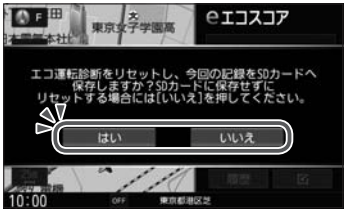
※SDカードで音楽再生中は保存できません。

【E1Grand Prixのご案内】(http://e1gp.jp)

E1Grand Prixとは、燃費やスコアを競いながら、お客さまの車をエコカーにしていくプロジェクトです。他のドライバーと競争しながら、楽しくエコ運転を続けることができます。登録は無料、Webからすぐにエントリーできます。

※E1 Grand Prixに関するお問い合わせは、E1 Grand Prix運営事務局
(http://e1gp.jp/e1gp/cgi/FaqEtc.cgi)へお願いします。

1 エコ運転度画面またはエコスコア画面で
保存 ➡ はい ／ いいえ をタッチする。



はい	SDカードへデータを保存し、本機内のデータをリセットします。
いいえ	SDカードへデータを保存せずに、本機内のデータをリセットします。

GPS情報を見る

1 情報・設定メニューから 情報 ➡ GPS情報 をタッチする。

GPS情報画面

現在地の緯度、経度

受信中のGPS衛星の数

現在の日付

現在の時刻

GPS衛星マーク
受信中のGPS衛星の
おおよその位置を示します。

※受信中のGPS衛星の数には、測位に使用できないものも含まれています。
測位に使用できるGPS衛星の数が3個以上ない場合は、緯度と経度は表示されません。

お知らせ

現在の時刻は、GPS衛星の電波を受信していても、1秒程度の誤差はあります。
電波を受信していないときは、誤差はより大きくなります。

渋滞予測地図を見る

指定した日時の渋滞予測データを地図上で確認できます。

1 地図を表示させる。

現在地周辺の渋滞予測地図を見たい	現在地 を押す
指定した場所の渋滞予測地図を見たい	カーソル(−┼−)を表示したい場所に合わせる

2 情報・設定メニューから 情報 ➡ 渋滞予測地図 をタッチする。

3 日付を選んでタッチする。

今月を指定しているときは、前月を指定できません。(前月 は暗くなります。)

4 時間を24時間制(15分単位)で入力し、 検索 をタッチする。

(例)午後5時30分は「1730」とタッチします。

お知らせ

- 日付指定画面で過去の日付を指定することはできません。
- 過去のVICS渋滞統計データをもとに、日付、時間、曜日などから渋滞を予測して表示するため、実際の渋滞状況とは異なる場合があります。
- 渋滞予測地図画面で地図をスクロールして渋滞状況を確認することができます。

システム情報／バージョン情報を見る

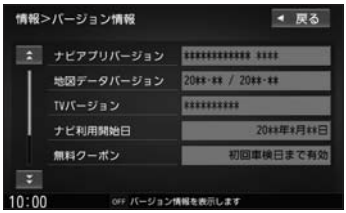
ナビIDや地図データのバージョンなどを見ることができます。

システム情報を見る

1 情報・設定メニューから 情報 ➡ システム情報 をタッチする。

バージョン情報を見る

1 情報・設定メニューから 情報 ➡ バージョン情報 をタッチする。



G
各種設定／登録をする

セキュリティを設定する……G-2
セキュリティコードを設定する……G-2
セキュリティコードを入力する……G-3
セキュリティインジケータの点滅／消灯を設定する……G-3
盗難多発地点を設定する……G-4
iPod／iPhone抜き忘れ案内の設定をする……G-5
メンテナンス情報を設定する……G-6
ユーザー切り替え／ユーザー名を変更する……G-7
ユーザーを切り替える……G-7
ユーザー名を変更する……G-7
ユーザー名表示を設定する……G-8
メニュー項目を英語／韓国語／中国語で表示する……G-8
音声案内の音量調整／詳細設定をする……G-9
接続確認をする……G-10
さまざまな情報を初期化する……G-11
オプションボタンを設定する……G-12
携帯電話を登録する……G-13
携帯電話を登録する……G-13
登録した携帯電話の接続設定をする……G-14
携帯電話接続確認案内の設定をする……G-14
登録した携帯電話の詳細情報を見る／登録を削除する……G-15
本機のBLUETOOTH情報を確認する……G-16
デバイス名／パスキーを変更する……G-16
携帯電話のデータ通信設定……G-17
携帯電話会社を選ぶ……G-17
カーウイングス用のAPNを設定／削除する……G-18
キー操作音の設定をする……G-19

セキュリティを設定する

お知らせ

音声案内で 消音 に設定している場合でも、盗難多発地点音声案内／iPod抜き忘れ案内の設定を する にした場合、音声でお知らせします。そのときの音声の音量は 消音 に設定する前の音量になります。

セキュリティコードを設定する

本機は盗難防止抑制の観点からセキュリティ設定機能を搭載しています。セキュリティコードを設定すると、本機がバッテリーから外され再度接続されたとき、セキュリティコードを入力しないと本機が起動しないようにできます。

- お客さまが設定されたセキュリティコードは保管用シールに控え、必ず保管してください。
- セキュリティコードの初期パスワードは、1234に設定されています。

※セキュリティコードを忘れた場合は三菱自動車販売会社へご相談ください。

1 情報・設定メニューから システム設定 ➡ セキュリティ をタッチする。

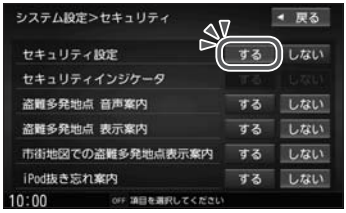
2 セキュリティ設定の項目をタッチする。

■ セキュリティコードを設定する

① “セキュリティ設定” する ➡ OK をタッチする。

※初めて、セキュリティコードを設定するときは、初期パスワードの入力が必要です。上記に記載している初期パスワードを入力してください。

セキュリティ設定画面



② 3桁～12桁のセキュリティコードを入力し、決定 をタッチする。

：セキュリティコードが設定され、セキュリティ設定画面に戻ります。

セキュリティコード入力画面

お知らせ

戻る をタッチするとセキュリティコードの設定が中止されセキュリティ設定画面が表示されます。

■ セキュリティコードを解除する

① “セキュリティ設定” しない ➡ OK をタッチする。

② 設定したセキュリティコードを入力し、 決定 をタッチする。

：セキュリティコードを消去し、セキュリティ設定画面に戻ります。

セキュリティコードを入力する

セキュリティコードが設定された状態で本機をバッテリー(＋B)からはずし、再度接続した場合は、本機を起動するときにセキュリティコードを入力する必要があります。

1 設定したセキュリティコードを入力し、 決定 をタッチする。

お知らせ

- 間違ったセキュリティコードを入力するとメッセージが表示され、何度も入力画面を繰り返します。正しいセキュリティコードを再入力してください。
- 入力した英数字を修正するときは 修正 をタッチして英数字を再入力してください。
- 正しいセキュリティコードを入力しない限り、ナビゲーションの操作はできません。

セキュリティインジケータの点滅／消灯を設定する

1 情報・設定メニューから システム設定 ➡ セキュリティ をタッチする。

2 “セキュリティインジケータ” する ／ しない をタッチする。

する	車のキースイッチが「OFF」時にインジケータが点滅
しない	インジケータが消灯

お知らせ

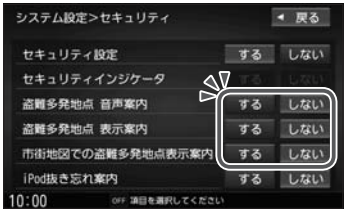
セキュリティコードの設定をすると、“セキュリティインジケータ” する ／ しない の設定が可能になります。

盗難多発地点を設定する

盗難多発地点を音声または表示で案内する設定や市街地図に表示する設定ができます。

1 情報・設定メニューから **システム設定** ➡ **セキュリティ** をタッチする。

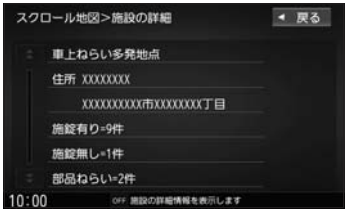
2 “盗難多発地点音声案内”／“盗難多発地点表示案内”／“市街地図での盗難多発地点表示案内” **する** ／ **しない** を選んでタッチする。



盗難多発地点音声案内	盗難多発地点の音声案内が流れる／流れない
盗難多発地点表示案内	地図上に盗難多発地点マーク( )を表示／非表示
市街地図での盗難多発地点表示案内	市街地図に盗難多発地点マーク( )を表示／非表示

お知らせ

- 盗難多発地点は青森県、岩手県、宮城県、福島県、群馬県、埼玉県、千葉県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、鹿児島県、沖縄県に対応しています。
- “盗難多発地点表示案内”／“市街地図での盗難多発地点表示案内” **する** を選んだ場合は、地図をスクロールさせて盗難多発地点マークにカーソル( )を合わせ、 **設定** ➡ **施設の詳細** をタッチすると、盗難多発地点の詳細情報を見ることができます。（3D表示のときは詳細情報を見ることができません。）



- 危険度をマークの色で赤色、橙色、黄色と３段階表示しており、盗難の危険が高い順に赤色→橙色→黄色で表示し、赤色が最も盗難が多発していることを表します。（地域により基準は異なります。）
- 自車位置が盗難多発地点付近にある場合、車のキースイッチを「ACC」⇔「OFF」に切り替えると、メッセージを音声でお知らせします。（ただし、自宅が盗難多発地点付近にある場合、音声でのお知らせはありません。）
- 音声案内で **消音** に設定している場合でも“盗難多発地点音声案内” **する** に設定した場合は、音声案内されます。

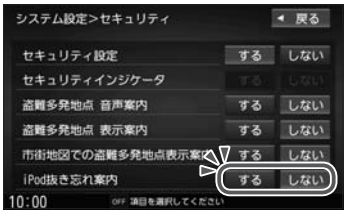
iPod／iPhone抜き忘れ案内の設定をする

iPod／iPhoneを接続したまま車のキースイッチを「OFF」にしたとき、音声でお知らせするように設定できます。

1 情報・設定メニューから **システム設定** ➡ **セキュリティ** をタッチする。

2 “iPod抜き忘れ案内” **する** ／ **しない** を選んでタッチする。

する	音声案内をする
しない	音声案内をしない



お知らせ

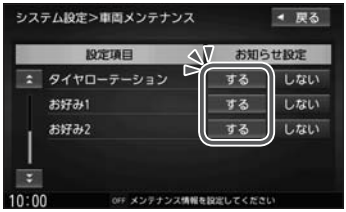
音声案内で **消音** に設定している場合でも、 **する** に設定した場合は、音声案内されます。

メンテナンス情報を設定する

GPSからの日付情報と車速信号を使用して車のエンジンオイルや消耗部品の交換時期などがきたことを音と画面でお知らせします。

1 情報・設定メニューから **システム設定** ➡ **その他設定** ➡ **車両メンテナンス** をタッチする。

2 設定したい項目の“お知らせ設定” **する** をタッチする。



3 設定項目の詳細を設定する。

お知らせ

年月日・距離の両方を設定してください。項目によっては年月日のみの場合や名称編集があります。

設定した内容を消去

4 **戻る** をタッチする。

：設定したい項目の“お知らせ設定” **する** が選ばれます。

お知らせ

- 通知開始設定の日になった／設定日当日になった／設定日をすぎた、または設定をした距離を走行すると、本機を起動したときにそれぞれの画面でお知らせします。
  ※ **今後表示しない** をタッチすると次回起動時からはお知らせしません。また、メンテナンス設定画面のお知らせ設定が **しない** に変更されます。
- メンテナンス内容および時期の設定はお買い上げの販売会社へご相談ください。
- お知らせするメンテナンス時期と実際にメンテナンスが必要な時期は車の使用状況によって異なる場合があります。
- メンテナンス情報で計測される走行距離と実際の走行距離が異なる場合があります。
- 新たにメンテナンス情報を設定したい場合は、必ず **設定消去** ➡ **はい** をタッチしてください。

エンジンオイル交換設定当日(例)

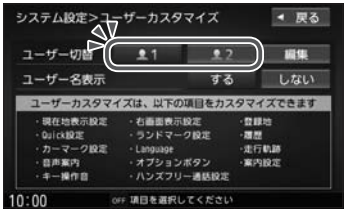
ユーザー切り替え／ユーザー名を変更する

本機は、2ユーザー分(ユーザー1／ユーザー2)の設定を保持し、切り替えることができます。
また、ユーザー名を変更することもできます。

ユーザーを切り替える

1 情報・設定メニューから **システム設定** ➡ **ユーザーカスタマイズ** をタッチする。

2 “ユーザー切替” **ユーザー1** ／ **ユーザー2** を選んでタッチする。



お知らせ

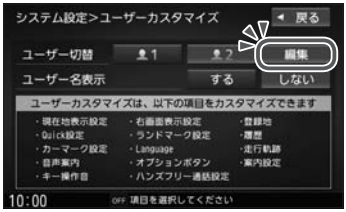
現在地表示画面のユーザー切替ボタンをタッチしても、ユーザーカスタマイズ設定画面を表示できます。

ユーザー名を変更する

1 情報・設定メニューから **システム設定** ➡ **ユーザーカスタマイズ** をタッチする。

※必要に応じてユーザーを切り替えてください。

2 **編集** をタッチする。



3 文字を入力し、 **決定** をタッチする。

：入力したユーザー名がユーザー切替ボタンに表示されます。

お知らせ

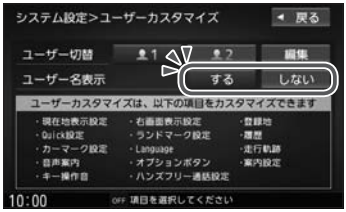
ユーザー名に設定できる文字数は、全角4文字、半角8文字です。

ユーザー名表示を設定する

1 情報・設定メニューから **システム設定** ➡ **ユーザーカスタマイズ** をタッチする。

※必要に応じてユーザーを切り替えてください。

2 “ユーザー名表示” **する** ／ **しない** を選んでタッチする。



する	現在地表示画面にユーザー切替ボタンを表示 ユーザー切替ボタン
しない	ユーザー切替ボタンを非表示

メニュー項目を英語／韓国語／中国語で表示する

一部の画面を英語／韓国語(ハングル)／中国語(繁体字)で表示したり、ルート案内の音声を英語／韓国語(ハングル)／中国語(繁体字)で案内することができます。

1 情報・設定メニューから **システム設定** ➡ **Language** をタッチする。

2 表示させたい言語を選んでタッチする。

：一部の画面が選んだ言語で表示され、ルート案内も選んだ言語で案内されます。

※日本語表示に戻したい場合は **Japanese** をタッチしてください。

音声案内の音量調整／詳細設定をする

音声案内の音量調整や合流案内／踏み切り案内などの詳細設定ができます。

1 情報・設定メニューから **システム設定** ➡ **音声案内** をタッチする。

2 音声案内の音量調整／詳細設定をする。

■ 音声案内の音量調整

① **－** ／ **＋** をタッチし、お好みの音量に調整する。

：調整時に“この音量でご案内します。”と音声が鳴ります。

タッチするたびに
音声案内をやめる⇔音声案内をする
（消音設定時、表示灯は点灯）

■ 音声案内の詳細設定

① **詳細設定** をタッチし、設定したい項目を設定する。

合流案内	高速道路の合流地点に近くなると音声でお知らせ **常時** ……ルートを設定していないときでも音声案内をする **案内中** …ルート案内中に音声案内をする **しない** …音声案内をしない
踏み切り案内	踏み切り近くになると音声でお知らせ **常時** ……ルートを設定していないときでも音声案内をする **案内中** …ルート案内中に音声案内をする **しない** …音声案内をしない
専用レーン案内	ルート案内中に、右折専用道路または左折専用道路がある場合、音声で知らせる／知らせない
高速走行時の音量切替	高速走行時に自動で音量を上げる／上げない
VICS案内	渋滞／規制情報がある場合に音声案内をする／しない ※VICS情報を受信できない場合などは、**する** を選んでいても、渋滞／規制情報を音声案内しない場合があります。
休憩メッセージ案内	ルート走行中に一定の時間がたつと休憩メッセージをうながす音声案内をする／しない
トンネル出口案内	トンネルの出口が近づくと音声案内をする／しない

接続確認をする

本機が車側に正しく接続されていない場合、本機の機能が正常に働きません。
接続確認画面で接続の確認ができます。

1 情報・設定メニューから システム設定 ➡ その他設定 ➡ 接続確認 をタッチする。

2 接続を確認する。

：ONのときは“ON”が赤色表示、OFFのときは“OFF”が青色表示になります。

パーキングブレーキ	正しく接続されていれば、車のパーキングブレーキをかけると“ON”が赤色表示
車速パルス	正しく接続されていれば、停車中は“OFF”が青色表示、走行させると“ON”が赤色表示 ※走行速度によっては、“ON”が赤色表示になるまで時間がかかったり、“ON”／“OFF”が交互に色表示されるときがありますが、この場合でも正しく接続されています。 ※車を動かす際、広い場所(駐車場など)で、安全確認をしてから行ってください。
バックセンサー	正しく接続されていれば、車のシフトレバーをリバースに入れると“ON”が赤色表示 ※リヤビューカメラを接続し、リヤビューカメラを選んでいるとき、リヤビューカメラ画面を表示します。

さまざまな情報を初期化する

SDカードにあるデータや本機に登録・設定された内容などの情報を初期化できます。

1 情報・設定メニューから システム設定 ➡ その他設定 ➡ 初期化 をタッチする。

2 初期化したい項目をタッチする。

SDカードの初期化	SDカードにあるデータを初期化します。 ※本機にSDカードを挿入していない場合は選べません。
センサー学習結果の初期化	車の走行状況を初期化します。
ルート学習結果の初期化	本機のルート学習機能を初期化します。
TVの初期化	デジタルテレビで設定した内容を初期化します。
出荷状態に戻す	個人情報に関する設定をお買い上げ時の状態に戻します。
登録・履歴の消去	登録地、目的地履歴、登録ルート、走行軌跡を初期化します。
CARWINGSの初期化	CARWINGSの設定をお買い上げ時の状態に戻したり、 CARWINGSに関する履歴を初期化します。
CARWINGS停止申請	カーウイングスの登録を停止するときに申請通知します。 H-20

⚠注意
- **初期化中は他の操作(AVソースを切り替えたり車のキースイッチを変更するなど)をしないでください。**
  他の操作をすると故障の原因となります。
- **初期化で はい を選ぶと、選んだ項目は初期化(消去)され、もとに戻せません。**
  ※すでにデータが書き込まれているSDカードを初期化すると、そのデータは消去されてしまいます。
  誤って大切なデータを消去することがないように、ご注意ください。
- SDカードに誤消去防止スイッチ(LOCK)が付いている場合、「LOCK」にしていると初期化(フォーマット)できません。「LOCK」を解除してください。

お知らせ
- 初期化が終了したら、車のキースイッチを「OFF」にしてください。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、お客さまが入力された個人情報(登録地の住所や電話番号など)、登録ルートなどの登録情報を必ず消去してください。
- 本機は、走行するたびに車の走行状況(距離・方位・傾斜(3D))を学習し、記録しています。(センサー学習)
  走行を重ねることで測位の精度が高くなります。測位の誤差が大きくなったり、タイヤ交換やチェーンの装着、他車への載せ替え、他人に譲渡または処分などの場合は、センサー学習結果の初期化を行ってください。
- 本機は普段使用する道を学習しており、ルート設定では学習した道を優先的に探索します。従って、他の効率の良い道が見つかっても、ルート設定に反映されないことがあります。このようなときはルート学習結果をいったん消去し、学習しなおすことをおすすめします。
- 出荷状態に戻す をタッチしたときはオーディオがOFFになります。

オプションボタンを設定する

本機の [☆] (オプション)によく使う機能を設定することができます。設定すると [☆] を押して、AVソース切替や消音などの操作ができます。

1 情報・設定メニューから **システム設定** ➡ **オプションボタン** をタッチする。

2 設定する機能を選んでタッチする。

消音	画面はそのままで、オーディオの音を消します。 再度 [☆] を押すと音が出ます。
AVソース切替	AVソースが切り替わります。
電話リダイヤル発信	本機のハンズフリー機能を使用して、最後にかけた電話番号にかけなおします。
オペレータ接続	現在地表示のときのみ、カーウイングス情報センターに接続し、つながるとオペレータが対応します。
渋滞情報取得	現在地表示のときのみ、カーウイングスを利用して現在地周辺の渋滞情報を取得します。
自宅	自宅までのルート探索をします。

携帯電話を登録する

携帯電話を登録する

携帯電話の登録は、本機と携帯電話の両方を操作して行います。
本書では、本機の操作方法のみ説明していますので、携帯電話の説明書もご覧になりながら登録を行ってください。

1 トップメニューから 電話 ➡ 設定 ➡ 機器登録 をタッチする。

※ 機器登録 は端末が追加登録可能な場合に選べます。

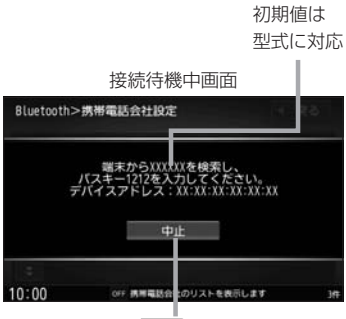
2 登録する携帯電話の会社名(種類)を選んでタッチする。

お知らせ

すでにBLUETOOTH接続済みの機器がある場合、その機器のBLUETOOTH接続を切断するかメッセージが表示されるので はい を選んで切断してください。

3 携帯電話側を操作して ハンズフリーとして登録を行う。

※登録する機器の仕様によっては、パスキーの入力が不要(セキュアシンプルペアリング)の場合があります。機器および本機に表示されている数字が同じであることを確認し、 はい をタッチすると登録が完了します。



※接続待機中に 中止 をタッチすると接続を中止し、携帯電話会社設定画面に戻ります。

お知らせ

- 携帯電話は4台まで登録可能です。
- 携帯電話の登録を行う際には、誤登録を防ぐために、周囲の他のBLUETOOTH機器の電源はお切りください。
- 携帯電話の登録は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ登録することができます。
- 携帯電話を各機能で利用するには、登録に加えて携帯電話の接続設定(☞ G-14)が必要です。
- 本機に登録済みの携帯電話を登録しなおす場合は、本機で登録を削除してから登録操作を行ってください。
  登録した携帯電話の削除方法 ☞ G-15

登録した携帯電話の接続設定をする

ハンズフリーを利用するには“電話１”または“電話２”に接続設定してください。
データ通信する(CARWINGSなどを利用のとき)には“電話１”に接続設定してください。
NaviConを利用するときには“NaviCon”に接続設定してください。
※“電話１”／“電話２”／“NaviCon”に接続設定できる携帯電話はそれぞれ１台までです。
利用する機能に合わせて接続設定を行ってください。

1 トップメニューから 電話 ➡ 設定 ➡ 登録機器一覧 をタッチする。

2 接続設定したい携帯電話の
電話１／電話２／NaviConの
／ ／ をタッチする。

：タッチするたびにBLUETOOTH接続する携帯電話の接続設定⇔接続解除が切り替わります。

携帯電話登録一覧画面

登録した携帯電話の一覧

お知らせ

- 携帯電話を接続設定した場合、その携帯電話の仕様によってはBLUETOOTH操作を行えない場合があります。その場合は、接続設定を解除してください。接続設定を解除すると、解除された携帯電話の接続は切断されます。
- 携帯電話を切り替えた際、接続されるまでに時間がかかる場合があります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

携帯電話接続確認案内の設定をする

“電話１”または“電話２”に接続設定されている端末と接続できなかった際、メッセージと音声でお知らせするか設定できます。
※“NaviCon”にのみ接続設定されている携帯電話については本設定を行ってもお知らせしません。

1 トップメニューから 電話 ➡ 設定 ➡ 登録機器一覧 をタッチする。

2 “接続確認案内” する ／ しない を選んでタッチする。

お知らせ

- する に設定した場合は、“電話１”／“電話２”の片方のみ接続設定している場合は起動から約30秒後、“電話１”／“電話２”の両方に接続設定している場合は起動から約60秒後に接続設定されている端末と接続できない場合に、メッセージと音声でお知らせします。
- 音声案内で消音を設定している場合でも する に設定した場合、音声でお知らせします。
- 接続確認案内のメッセージが表示される前にハンズフリーの画面を表示した場合、接続確認の案内は行われません。
※ハンズフリー以外のBLUETOOTH機能が動作中の場合、案内表示までの時間にハンズフリー接続が行われず、接続確認の案内が表示される場合があります。

登録した携帯電話の詳細情報を見る／登録を削除する

1 トップメニューから 電話 ➡ 設定 ➡ 登録機器一覧 をタッチする。

2 携帯電話を選んでタッチする。

：選んだ携帯電話の詳細情報画面が表示されます。

■ 削除する

① 削除 をタッチする。

お知らせ

- 携帯電話を削除すると、本体に転送したメモリ（アドレス帳）も削除されます。
- 電話２に接続設定された携帯電話を削除した場合は、リストの一番下の携帯電話を電話２として自動的に接続設定します。ただし、その携帯電話が電話１として設定されている場合は、リストの下から２番目の携帯電話を電話２に接続設定します。
- 電話１に設定された携帯電話を削除した場合は、電話１に他の携帯電話を自動的に設定しません。
- 本機に表示される名称（デバイス名）は登録時のものとなります。携帯電話側で名称（自局情報）を変更しても本機では一度登録した名称が表示されます。また、絵文字を使用している場合、本機では_（アンダーバー）表示されます。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

本機のBLUETOOTH情報を確認する

1 トップメニューから 電話 ➡ 設定 ➡ 本体情報 をタッチする。

本機のBLUETOOTH情報を表示

デバイス名／パスキーを変更する

1 トップメニューから 電話 ➡ 設定 ➡ 本体情報 をタッチする。

2 ■ デバイス名を変更する

① デバイス名変更 をタッチする。

② 英数字でデバイス名を入力し、決定 をタッチする。

■ パスキーを変更する

① パスキー変更 をタッチする。

② 数字でパスキーを入力し、決定 をタッチする。

お知らせ

安全上の配慮から車の完全に停止した場合のみ操作できます。

携帯電話のデータ通信設定

携帯電話登録時(☞ G-13)に設定した携帯電話会社で良い場合や自動で設定されたAPN(接続先名)で良い場合は、下記設定を行う必要はありません。

携帯電話会社を選ぶ

データ通信の設定は携帯電話を登録するとき携帯電話の会社を選ぶことで自動設定されます。

1 トップメニューから 電話 ➡ 設定 ➡ 登録機器一覧 ➡ ハンズフリー をタッチする。

2 設定したい携帯電話を選んでタッチし、 通信設定 をタッチする。

3 携帯電話会社選択 をタッチする。

4 携帯電話の会社名(種類)を選んでタッチする。

：設定が変更されます。

※携帯電話会社を選びなおすと、データ通信の各設定が既存設定値に変更されます。

カーウイングス用のAPNを設定／削除する

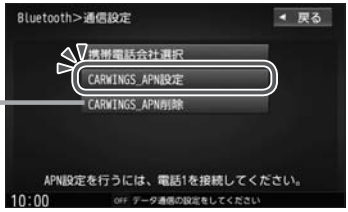
接続している携帯電話がNTTドコモ(FOMA)、ソフトバンク／ボーダフォン(3G)の場合は、カーウイングス用にAPNの設定が必要となります。APNの設定は通常携帯電話接続時に自動で設定されますが、自動設定に失敗した場合は下記の手順で設定を行ってください。

1 トップメニューから 電話 ➡ 設定 ➡ 登録機器一覧 をタッチする。

2 設定したい携帯電話を選んでタッチし、 通信設定 をタッチする。

3 CARWINGS-APN設定 をタッチする。

：正常に設定されると設定完了のメッセージが表示されます。



カーウイングスのAPNを削除します。

お知らせ

- “携帯電話のAPN設定に失敗しました”と表示された場合は、APN設定の削除を行い、再度設定操作を行ってください。
- “携帯電話のAPN領域に空きがありません”と表示された場合は、携帯電話に登録されているカーウイングス用以外のAPNを削除して空き容量を確保してください。
- CARWINGS-APN設定 と CARWINGS-APN削除 は、電話１に設定し、接続している携帯電話のみ選べます。
- 戻る をタッチするとひとつ前の画面に戻ります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

キー操作音の設定をする

ナビゲーション操作時、キー操作音(ピッ)を出す／出さないを選べます。

1 情報・設定メニューから システム設定 ➡ その他設定 ➡ キー操作音 をタッチする。

2 “キー操作音” する ／ しない をタッチする。

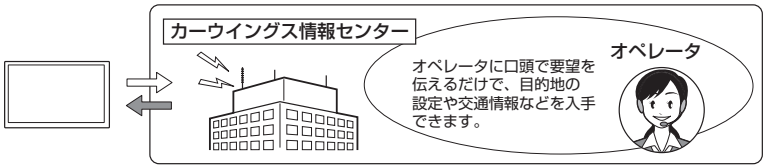
する	キー操作音を出す
しない	キー操作音を出さない

H
カーウイングスを利用する

カーウイングスについて……H-2
オペレータに接続する……H-4
　オペレータとの通話例……H-4
　接続する……H-4
渋滞情報を取得する……H-6
情報チャンネルを見る……H-7
ここです車メールを使う……H-8
お気に入りチャンネルを登録する……H-9
お気に入りチャンネルに登録したリストを
消去する……H-11
オペレータ履歴を見る……H-12
情報チャンネル履歴を見る……H-14
オペレータ接続の設定をする……H-16
情報チャンネルの設定をする……H-17
渋滞情報の自動取得設定をする……H-18
プローブ情報を設定する……H-19
カーウイングスの停止を申請する……H-20

カーウイングスについて

カーウイングスは携帯電話を利用してカーウイングス情報センターと通信し、さまざまな情報を提供するサービスです。
オペレータに要望を伝えて目的地や経由地の設定をするオペレータサービスや、統計交通情報と最新のVICS情報やプローブ交通情報を利用して最速ルート探索をすることができます。
※カーウイングスをご利用になるためには、別途サービスへのお申し込みが必要となります。
詳しくは、カーウイングスお客さまセンターまたは、三菱自動車販売会社にお問い合わせください。



カーウイングスをご利用になるときは、BLUETOOTH対応携帯電話を本機に登録し、“電話１”に接続設定しておく必要があります。（G-13、G-14）

お知らせ

- サービスを提供するうえで必要となる情報（例えば、車の位置や車載機ID、携帯電話番号など）はご利用時にセンターへ自動的に送られます。
- auの携帯電話をご使用の場合には、「回線交換モード（ASYNC／FAX）」と「パケットモード」がありますが「パケットモード」でご使用ください。
- 「市外局番メモリ」を設定している携帯電話を接続すると、カーウイングスが利用できないことがあります。この場合は設定を解除してご使用ください（解除方法はお使いの携帯電話の説明書をご覧ください）。
- カーウイングスの内容およびお申し込みに関する詳細は、カーウイングスお客さまセンターにお問い合わせください。

  カーウイングスお客さまセンター： **0120-981-523**
  受付時間　9：00～17：00（年末年始を除く）
  Webサイトアドレス
  http://drive.nissan-carwings.com/CW/REQUEST/mitsubishi.htm

- 情報センターとの通信や通話には、通信・通話料金がかかります。
- 携帯電話での通信は、パケット交換方式を利用しています。
- 携帯電話の機種によっては、ダウンロード中の画面が表示される時間よりも、実際の通信時間の方が長くなる場合があります。
- 情報のデータ量や電波状況によっては、ダウンロードに時間がかかる場合があります。
- 情報の取得が終了すると、回線は自動的に切断されます。
- 情報センターから提供される情報はあくまでも参考情報であり、実際の状況と異なる場合があります。
- サービス内容の中で一部対応できないこともありますのでご了承ください。
- サービス内容は、予告なく変更、中止になる場合もありますのでご了承ください。
- サービス内容は、順次拡大していく予定です。
- カーウイングスのサービスをご利用いただくにはご利用料金がかかる場合があります。
- データをダウンロード中に通信が途切れた場合には、再度データを取得していただくことになります。
  通信が中断された場合でも、通信・通話料金は加算されます。
- お申し込みをしないでカーウイングスに接続するとメッセージが表示されます。

お知らせ

- 本機をお譲りになる場合は、必ず退会手続きを行ってください。また、本機に保存されている情報(オペレータ履歴など)は削除してください。
  詳しくは、カーウイングスお客さまセンターにご相談ください。
- オペレータとの会話は、ハンズフリー通話によって行います。通話中に携帯電話の操作は、行わないでください。
- 車を離れるときは、携帯電話を車内に放置しないでください。故障・変形・盗難のおそれがあります。

- 携帯電話にはご利用できない機種があります。適合携帯電話機種については、三菱自動車販売会社またはカーウイングスお客さまセンターにお問い合わせいただくか、カーウイングスWebサイト(http://drive.nissan-carwings.com/CW/REQUEST/mitsubishi.htm)の「適合携帯電話一覧」で必ずご確認ください。
- カーウイングス情報センターへの登録を解除した後、または未登録のままカーウイングス動作を行った場合、携帯電話を介してパケット通信が発生する場合があります。
  この場合、以下の操作を行ってください。
  1. 情報·設定メニューから **ナビ設定** ➡ **CARWINGS** ➡ **渋滞情報取得設定** ➡ “行き先設定時に取得” **しない** にしてください。
  2. 情報·設定メニューから **ナビ設定** ➡ **CARWINGS** ➡ **渋滞情報取得設定** ➡ **案内時の取得時間間隔** ➡ **自動ダウンロードしない** をタッチしてください。
  3. 情報・設定メニューから **ナビ設定** ➡ **CARWINGS** ➡ **情報チャンネル設定** ➡ “自動取得” **しない** にしてください。

  ※ハンズフリー機能は、CARWINGS登録にかかわらず操作できます。
- 以下の場合には、カーウイングスが利用できません。
  - ·使用する携帯電話の圏外に車が移動したとき
  - ·トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいるとき
  - ·ダイヤルロックされているとき
  - ·電波環境がデータ通信に適していないとき
  - ·サービスへのお申し込み手続きをしていないとき
  - ·携帯電話がパケット通信中のとき
  - ·携帯電話が電話1に接続設定されていないとき
- カーウイングス情報センターとの通信はデータ通信モードを使用するため、通常の電話と比べてサービスエリアが狭くなったり、つながりにくくなることがあります。
- 通話中に“カシャッ”という音が聞こえたり、音声が途切れることがありますが、これはある携帯電話ゾーンで電波が弱くなったときに隣の携帯電話ゾーンへ切り替わるために発生する音で、異常ではありません。
- 回線によっては音が小さい場合があります。その際には、音量を上げてご使用ください。
- デジタル回線を使用しているため、通話中に音が多少変わって聞こえたり、周囲の音が人のざわめきのように聞こえたりする場合があります。
- スピード違反取り締まり用レーダーの逆探知機(レーダー探知機)を搭載していると、スピーカーから雑音が出ることがあります。
- 各サービスは携帯電話のネットワークを利用していますので、携帯電話の通信エリア外ではご利用になれません。
- 電波状態などによっては、情報センターに接続できない場合や、途中で通信が途切れる場合があります。電波状態が良好になってから再度通信を行ってください。
- 各サービスはデータ通信を利用するため、電波受信状態の良好を示すアンテナマークが表示されていても情報センターに接続できないことがありますが故障ではありません。少したってから接続しなおしてください。
- 通話および通信中に本機から携帯電話が離れる(無線通信が不可能な状態になる)と通信は切断されます。

オペレータに接続する

カーウイングス情報センターのオペレータに要望を伝えて目的地や経由地の設定をしたり、交通情報などを取得したりすることができます。

オペレータとの通話例

（お客さま）

○○駅に行きたいのですが。

お願いします。

はい、カーウイングス○○です。

かしこまりました。
○○駅を目的地に設定いたします。

ご利用ありがとうございました。
情報をダウンロードしてください。

（オペレータ）

このようにお使いいただくことができます。

目的地設定…… 目的地を伝えるだけでオペレータが目的地や経由地を設定します。

施設情報検索…… 近くの飲食店や宿泊施設など、お客さまの探したい施設情報を最大で６件まで取得し、リストから選ぶことができます。

電話接続…… 電話番号をお調べし、お客さまの携帯電話から直接接続できるように設定することもできます。

緊急時の対応…… 急病、事故など、緊急の場合にロードサービスの取次ぎや、最寄りの病院の案内などを行います。

接続する

1 地図画面またはトップメニュー画面で
CARWINGS をタッチする。

2 オペレータ接続 をタッチする。

：カーウイングス情報センターに接続されます。
情報センターにつながるとオペレータが対応します。

※携帯電話が未接続、または“電話２”のみに接続設定した状態で オペレータ接続 をタッチするとメッセージが表示されます。携帯電話を“電話１”でBLUETOOTH接続してください。

3 オペレータに要望を伝える。

4 会話が終わったら ダウンロード をタッチする。

：情報のダウンロードが開始されます。
ダウンロードが終わると自動的に電話回線を切断し、情報が表示されます。

※お使いの携帯電話によっては、 ダウンロード を表示しない場合があります。
その場合は、会話中に情報のダウンロードが開始されます。

※オペレータへの依頼内容によっては目的地が設定されたり、電話発信したり、施設の情報が表示されます。

通話中に表示

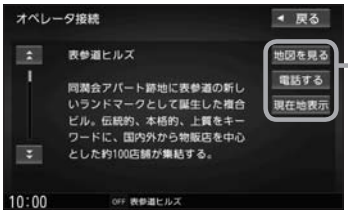
通信中に点滅表示

－ ／ ＋ タッチで受話音量が増減

お知らせ

- オペレータリスト画面が表示された場合、リストから表示したい情報を選んでタッチすると詳細情報を見ることができます。

※オペレータリストは最大6件まで表示されます。



地図を表示したり、電話をかけたり、現在地表示することができます。

- オペレータとの通話中に 終了 をタッチすると回線を切断します。
- 情報センターとの接続中に、 終了 をタッチすると電話回線を切断し通信を終了します。
- 回線切断には時間がかかる場合があります。
- オペレータとの会話中に ダウンロード をタッチすると、情報はダウンロードされますが、エラーメッセージが表示されます。オペレータの指示があってから ダウンロード をタッチしてください。
- ダウンロード途中で回線異常などにより切断された場合はメッセージが表示される場合があります。その場合、 はい をタッチするとダウンロードをしなおします。

渋滞情報を取得する

カーウイングスを利用して最新の交通情報を取得することができます。

1 ■ 現在地周辺の渋滞情報を取得する場合

現在地表示画面で、 CARWINGS をタッチする。

：CARWINGSメニュー画面が表示されます。

■ スクロール先周辺の渋滞情報を取得する場合

地図上のカーソル(−┼−)を渋滞情報を取得したい場所に合わせ、
設定 をタッチする。

：吹き出しメニューが表示されます。

2 **渋滞情報取得 をタッチする。**

：情報をダウンロードして地図上にVICS情報およびプローブ交通情報が表示されます。

※ 点滅中は通信中のためナビゲーションの操作はできません。(音量調整、オーディオのON／OFFなどは可能)

渋滞情報取得中に点滅表示されます。

お知らせ

- CARWINGSメニュー画面から渋滞情報の取得を行った場合はスクロール地点の渋滞情報ではなく、現在地周辺の渋滞情報を取得します。
- プローブ交通情報は、プローブ情報設定の“プローブ情報送信” する に設定している場合のみ、取得することができます。 しない に設定している場合は、カーウイングス情報センターから配信されません。
- カーウイングス情報センターから取得できる最新の交通情報は、VICS情報、プローブ交通情報です。
- カーウイングス情報センターから送信されるVICS情報はJARTIC、およびVICSセンターより提供されます。
- ルートを設定している場合は、取得した最新の交通情報を考慮してルートの再探索を行います。
- 緊急情報または注意警戒情報を受信した場合、現在地の地図画面に割込画面を表示します。
- 緊急情報または注意警戒情報を受信した場合、情報・設定メニューから 情報 ➡ 渋滞情報 ➡ “FM VICS” 緊急情報 で内容を確認できます。また、FM多重から新たに緊急情報が提供された場合、カーウイングスの緊急情報は消去されます。
- スクロール先周辺の渋滞情報をダウンロード中は現在地を表示します。ダウンロードが終わるとスクロール先周辺のVICS情報およびプローブ交通情報を表示します。

情報チャンネルを見る

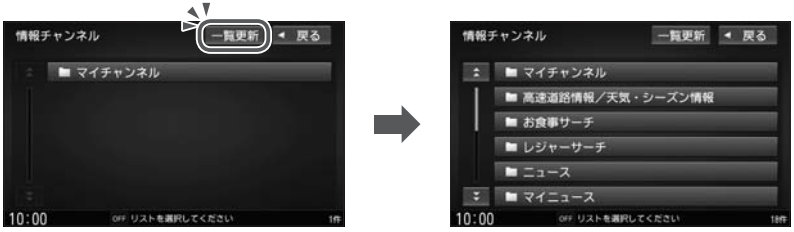
交通情報や天気予報、グルメなど見たい情報を選んでダウンロードし、本機で確認できます。

1 地図画面またはトップメニューから CARWINGS ➡ 情報チャンネル をタッチする。

2 チャンネルフォルダ画面の中から見たいジャンルのフォルダを選んでタッチする。

お知らせ

- マイチャンネル を選ぶ前にカーウイングスWebサイトでマイチャンネルにチャンネルリストを登録しておく必要があります。
  ※本機でマイチャンネルの登録を行うことはできません。
- 一覧更新 をタッチすると、カーウイングスセンターへ接続して情報ダウンロードをして、チャンネルフォルダを更新することができます。



※初めてお使いになるときは、チャンネルフォルダを更新してから、見たいジャンルのフォルダを選んでタッチしてください。

3 チャンネル一覧画面の中からダウンロードしたい情報を選んでタッチする。

：カーウイングス情報センターへ接続して情報を本機にダウンロードし、チャンネル詳細情報画面が表示されます。

ダウンロード進行度の目安を表示

接続中

※ 点滅中は通信中のためナビゲーションの操作はできません。（音量調整、オーディオのON／OFFなどは可能）

お知らせ

- 1回にダウンロードできる（本機に表示できる）データは6件までです。最大30件までの情報がダウンロードできます。
- カーウイングス情報センターへ接続中またはダウンロード中に 終了 をタッチした場合、接続は中断され現在地の地図画面に戻ります。

ここです車メールを使う

待ち合わせ場所に遅れそうなときなどに、メールで用件を伝えることができます。
※“電話１”に接続設定した携帯電話のアドレス帳をあらかじめ転送しておく必要があります。

1 地図画面またはトップメニューから CARWINGS ➡ ここです車メール をタッチする。

2 アドレス帳から ／ 送信履歴から ➡送信先をタッチする。

※メールアドレスが登録されていない場合は送信できません。
戻る をタッチして送信先を選びなおしてください。

タッチすると名前を効率よく表示できます。

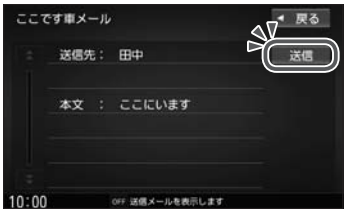
3 送信したいメールアドレスを選んで 決定 をタッチする。

※メールアドレスは最大３件の中から選ぶことができます。

4 送信したいメッセージを選んで 送信 をタッチする。

：カーウイングス情報センターへ接続され、メール送信されます。
送信が成功すると、メッセージを表示し、CARWINGSメニュー画面に戻ります。

※送信が失敗したときは、再接続するかどうかのメッセージが表示されます。
はい をタッチすると、再接続し、 いいえ をタッチすると、現在地表示画面に戻ります。



お知らせ

送信履歴は最大10件まで表示されます。送信履歴から送信した場合は、新規追加されません。

お気に入りチャンネルを登録する

情報チャンネルでダウンロードした情報をお気に入りチャンネルに登録し、お客さまご自身のお気に入りチャンネルを作成できます。

1 地図画面またはトップメニューから CARWINGS ➡ お気に入り をタッチする。

2 編集 をタッチする。

お知らせ

情報チャンネルの更新を行っていない場合は ☞ H-7

3 登録させたいチャンネル番号を選んでタッチする。

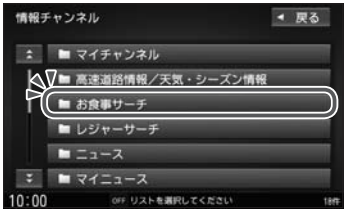
(例)チャンネル2に“お食事サーチ”フォルダ内の“肉料理が食べたい”を登録する。

チャンネルが登録されている場合、チャンネルを消去できます。

お知らせ

チャンネル1にはすでにマイチャンネルが登録されているため選べません。

4 登録したい情報があるチャンネルフォルダをタッチする。



5 チャンネル一覧画面の中から登録したいチャンネルを選んでタッチし、更新 をタッチする。

：カーウイングス情報センターへ接続してお気に入りチャンネルを更新後、お気に入りチャンネル画面が表示されます。

※ 点滅中は通信中のためナビゲーションの操作はできません。（音量調整、オーディオのON／OFFなどは可能）

お知らせ

- 戻る をタッチすると、お気に入りチャンネルの変更を破棄するかどうかのメッセージが表示されるので、 はい ／ いいえ を選んでタッチしてください。
- カーウイングス情報センターへ接続中に 終了 をタッチした場合、接続は中断され現在地の地図画面に戻ります。

お気に入りチャンネルに登録したリストを消去する

1 地図画面またはトップメニューから CARWINGS ➡ お気に入り をタッチする。

2 編集 ➡消去したいリストの 🗑 をタッチする。

3 更新 をタッチする。

：カーウイングス情報センターへ接続してお気に入りチャンネルを更新後、お気に入りチャンネル画面が表示されます。

※ 点滅中は通信中のためナビゲーションの操作はできません。（音量調整、オーディオのON／OFFなどは可能）

お知らせ

- 戻る をタッチすると、確認メッセージが表示されるので、 はい ／ いいえ を選んでタッチしてください。
- カーウイングス情報センターへ接続中に 終了 をタッチした場合、接続は中断され現在地の地図画面に戻ります。

オペレータ履歴を見る

カーウイングスを利用して得た情報の履歴を表示することができます。
情報を表示したり、電話をかけたりできます。

1 地図画面またはトップメニューから CARWINGS ➡ CARWINGS履歴 ➡ オペレータ履歴 をタッチする。

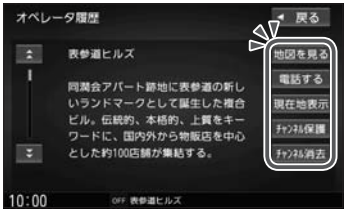
：今までの利用履歴が最大15件まで表示されます。

2 リストの中から見たい履歴を選んでタッチする。

お知らせ

- 履歴は最大15件まで保存されます。新しい情報が受信されると古い情報から順に消去されます。
- 残しておきたい情報を消去されないように保護することができます。

3 利用したい項目をタッチする。



地図を見る	情報先の地図を表示できます。 **お知らせ** ● 地図画面で、目的地の設定をしたり地点を登録することができます。 ● 地図データがない場合、 地図を見る は選べません。
電話する	表示している情報先に電話をかけることができます。 はい ➡発信端末選択画面が表示されるので、発信したい端末の 発信 をタッチ **お知らせ** 情報先に電話番号情報がない場合、 電話する は選べません。
現在地表示	現在地の地図を表示できます。 確認が終わったら 詳細を見る をタッチ

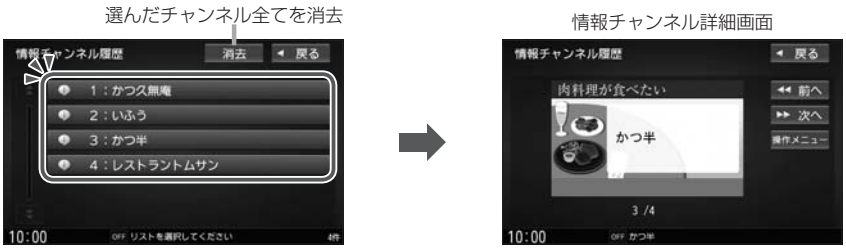
チャンネル保護	表示している情報を新しい情報を取得しても自動的に削除されないように保護できます。（3件まで） **はい をタッチ** ：オペレータ履歴画面で選んだ履歴に保護マーク（ ）が付きます。 ※保護を解除したい場合は 保護解除 をタッチしてください。
チャンネル消去	表示している情報を削除できます。 **はい をタッチ** ：情報を削除し、オペレータ履歴画面を表示します。

情報チャンネル履歴を見る

1 地図画面またはトップメニューから CARWINGS ➡ CARWINGS履歴 ➡ 情報チャンネル履歴 をタッチする。

2 見たいチャンネルを選んでタッチする。

3 見たい情報を選んでタッチする。



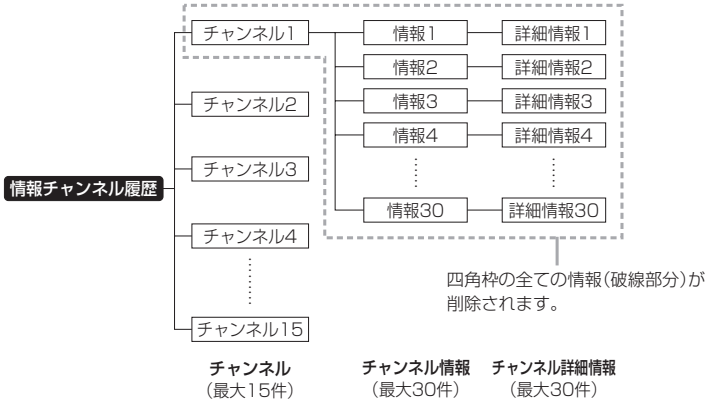
チャンネル履歴を消去する	手順 2 で 全消去 、または手順 3 で 消去 をタッチ
チャンネル履歴を保護する	情報チャンネル詳細画面で 操作メニュー ➡ チャンネル保護 をタッチ すでに保護されているチャンネルの場合は 保護解除 と表示
チャンネル履歴を保護解除する	情報チャンネル詳細画面で 操作メニュー ➡ 保護解除 をタッチ

お知らせ

消去について

消去 をタッチするとH-14手順 3 で選んだチャンネル(情報)全てを消去します。
※選んだチャンネル内の情報が全て消去されるため、消去したくない情報がある場合は、消去しないでください。

例 チャンネル１の履歴を選び、 消去 をタッチした場合



チャンネル保護について

- チャンネル保護 をタッチすると選んだチャンネル(情報)全てを保護します。
  (チャンネル消去と同様に、例えばチャンネル１の情報を保護すると、チャンネル１の全ての情報が保護されます。)
- 保護できる最大件数は３件までです。
- チャンネル保護は、新しいチャンネル(情報)をダウンロードした際に古いチャンネル(情報)を自動的に消去しないための設定となります。そのためH-14手順 3 で履歴を消去した場合、選んだチャンネルは消去されます。
- 保護されているチャンネルには、手順 2 の画面で保護マーク( )が表示されます。
- 情報チャンネルは最大１５件までの履歴を見ることができますが、新しいチャンネル(情報)をダウンロードすると古いチャンネル(情報)から自動的に消去され、新しいチャンネル(情報)が保存されます。大切な情報を保護することで最大件数(15件)に達した場合でも保護したチャンネル(情報)は消去されません。

情報チャンネル履歴一覧画面

保護したチャンネル

オペレータ接続の設定をする

オペレータ接続時にデータ通信が携帯電話で行われるとき、音声通信とデータ通信の同時通信を利用するか設定できます。

※登録した携帯電話会社によっては、 音声／データ同時機能 が設定できない場合があります。
（ボタンが暗くなります。）

1 情報・設定メニューから ナビ設定 ➡ CARWINGS ➡ オペレータ接続設定 をタッチする。

2 音声／データ同時機能 をタッチする。

：音声とデータ通信の同時機能の設定画面が表示されます。

3 設定したい項目を選んでタッチする。

自動検出(推奨)	お使いの携帯電話に合わせて、同時機能を利用する／利用しないの切り替えを行います。
同時機能を利用する	常に同時機能を利用します。 ※お使いの携帯電話が同時機能に非対応の場合は選ばないでください。
同時機能を利用しない	同時機能を利用しません。

情報チャンネルの設定をする

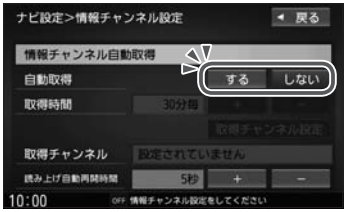
1 情報・設定メニューから **ナビ設定** ➡ **CARWINGS** ➡ **情報チャンネル設定** をタッチする。

2 設定したい項目を選んでタッチする。

■ 自動取得の設定を変える

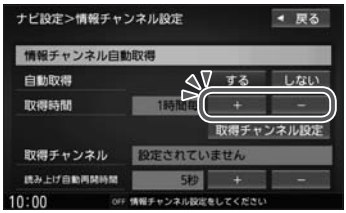
① “自動取得” **する** ／ **しない** を選んでタッチする。

する	情報チャンネルの自動取得をする ※下記手順②へ進んでください。
しない	情報チャンネルの自動取得をしない



② **＋** ／ **－** をタッチして自動取得する時間間隔を選ぶ。

＋	タッチするたびに30分毎→1時間毎→2時間毎→起動時に変わります。
－	タッチするたびに起動時→2時間毎→1時間毎→30分毎に変わります。

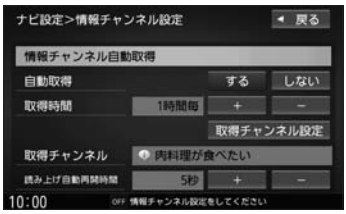


③ 取得チャンネルの設定(どのチャンネルを自動取得するか設定)をする。

1. **取得チャンネル設定** をタッチする。

2. 取得したいチャンネルフォルダを選んでタッチし、チャンネル一覧画面から取得したい情報をタッチする。

：情報チャンネル設定画面に選んだ情報が表示されます。



お知らせ

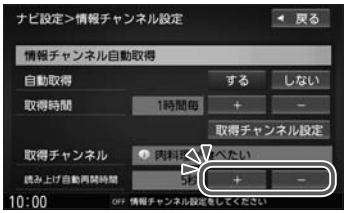
情報チャンネル設定を行う前に、情報チャンネル一覧の更新を行ってください。
(地図画面から **CARWINGS** ➡ **情報チャンネル** ➡ **一覧更新** をタッチ)

■ 読み上げ自動再開時間を変える

① ＋ ／ － をタッチして
読み上げ自動再開時間を選ぶ。

＋	タッチするたびに１秒ずつ増え、最大30秒まで設定
－	タッチするたびに１秒ずつ減り、最後は「しない」に設定

情報チャンネル設定画面



渋滞情報の自動取得設定をする

行き先を設定するとき／ルート案内しているときにカーウイングス渋滞情報を自動で取得するか設定できます。

1 情報・設定メニューから ナビ設定 ➡ CARWINGS ➡ 渋滞情報取得設定 をタッチする。

2 項目を選んで設定する。

■ 行き先設定時の自動取得をする

① “行き先設定時に取得” する ／ しない を選んでタッチする。

する	行き先設定時に取得する
しない	取得しない

■ ルート案内中の自動取得をする

① 案内時の取得時間間隔 をタッチする。

② 自動取得する時間間隔を選んでタッチする。

自動ダウンロードしない	自動的に渋滞情報の取得を行いません。
5分間隔 10分間隔 30分間隔 60分間隔	設定した時間ごとに自動的にカーウイングス情報センターへ接続し、渋滞情報の取得を行います。

プローブ情報を設定する

車両の走行データ(プローブ情報)を蓄積し、その蓄積した走行データをカーウイングス情報センターへ送信する設定を行うことができます。
送信された車両の走行データ(プローブ情報)を利用して、VICS情報では得られないエリアの交通情報を提供することができます。

1 情報・設定メニューから ナビ設定 ➡ CARWINGS ➡ プローブ情報設定 をタッチする。

2 “プローブ情報送信” する ／ しない を選んでタッチする。

する	プローブ情報を送信する
しない	プローブ情報を送信しない

お知らせ

プローブ情報とは

カーウイングス会員の車両の走行データのことをいいます。

プローブ交通情報とは

- 送信されたカーウイングス会員からの走行データを修正・加工して提供される交通情報のことをいいます。
- “プローブ情報送信” する に設定すると、渋滞情報取得時や最速ルート探索時に、プローブ交通情報を取得できます。
- 送信された走行データは、プローブ交通情報として地図上に表示します。
- プローブ交通情報は全ての地域および全ての道路で表示されるものではありません。
- “プローブ情報送信” する に設定しても、“行き先設定時に取得” しない 、案内時の取得時間間隔を 自動ダウンロードしない に設定している場合、プローブ情報は自動で送信されません。H-18
- カーウイングス情報センターに送信されたプローブ情報は、統計処理されることで、利用者個人を特定できなくしています。また、カーウイングス情報センターでは一定期間後に自動的にプローブ情報を削除し、プライバシーを保護しています。

カーウイングスの停止を申請する

カーウイングスの登録を停止するときは、停止申請をしてください。

1 情報・設定メニューから システム設定 ➡ その他設定 ➡ 初期化 ➡ CARWINGS停止申請 をタッチする。

2 以降は、画面の指示に従って操作を行う。

お知らせ

CARWINGS停止申請について

カーウイングスの登録を停止する申請通知ボタンです。
CARWINGS停止申請 をタッチするだけでは停止手続きは完了しません。
オプションの有料サービスなど、料金がかかるサービスの停止には、所定の解約手続きが必要です。

I
カメラを使う

リヤビューカメラの映像を表示する……I-2
映像を表示する／非表示にする……I-2
目安線を表示する……I-2
目安線の見かた……I-2
目安線の調整をする……I-3
バックドア開閉目安ポイントの調整をする……I-4

リヤビューカメラの映像を表示する

本機にリヤビューカメラを接続している場合、車のシフトレバーをリバースに入れると、自動的に画面がリヤビューカメラの映像に切り替わります。

映像を表示する／非表示にする

映像を表示する	**車のシフトレバーをリバースに入れる** ：表示している間、後方確認のメッセージが表示されます。
映像を非表示にする	**車のシフトレバーをリバース以外に入れる** ：もとの画面に戻ります。

目安線を表示する

※標準装備のリヤビューカメラの場合、目安線の表示⇔非表示を本機で切り替えることはできません。

1 パーキングブレーキをかけて車のシフトレバーをリバースに入れる。

：リヤビューカメラ映像が表示されます。

2 画面をタッチして
目安線を表示 ➡ **OK** をタッチする。

※目安線の表示をやめるには **目安線を非表示** をタッチします。

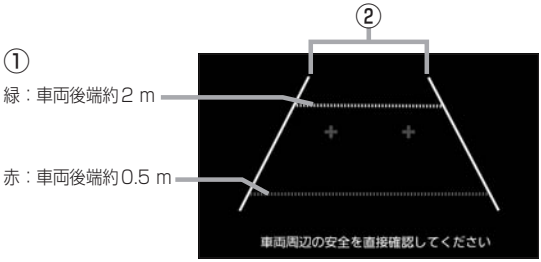
お知らせ

夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。

目安線の見かた

※ディーラーオプションのリヤビューカメラの目安線を説明しています。

画面上に車両後方の進路となる車幅目安線が表示されます。



①距離目安線
車両後方の距離の目安を表示

②車幅目安線
後退したときの車幅の目安を表示

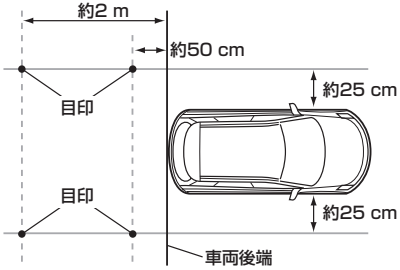
お知らせ

- リヤビューカメラ映像に表示される車幅・距離目安線は、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります。
- 直接目で後方を確認しながらバックしてください。リヤビューカメラの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。

目安線の調整をする

※ディーラーオプションのリヤビューカメラの目安線調整を説明しています。

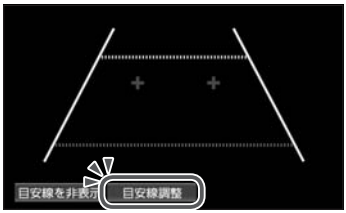
1 車両の幅＋両側約25 cm、車両後端から後側へ＋約50 cmと＋約2 mの位置にガムテープなどで目印を付ける。



2 パーキングブレーキをかけて車のシフトレバーをリバースに入れ、リヤビューカメラ映像画面を表示し、画面をタッチして 目安線を表示 ➡ OK をタッチする。

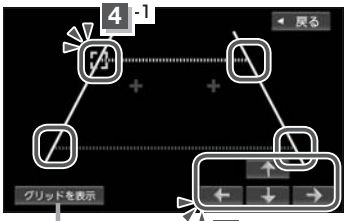
3 目安線調整 をタッチする。

※車種によってはリヤビューカメラの取付位置により、目安線が車両にかかる場合があります。



4 調整したい目安線の端点(右図 4-1 、4箇所のうちの1点)をタッチして、↑／↓／←／→で、手順 1 で付けた目印に重なるように調整していく。

※[ ]マークが表示されている部分の調整ができます。



グリッド線を表示

5 戻る をタッチする。

：リヤビューカメラ映像画面に戻ります。

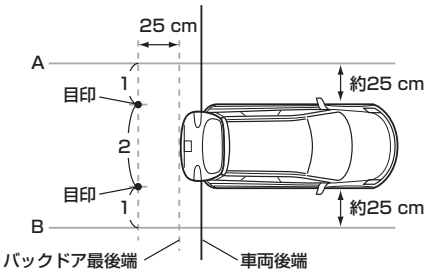
お知らせ

- 目安線を表示 と 目安線調整 は、数秒間表示されます。消えた場合は、再度画面をタッチしてください。パーキングブレーキをかけて車のシフトレバーをリバースに入れているときのみ 目安線を表示 を点灯／消灯と目安線の調整ができます。
- 目安線の調整をしている途中に車のキースイッチを「OFF」にしても、調整の設定は保持されます。

バックドア開閉目安ポイントの調整をする

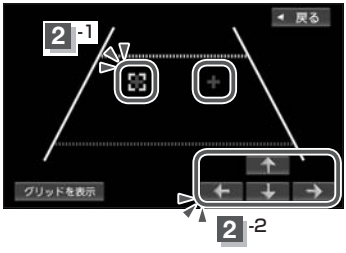
※ディーラーオプションのリヤビューカメラの目安ポイント調整を説明しています。

1 バックドア最後端から後側へ＋25 cmの位置およびA、B間を図示のように１：２：１：の配分点２箇所にガムテープなどで目印を付ける。



2 I-3手順 2 、 3 に従って操作し、調整したい目安ポイント(右図 2 -1 、２箇所のうちの１点)をタッチして、↑／↓／←／→で、手順 1 で付けた目印に重なるように調整していく。

※ マークが表示されている部分の調整ができます。



3 戻る をタッチする。

：リヤビューカメラ映像画面に戻ります。

お知らせ

リヤビューカメラ画面上の✚はバックドア可動範囲の目安ポイントです。これ以上車両をバックさせるとバックドアが障害物とぶつかる危険性があります。

J
地図を更新する

地図更新について …… J-2
更新される内容 …… J-2
全国地図更新を利用する …… J-2
主要地図更新を利用する …… J-3
ご利用の前に …… J-3
主要地図更新の流れについて …… J-4
困ったときは …… J-4

地図更新について

地図更新は、下記の2つの方法で更新できます。

1. 全国地図更新

三菱自動車販売会社(ディーラー)で、地図の全データを更新できます。

※全国地図更新無料クーポン券が使用できます。

※更新用データは、毎年7月頃に三菱自動車販売会社(ディーラー)で取り扱います。

2. 主要地図更新

パソコンで地図更新アプリを使用し、インターネットから地図データをダウンロードして、主要道路、施設情報の更新ができます。

※市街地図など一部の地図データは更新されません。

※更新データは、2ヶ月に1度主要地図更新専用サイトに掲載されます。
なお、下表のとおり、データ配信時期(ホリデイ更新：4、8、12月末／スポット更新：2、6、10月末)により更新内容が異なります。

更新される内容

更新内容＼更新方法	全国地図更新	主要地図更新	
		ホリデイ更新	スポット更新
道路地図(縮尺スケール25 m ～250 km)※細街路含む。	○	○	○
案内画像(リアル3D交差点・JCTビュー・方面看板など)	○	○	○
音声案内	○	○	○
地点検索データ(施設情報・電話番号情報など)	○	○	×
市街地図(縮尺スケール(🔍5 m／🔍12 m／🔍25 m)	○	×	×
発売時期・主要地図更新データ配信時期	毎年7月頃	4、8、12月末	2、6、10月末

○：更新されます。　×：更新されません。

全国地図更新を利用する

- **全国地図更新は、三菱自動車販売会社(ディーラー)にて取り扱う更新となります。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。また、1回限り有効な「全国地図更新無料クーポン券」が本書の巻頭に付いていますので、よくお読みのうえご利用ください。**

※無料クーポン券は紛失後の再発行は行いません。大切に保管してください。

※無料クーポン券は、車両初年度登録年月日またはディーラーオプションナビ購入日より3年以内の三菱自動車販売会社での有料点検入庫時(12ヶ月／24ヶ月法定点検、3年目車検)に限り、1回有効です。それ以外の更新は有料となりますのでご了承ください。

- **更新時に本機に登録された情報・内容が消去される場合がありますので、あらかじめご了承ください。**

お知らせ

2015年8月1日から2018年12月末までの間、年1回地図更新についてのお知らせを、音声と画面にて案内します。

※取扱説明書の巻頭に付いている「全国地図更新無料クーポン券」を使って無料地図更新をすると、以後案内しなくなります。

主要地図更新を利用する

車両初年度登録年月日またはディーラーオプションナビ購入日より３年間「無料」でご利用できます。
※４年目以降の更新は有料となりますのでご了承ください。（詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。）

ご利用の前に

- **インターネットに接続できる環境とSDHC対応カードスロット搭載のパソコンが必要です。**
  ※パソコンがSDHC対応カードスロットを搭載していない場合は、SDHCカード対応SDカードリーダーが必要です。
- **パソコンの推奨環境は以下のとおりとなります。**
  ※下表は2014年3月現在のものです。パソコン推奨環境の最新情報については主要地図更新専用サイト（http://store.zenrin.co.jp/ext/carnavi_update/index4.html）を確認ください。

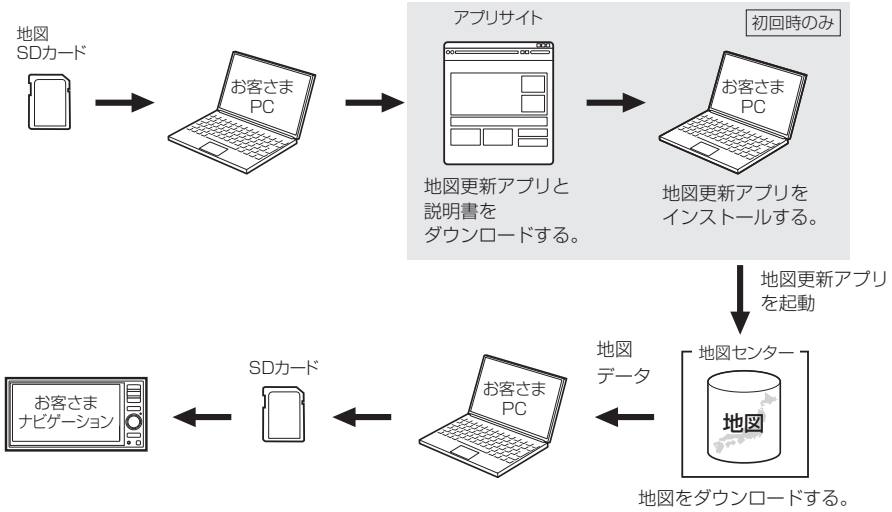
OS*1	Windows® XP（SP3以降）	Windows Vista®	Windows® 7	Windows® 8/8.1
CPU	300 MHz以上のプロセッサ	1 GHz以上のプロセッサ	マルチコア・プロセッサ	
メモリ	128 MB以上	1 GB以上	2 GB以上	
ハードディスク*2	6 GB以上の空き容量	10 GB以上の空き容量	45 GB以上の空き容量	
ディスプレイ	16ビット（65536色）以上で表示できるディスプレイ			
インターネット	1.5 Mbps以上のブロードバンド通信環境			
ブラウザ	Internet Explorer® 6.0以降			Internet Explorer® 10.0以降

＊1…日本語版のみの対応となります。
＊2…各OSにおける地図更新アプリの使用最大容量を考慮した推奨空き容量です。

- **インターネット使用料金などの費用はお客さまのご負担となります。**

主要地図更新の流れについて

主要地図更新についての詳しい操作方法は、主要地図更新専用サイト(http://store.zenrin.co.jp/ext/carnavi_update/appli4.html)から説明書をダウンロードしてご覧ください。
※専用サイトは、携帯電話でのご利用はできません。



本機のソフトウェアの更新について

地図データ更新時に、本機のソフトウェアも併せて更新される場合があります。
その場合、本機の画面に従って操作をしてください。

困ったときは

主要地図更新「よくあるご質問」が主要地図更新専用サイト(http://store.zenrin.co.jp/ext/carnavi_update/faq4.html)にありますのでご確認ください。

オーディオを楽しむ

オーディオの基本操作……K-2
ソースを選ぶ……K-2
映像の表示について……K-2
音量を調整する……K-3
オーディオをON／OFFする……K-3
音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する…K-3
CDを聞く……K-4
CDを再生する……K-4
選曲する……K-5
早戻し／早送りする……K-5
リピート／ランダム／スキャン再生する……K-6
ラジオ（FM／AM／交通情報）を聞く……K-7
FM／AMを聞く……K-7
選局する……K-7
道路交通情報を聞く……K-9
iPod／iPhoneを使う……K-10
再生する……K-10
音楽を選曲する……K-11
音楽を早戻し／早送りする……K-13
音楽をリピート／シャッフル再生する……K-13
ビデオを再生する……K-14
iPod／iPhoneを本機に接続する……K-15
USB機器／SDカードを使う……K-16
音楽を再生する……K-16
選曲する……K-17
音楽を早戻し／早送りする……K-18
音楽をリピート／ランダム／スキャン再生する…K-19
USB機器を接続する……K-20
USB機器を取り外す……K-20
オーディオ設定をする……K-21
車速連動音量を設定する……K-23

オーディオの基本操作

ソースを選ぶ

1 **AV を押す。**

：AVメニューまたはオーディオ画面が表示されます。

※オーディオ画面が表示された場合は、再度 AV を押してください。

2 **操作したいソースを選んでタッチする。**

：選んだソースのオーディオ画面が表示されます。

お知らせ

(オプション)に **AVソース切替** を設定している場合は、 を押すたびにAVソースが切り替わります。

映像の表示について

安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ映像をご覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)

TVソース画面(例)

音量を調整する

SDソース(例)

1 **音量**ツマミを回す。

：画面に現在の音の大きさを示す音量表示が表示されます。

※回し続けて調整することもできます。

お知らせ

- 音量は各ソースで個別に設定できます。
  ※FM／AMソースの場合は、FMまたはAMのどちらかで設定した音量となります。
- [☆](オプション)に **消音** を設定している場合は、[☆]を押して音を消すことができます。

オーディオをON／OFFする

1 PUSH AV OFF を押す。

：オーディオの各ソースを再生／終了します。

音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する

1 各ソースの画面で、**現在地**を押す。

：音声はそのままで、画面がナビゲーション画面に変わります。

※今聞いているソース画面に戻すには再度[AV]を押してください。

CDを聞く

CDを再生する

1 ディスクを入れる。（☞ A-20）

CD再生画面
（♪ タッチ時）

MP3／WMAファイル再生画面
（♪ タッチ時）

お知らせ

- すでに挿入されているディスクを再生する場合や再生画面を表示する場合は、AVメニューから CD をタッチしてください。
- 1枚のディスクに音楽データとMP3／WMAデータが混在する場合はMP3／WMAデータは再生しません。

トラック名／アーティスト名／アルバム名について

- 表示しきれない場合はタッチするとスクロールします。スクロール中にタッチするとスクロールをやめます。走行中はスクロールしません。
- ディスクにCD-TEXT情報がない場合、アーティスト名／アルバム名は“No Title”と表示され、トラック名は“TRACK XX”（XXはトラック番号）と表示されます。
  ※市販されているほとんどの音楽CDにはCD-TEXT情報は入っていません。
- トラック名／アーティスト名／アルバム名の表示が実際と異なって表示される場合があります。

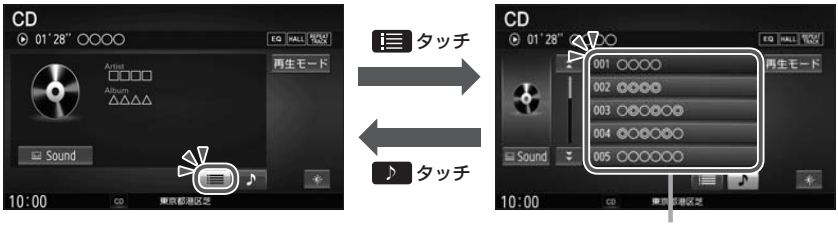
選曲する

■ 1曲ずつトラックを戻したり進めたりする

① ⏮ ⏭ を押す。

■ トラックリストから選曲する

① ☰ ➡再生したい曲をタッチする。



トラックリスト表示

お知らせ

- タイトル情報がない場合、トラックリストにはTRACK1、TRACK2、TRACK3……と表示されます。
- MP3／WMAファイルを再生中の場合、再生しているフォルダ内のトラックリストが表示されます。

■ フォルダ選曲する(MP3／WMAのみ)

① フォルダ⊖ ／ フォルダ⊕ をタッチする。

フォルダ⊖	前のフォルダに戻る
フォルダ⊕	次のフォルダに進む

早戻し／早送りする

1 ⏮ ⏭ を長押しする。

リピート／ランダム／スキャン再生する

1 再生モード をタッチする。

2 再生したいモードを選んでタッチする。

：タッチするたびにモードが切り替わります。

	CD	MP3／WMA
リピート	再生中の曲をリピート（REPEAT TRACK 表示） ↓ リピート再生解除（マーク非表示）	再生中の曲をリピート（REPEAT TRACK 表示） ↓ フォルダ内の曲のリピート（REPEAT FOLDER 表示） ↓ リピート再生解除（マーク非表示）
ランダム	ディスク内の曲をランダム再生（RANDOM 表示） ↓ ランダム再生解除（マーク非表示）	選曲中フォルダ内の曲をランダム再生（RANDOM 表示） ↓ ランダム再生解除（マーク非表示）
スキャン	曲の初め（イントロ）を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。 ディスク内の曲をスキャン再生（SCAN 表示） ↓ スキャン再生解除（マーク非表示）	

お知らせ

ランダム再生は、次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が連続で再生されることがあります。

ラジオ(FM／AM／交通情報)を聞く

FM／AMを聞く

1 AVメニューから FM／AM をタッチする。

2 放送局リストからお好みの放送局をタッチする。

お知らせ

放送局名は、全ての放送局の名称が表示されるわけではありません。

選局する

■ 手動選局する

① ⏮ ⏭ を押す。

：操作するたびにFMは0.1 MHz、AMは9 kHzずつ変わります。

■ 自動選局する

① ⏮ ⏭ を長押しする。

：自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。
希望の放送局が見つかるまで、繰り返してください。

※自動選局中に ⏮ ⏭ を押すと自動選局は止まります。

お知らせ

- 自動選局中は表示部に“サーチ中…”と表示されます。
- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

■ プリセット選局(P1／P2)する

P1／P2にメモリーした放送局を呼び出すことができます。

□ プリセットボタンにメモリーする

FM、AMでP1／P2に6局ずつメモリーできます。

① P1 ／ P2 を選んでタッチする。

② ⏮ ⏭ を操作してメモリーしたい放送局を選ぶ。

③ メモリーさせたいボタンを、プリセットボタンの表示が
メモリーしたい放送局の表示に変わるまで長押しする。

□ メモリーした放送局を呼び出す

① P1 ／ P2 ➡呼び出したい放送局をタッチする。

：選んだ放送局を受信します。

■ エリア選局する

現在の車の位置周辺で放送されている放送局を呼び出すことができます。

① エリア ➡呼び出したい放送局をタッチする。

：選んだ放送局を受信します

お知らせ

- 表示された放送局が必ず受信されるわけではありません。
- 地域によって放送局の数(ボタンの数)は変わります。
- 放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、重複した放送局が表示されることがあります。
- 無操作では自動的に放送局リストは更新されませんので、長距離移動したときなど現在地周辺の放送局リストを表示できていない場合があります。その場合は、エリア更新 をタッチして現在地周辺の放送局リストに更新してください。

道路交通情報を聞く

1 AVメニューから 交通情報 をタッチする。

2 1620kHz または 1629kHz をタッチする。

：選んだ周波数の道路交通情報を受信します。

iPod／iPhoneを使う

あらかじめiPod／iPhoneを本機と接続(☞K-15)しておく必要があります。
※iPod／iPhoneはiPodソースで再生します。WALKMAN®／USBソースでは動作しません。

再生する

1 AVメニューから iPod をタッチする。

※ビデオを再生したい場合は、ミュージック再生画面で **ビデオ** をタッチしてください。

お知らせ

- 表示内容はiPod／iPhone本体で表示されるトラック名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル名となります。ただし、iPod／iPhoneの機種やバージョンによっては、トラック名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル名が正しく表示されないことがあります。
- 本機は日本語／英数字のみ表示可能です。
- iPod／iPhone本体で表示される～(半角波形表示)は、本機では－(ハイフン表示)となります。
- iPod／iPhone本体の設定の“EQ”を“オフ”以外にすると、音質が悪くなる場合があります。

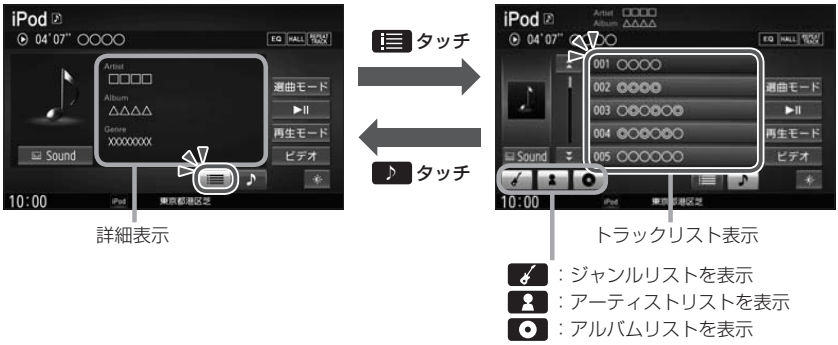
音楽を選曲する

■ 1曲ずつトラックを戻したり進めたりする

① ⏮ ⏭ を押す。

■ トラックリストから選曲する

① ☰ ➡再生したい曲をタッチする。



詳細表示

トラックリスト表示

：ジャンルリストを表示
：アーティストリストを表示
：アルバムリストを表示

お知らせ

表示されるリストは選曲モード(☞K-12)によって変わります。
(例)選曲モードが全曲：全曲リストを表示、選曲モードがアルバム：アルバム内のリストを表示

■ 選曲モードから選曲する

① 選曲モード ➡選曲方法を選んでタッチする。

トラック名をタッチしても、選曲モードのリストで 全曲 タッチと同じ動作をします。

アーティスト名／アルバム名／ジャンル名をタッチしても、選曲モードのリストでそれぞれ アーティスト ／ アルバム ／ ジャンル タッチと同じ動作をします。

選曲モードのリスト

全曲	再生したいトラックを選んでタッチ
アルバム	再生したいアルバム➡トラックを選んでタッチ
アーティスト	再生したいアーティスト➡アルバム➡トラックを選んでタッチ
ポッドキャスト	再生したいポッドキャストを選んでタッチ
ジャンル	再生したいジャンル➡アーティスト➡アルバム➡トラックを選んでタッチ
プレイリスト	再生したいプレイリスト➡トラックを選んでタッチ
作曲者	再生したい作曲者➡アルバム➡トラックを選んでタッチ

すべて をタッチした場合は、絞込みをせずに次のリスト表示をします。
例えば、アーティストリストで すべて をタッチした場合、次に表示されるアルバムリストはiPod中にある全てのアルバムが表示されます。

お知らせ

- 選曲モードは、iPod／iPhone本体に収録されている内容となります。
- iPod／iPhoneのデータが多くなるほど、各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- 再生中画面 をタッチすると再生画面に戻ります。
- トラックリストのとき、トラック名が表示しきれない場合にタッチするとトラック名がスクロールされ、続きを確認することができます。
  ※トラック名スクロールと共にトラック選択となります。（スクロールは一巡すると止まります。）
  ※走行中はスクロールしません。

走行中の操作制限について

- 走行中は安全のため選曲モードのリスト操作に制限がかかります。
- 停車中は選曲モードのトラックリストよりトラックを選んだ時点で、再生が切り替わります。
- 走行中は選曲モードが確定した時点で再生を開始します。（トラックリストなどの表示はされません。）
- リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストが灰色表示となる場合があります。

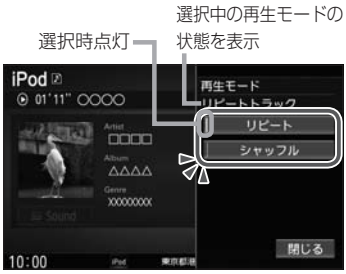
音楽を早戻し／早送りする

1 ⏮ ⏭ を長押しする。

音楽をリピート／シャッフル再生する

1 再生モード をタッチする。

2 再生したいモードを選んでタッチする。



リピート	再生中の曲をリピート（REPEAT TRACK 表示） ↓ リピート再生解除（マーク非表示）
シャッフル	今聞いているリストの中からシャッフル再生（SHUFFLE TRACK 表示） ↓ 今聞いているアルバムごとにシャッフル再生（SHUFFLE ALBUM 表示） ↓ シャッフル再生解除（マーク非表示）

お知らせ

シャッフル再生は曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めるため、同じ曲が連続で再生されることがあります。

ビデオを再生する

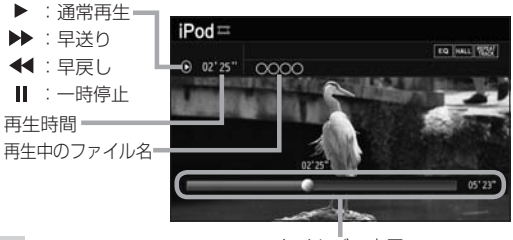
1 AVメニューから **iPod** をタッチする。

※ミュージックが再生される場合は、ミュージック再生画面で **ビデオ** をタッチしてください。

■ タイムバーを表示する

① 画面をタッチする。

※無操作の状態がしばらく続くとタイムバー表示は消えます。



タイムバー表示

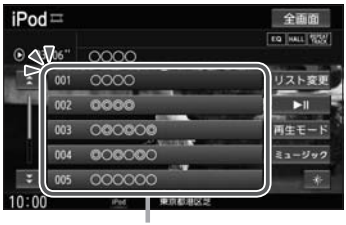
■ リストより再生するビデオを選ぶ

① タイムバー表示時に、画面をタッチしてファイルリストと操作ボタンを表示させる。

② リストから再生したいファイルを選んでタッチする。

お知らせ

ファイルリストを変更するには、**リスト変更** をタッチし、表示されたリストから選んでください。さらにリストが表示される場合は選択を繰り返してください。



ファイルリスト

■ ビデオをリピート再生する

① タイムバー表示時に、画面をタッチしてファイルリストと操作ボタンを表示させる。

② **再生モード** ➡ **リピート** をタッチする。

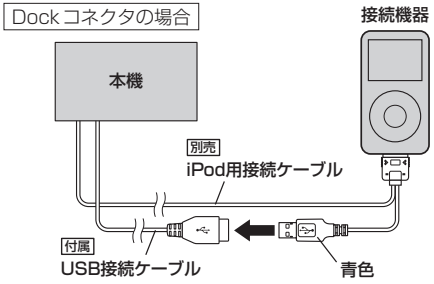
※ **リピート** をタッチするたびに、再生中のビデオをリピート⇔リピート解除が切り替わります。

お知らせ

- ビデオモードを使うには、iPod本体でTV出力の設定を“オン”にしてください。
- 映像データがないときは画面は黒表示となります。
- 走行中は安全のため映像は出力されません。iPod／iPhone本体の操作はできません。
- iPodビデオモードのとき、リストの各動画コンテンツ(情報の内容)ごとにリジューム情報(どこまで再生したか)をiPod／iPhoneがおぼえています。他のオーディオ画面に切り替えても再度iPodビデオモードにすると前回の続き(再生位置)から再生が始まります。ただし、車のキースイッチを「OFF」したりミュージックモードとビデオモードを切り替えたときは、リジューム機能は解除され、リストの一番上の曲から再生となります。
- アーティスト／アルバムなどのタイトル情報を登録していないビデオは選択(再生)できません。
- ビデオモードに対応していないiPodの場合、映像は表示されません。画面をタッチして操作ボタンを表示させ、**ミュージック** をタッチしてミュージックモードに戻してください。

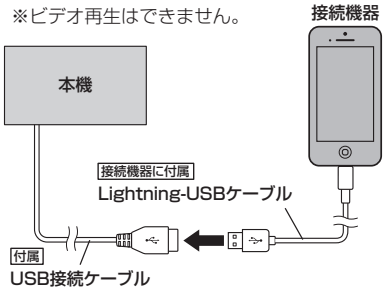
iPod／iPhoneを本機に接続する

Dockコネクタの場合



Lightningコネクタの場合

※ビデオ再生はできません。



お知らせ

- USB接続ケーブルにUSB機器が接続されている場合はそちらを外してください。
  ※iPod／iPhone使用時は、USB機器は使用できません。
- 接続されている状態で車のキースイッチを「OFF」すると、設定により抜き忘れを音声でお知らせします。

お願い

- iPod／iPhoneに収録されたデータが本機に表示されます。
  （なにも収録されていない場合は動画や曲を見たり聞いたりすることはできません。）
- 本機に接続すると、起動中はiPodやiPhoneへ充電を行います。
- 接続中はiPod／iPhone本体を操作しないでください。
- iPod／iPhoneが正しく動作しない、エラーメッセージが表示されたときは、iPod／iPhoneを外してiPod／iPhoneをリセットしてから再度接続してください。
- 端末によってはヘッドフォンなどの機器が接続されていると、本機で動作しない場合があります。本機にiPod／iPhoneを接続するときはヘッドフォンなどの機器は外してiPod／iPhone単体でお使いください。
- iPod／iPhoneは車のキースイッチを「ON」／「OFF」にかかわらず接続できます。
- 接続した状態で車のキースイッチを「OFF」にすると約2分後にiPod／iPhone本体の電源もOFFされます。（ただし、車のキースイッチを「OFF」にした場合の動作はiPod／iPhoneに依存しますので保証するものではありません。）
- iPodソースのときに、iPod／iPhoneの接続･取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- 車のキースイッチを「OFF」にしたあとは、必ずiPod／iPhoneを取り外してください。iPod／iPhoneの電池を消耗することがあります。

USB機器／SDカードを使う

あらかじめUSB機器(ウォークマン®／USBメモリー)を本機と接続(☞K-20)／SDカードを本機に挿入(☞A-20)しておく必要があります。

音楽を再生する

1 AVメニューから WALKMAN®／USB または SD をタッチする。

お知らせ

- トラック名／アーティスト名／アルバム名／フォルダ名の表示文字数は全角12(半角25)文字です。
- アーティスト名／アルバム名／ジャンル名が記録されていない場合は、“No Title”と表示されます。
- トラック名／アーティスト名／アルバム名／フォルダ名が表示しきれない場合はタッチするとスクロールします。スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- ウォークマン®に転送した「MP3」「WMA」「AAC」ファイルはフォルダ選曲でのみ再生できます。

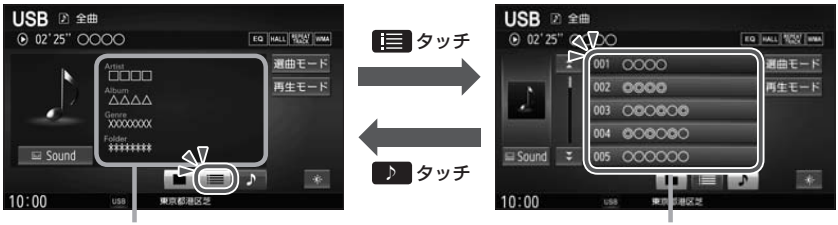
選曲する

■ 1曲ずつトラックを戻したり進めたりする

① ⏮ ⏭ を押す。

■ トラックリストから選曲する

① ☰ ➡再生したい曲をタッチする。



詳細表示　　トラックリスト表示

お知らせ

表示されるリストは選曲モード(☞K-18)によって変わります。
(例)選曲モードが全曲：全曲リストを表示、選曲モードがフォルダ：選んだフォルダ内のリストを表示

■ アルバム選曲する(ウォークマン®)／フォルダ選曲する(USBメモリー／SDカード)

① 💿 ／ 📁 ➡再生したいアルバム／フォルダをタッチする。

お知らせ

表示されるリストは選曲モード(☞K-18)によって変わります。

ウォークマン®ご使用の場合

- 選曲モードでフォルダを選んだ場合は、💿 が 📁 に変わります。
- 選曲モードでジャンル／グループ／プレイリストを選んだ場合は、💿 はタッチできません。

■ 選曲モードから選曲する

① 選曲モード ➡選曲方法を選んでタッチする。

② 表示されるリストから選んでいき、
トラックリストから再生したい曲を選んでタッチする。

全曲	再生したいトラックを選んでタッチ
アルバム *1	再生したいアルバム➡トラックを選んでタッチ
アーティスト *1	再生したいアーティスト➡アルバム➡トラックを選んでタッチ
ジャンル *1	再生したいジャンル➡トラックを選んでタッチ
グループ *1	再生したいグループ➡トラックを選んでタッチ
プレイリスト *1	再生したいプレイリスト➡トラックを選んでタッチ
フォルダ	再生したいフォルダ➡トラックを選んでタッチ

＊1…ウォークマン®のみ

③ 再生中画面 ⮌ をタッチする。

：再生画面に戻ります。

※ 戻る をタッチするとひとつ前の画面に戻ります。

お知らせ

- 選べる選曲モードは機器により異なります。
- USB機器／SDカードに収録されている曲数が多くなるほど各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- 走行中は安全のため、リストのボタンをタッチしても無効になるなど、操作に制限がかかります。
- 走行中は選曲モードが確定した時点で再生を開始します。（トラックリストなどの表示はされません。）

音楽を早戻し／早送りする

1 ⏮ ⏭ を長押しする。

音楽をリピート／ランダム／スキャン再生する

1 再生モード をタッチする。

2 再生したいモードを選んでタッチする。

リピート	再生中の曲をリピート（REPEAT TRACK 表示） ↓ リピート再生解除（マーク非表示）
ランダム	今聞いているリストの中からランダム再生（RANDOM 表示） ↓ ランダム再生解除（マーク非表示）
スキャン	曲の初め（イントロ）を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。 今聞いているリストの中からスキャン再生（SCAN 表示） ↓ スキャン再生解除（マーク非表示）

お知らせ

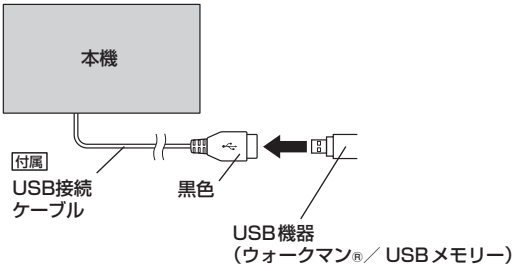
ランダム再生は、次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が連続で再生されることがあります。

USB機器を接続する

お知らせ

- 車のキースイッチを「OFF」にして行ってください。
- USB接続ケーブルにiPod用接続ケーブルが接続されている場合はそちらを外してください。
  ※USB機器使用時は、iPod／iPhoneは使用できません。
- ウォークマン®の種類によっては、ウォークマン®本体に付属されているUSBケーブルを使用して本機にUSB接続する必要があります。

1 本機から出ている付属のUSB接続ケーブル(黒色)にUSB機器を接続する。



USB機器を取り外す

1 PUSH AV OFF を押してオーディオをOFFにし、USB機器を外す。

お知らせ

- USB機器を外したあと再接続し再生を始めると、前に再生していた続きから再生を始めます。
  ※USB機器認識中(再生中)に外した場合は、最初の曲の初めから再生する場合があります。
- 再生中にUSB機器を外すとデータが壊れたり、USB機器が破損するおそれがあります。必ずWALKMAN®／USBソースを終了(OFF)にして外してください。

お願い

- WALKMAN®／USBソースのときに、ウォークマン®の接続・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- 車のキースイッチを「OFF」にしたあとは、必ずウォークマン®を取り外してください。ウォークマン®の電池を消耗することがあります。

オーディオ設定をする

オーディオOFFのときはオーディオ設定はできません。オーディオONにしてから設定してください。
また、走行中は設定できる項目が制限されます。

1 情報・設定メニューから **AV設定** をタッチする。

2 項目を選んで設定する。

AV設定画面

■ **前後左右のスピーカーの音量バランス設定(FADE／BALANCE設定)**

① **詳細設定** をタッチする。

② ◀／▶／▼／▲ をタッチして調整する。

※イラストを直接タッチし、ポイントを移動させて調整することもできます。

◀	右スピーカーの音量が下がる。
▶	左スピーカーの音量が下がる。
▼	前スピーカーの音量が下がる。
▲	後ろスピーカーの音量が下がる。

■ **音響効果設定** ※交通情報受信中は無効です。

① エフェクトの◀／▶をタッチして、**DSP** ／ **OFF** を選ぶ。

DSP	いろいろな環境の音場を擬似的に再現することができます。
OFF	音響効果設定をOFFにします。

② サラウンドの◀／▶をタッチして、疑似再現したい音響環境を選ぶ。

LIVE	ライブハウスのような音場
HALL	コンサートホールのような音場
STADIUM	スタジアムのような音場
CHURCH	残響音の多い教会のような音場

■ イコライザー設定 ※交通情報受信中は無効です。

① POP ／ ROCK ／ JAZZ ／ USER から選んでタッチする。

※ POP ／ ROCK ／ JAZZ は本機に既存の値が設定されています。

※ USER の初期設定は全音域が±0に設定されています。
詳細設定 をタッチしてお好みの値を設定してください。

※イコライザー設定を解除したい場合は OFF をタッチしてください。

□ イコライザー設定値を変更する

① 詳細設定 をタッチする。

② POP ／ ROCK ／ JAZZ ／ USER から選んでタッチする。

③ 各音域の ▲ ／ ▼ をタッチして調整する。

④ 登録 をタッチする。

お知らせ

イコライザーの63 Hz設定値とBASS設定値は連動します。また、イコライザーの12.5 kHz設定値とTREBLE設定値は連動します。

■ BASS／TREBLE設定 ※交通情報受信中は無効です。

① ー ／ ＋ をタッチして調整する。

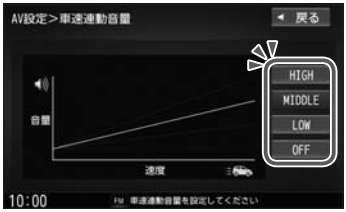
BASS	ー …低音が弱まる。　＋ …低音が強まる。
TREBLE	ー …高音が弱まる。　＋ …高音が強まる。

車速連動音量を設定する

車の速度によって、オーディオの音量を自動で調整するよう設定できます。

1 情報・設定メニューから AV設定 ➡ 車速連動音量 をタッチする。

2 HIGH ／ MIDDLE ／ LOW ／ OFF から選んでタッチする。



HIGH	速度に応じて、音量が大きく変化
MIDDLE	速度に応じた音量変化がHIGHとLOWの中間
LOW	速度に応じて、音量がゆるやかに変化
OFF	音量の車速連動をしない

L

TVを見る

TV

TVを見る……L-2
選局する……L-2
チャンネルをプリセットボタンに登録する……L-3
データ放送を見る……L-3
番組表を見る……L-4
映像／音声を切り替える……L-5
12セグ／ワンセグを切り替える……L-5
視聴エリアの変更をする……L-6
スキャンする……L-6
郵便番号を設定する……L-7
中継・系列局サーチをする……L-7
デバイスID／システム情報を見る……L-7
各種設定をする……L-8
受信レベルを確認する……L-9
緊急警報放送について……L-9
受信中に緊急警報放送が始まると……L-9

TVを見る

1 AVメニューから TV をタッチする。

お知らせ

受信設定は以下を参照してください。
・視聴エリアの変更をする／スキャンする L-6
・郵便番号設定 L-7

選局する

■ 順送りで選局する

⏮ ⏭ (選局)を押す。

■ チャンネルボタン／プリセットボタンをタッチして選局する

TV視聴中に画面をタッチして操作ボタンを表示させ、
チャンネルボタン／プリセットボタンから選んでタッチする。

バナー表示

チャンネルボタン／プリセットボタン
※ リスト ➡ チャンネルリスト ➡ 戻る をタッチした後、画面をタッチすると、チャンネルボタンを表示
※ リスト ➡ プリセットリスト ➡ 戻る をタッチした後、画面をタッチすると、プリセットボタンを表示

■ チャンネルリスト／プリセットリストから選局する

① TV視聴中に画面をタッチして操作ボタンを表示させ、
リスト をタッチする。

② リストからチャンネルを選んでタッチする。

チャンネルリスト(例)

チャンネルリストに切り替え

プリセットリストに切り替え

チャンネルリスト表示中：エリアごとに初期設定されているチャンネルリストに戻します。
プリセットリスト表示中：プリセットしたチャンネルを全て削除します。

■ 自動選局する

⏮ ⏭ を長押しする。

：自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。希望の放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。

※放送局を受信または一巡するまで自動選局は継続されます。

※自動選局中は“シーク動作中”と表示されます。

※受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

チャンネルをプリセットボタンに登録する

1 登録したいチャンネルを選局する。

2 画面をタッチして操作ボタンを表示させ、
リスト ➡ プリセットリスト をタッチする。

3 チャンネルを登録するプリセットボタンを選んで長押しする。

※選局中や放送局を受信できない状態では、チャンネルをプリセットできません。

データ放送を見る

※データ放送は12セグ受信時のみ対応しています。

1 TV視聴中に画面をタッチして操作ボタンを表示させ、
次へ ➡ 色ボタン ➡ d をタッチする。

※データ放送を終了するには d をタッチしてください。

表示中の操作ボタンを移動(画面上／画面下)

数字ボタンを表示

データ放送の操作に使用します。

表示中の操作ボタンを消します。

番組表を見る

1 TV視聴中に画面をタッチして操作ボタンを表示させ、
番組 をタッチする。

番組表 3チャンネル表示(例)

番組情報を取得
(最大9時間後までの選択中エリア内全放送局の番組情報を一括で取得します。)

タッチするたびに番組表の表示を切り替え
・1チャンネル表示
・3チャンネル表示
・5チャンネル表示

前日の番組表表示
(過去の番組は表示できません。)

翌日の番組表表示

お知らせ

番組表は現在放送中の番組から12セグは7日後まで、ワンセグは10番組まで表示されます。

■ 番組の詳細情報を見る

① ▲／▼／◀／▶(カーソルキー)で見たい番組を選んで、
詳細 をタッチする。

番組表 3チャンネル表示(例)

番組詳細情報画面(例)

続きがある場合、スクロール

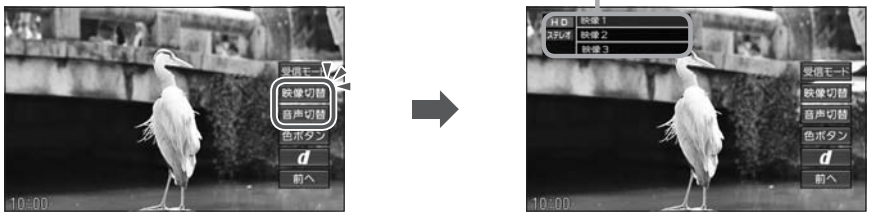
映像／音声を切り替える

複数の映像または音声が同時に放送されている番組では、本機で切り替えることができます。

1 TV視聴中に画面をタッチして操作ボタンを表示させ、
次へ ➡ 映像切替 ／ 音声切替 をタッチする。

※映像表示／音声表示が出ている間、 映像切替 ／ 音声切替 をタッチするたびに切り替わります。

※本機ではマルチビューテレビ放送のそれぞれの画面を同時に表示させることはできません。



12セグ／ワンセグを切り替える

1 TV視聴中に画面をタッチして操作ボタンを表示させ、
次へ ➡ 受信モード をタッチする。

※ 受信モード をタッチするたびに切り替わります。

・放送自動切替
・12セグ固定受信
・ワンセグ固定受信

視聴エリアの変更をする

視聴エリアを変更すると、チャンネルリスト(チャンネルボタン含む)が更新されます。

1 TV視聴中に画面をタッチして操作ボタンを表示させ、
メニュー ➡ **エリア変更** をタッチする。

2 下表に従って操作する。

自動で変更	自動で視聴エリアの変更を行います。 (自動変更がはたらくには、GPSで現在位置が受信できる必要があります。) **自動** をタッチ
手動で変更	① **手動** をタッチ ②地方を選んでタッチ➡県域を選んでタッチ ③チャンネルスキャンを行う場合は **はい** 、スキャンを行わずエリア変更を終了する場合は **いいえ** をタッチ

スキャンする

1 TV視聴中に画面をタッチして操作ボタンを表示させ、
メニュー ➡ **スキャン** をタッチする。

2 **初期スキャン** ／ **再スキャン** を選んでタッチする。

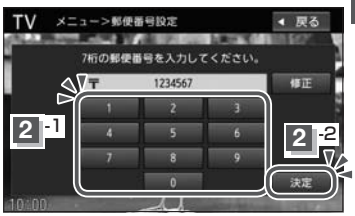
初期スキャン	受信可能なチャンネルを探し、視聴エリアとチャンネルリスト(チャンネルボタン含む)を最新の状態に上書き更新します。 ※引越しなどで受信地域が変わり、チャンネルリストを一新したい場合に行ってください。
再スキャン	受信可能なチャンネルを探し、新たに受信可能なチャンネルをチャンネルリストに追加します。(ただし、チャンネルリストに登録される放送局には上限があります。) ※新しく開設された放送局を、現在のチャンネルリストに追加したい場合に行ってください。

郵便番号を設定する

データ放送を見る前に郵便番号を設定しておくことをおすすめします。地域情報(天気予報など)を見るときに必要な場合があります。

1 TV視聴中に画面をタッチして操作ボタンを表示させ、
メニュー ➡ 郵便番号設定 をタッチする。

2 0 ～ 9 をタッチして郵便番号を入力し、
決定 をタッチする。



中継・系列局サーチをする

視聴中のチャンネルの受信ができない場合、中継局または系列局のサーチを行うことができます。

1 TV視聴中に画面をタッチして操作ボタンを表示させ、 中継 をタッチする。

お知らせ

各種設定(☞L-8)で中継・系列局サーチの設定(自動 ／ 手動)ができます。
自動 …受信状態が悪くなった場合、自動で中継局／系列局を探します。
手動 …受信状態が悪くなった場合、中継局を探すことをうながすメッセージが表示されます。
このとき、 はい をタッチすると中継・系列局サーチを開始します。

デバイスID／システム情報を見る

1 TV視聴中に画面をタッチして操作ボタンを表示させ、
メニュー ➡ デバイスID表示 ／ システム情報 をタッチする。

各種設定をする

1 TV視聴中に画面をタッチして操作ボタンを表示させ、メニュー ➡ 各種設定 をタッチする。

2 各項目を選んでタッチし、設定する。

放送自動切替	12セグ／ワンセグの切り替え(☞L-5)を放送自動切替モードにしている場合、12セグ／ワンセグのどちらを優先して自動切替するか設定します。 **12セグ優先** …受信状態が悪くなっても、12セグを優先して受信 **ワンセグ優先** …受信状態が悪くなった場合、すぐにワンセグに切り替え
中継・系列局サーチ	受信状態が悪くなった場合に自動で他の中継局／系列局を探すか、手動で探すかを設定します。 **自動** …受信状態が悪くなった場合、自動で中継局/系列局を探す **手動** …受信状態が悪くなった場合、中継局を探すことをうながすメッセージが表示
サービス設定	独立データサービスを選局するか設定します。 **テレビ／データ** …テレビサービスと独立データサービスの両方を選局 **テレビ** ……テレビサービスのみ選局 ※番組表もテレビサービスのみ表示されます。
チャンネル設定	チャンネル表示をサービスチャンネル番号で表示するか、物理チャンネル番号で表示するか設定します。 **サービスch** …サービスチャンネル番号(例：021)で表示 **物理ch** ……物理チャンネル番号(例：20ch)で表示
文字スーパー表示	文字スーパー表示を設定します。 **第1言語** ……第1言語で文字スーパーを表示 **第2言語** ……第2言語で文字スーパーを表示 **しない** ……文字スーパーを表示しない
字幕表示	字幕表示を設定します。 **第1言語** ……第1言語で字幕を表示 **第2言語** ……第2言語で字幕を表示 **しない** ……字幕を表示しない

受信レベルを確認する

1 TV視聴中に画面をタッチして操作ボタンを表示させ、
メニュー ➡ **受信レベル確認** をタッチする。

2 **ch－** ／ **ch+** をタッチし
チャンネルを選んで、
決定 をタッチする。

※受信状態はバーの長さと数値で
確認することができます。

受信レベル確認画面

バー表示
チャンネル表示

MAXを100とし、100に近いほど
受信状態は安定しています。

TV

緊急警報放送について

災害など、緊急な出来事が発生した場合に視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。

- **「受信設定」をしてください。**
  緊急警報放送は地域別に異なることがありますので、受信設定(視聴エリアの変更、スキャン)をしておいてください。設定しておかないと正しい緊急警報放送が受信できません。☞ L-6

受信中に緊急警報放送が始まると

緊急警報放送が始まると、画面にメッセージが表示され、自動で緊急警報放送に切り替わります。

■ 緊急警報放送が終了した場合

：緊急警報放送が終了すると、画面にメッセージが表示され、緊急警報放送前のチャンネルに自動で戻ります。

お知らせ

緊急警報放送は、地上デジタルテレビ放送を受信中のときのみ見ることができます。TVソース以外のソースを選んでいるときや、車のキースイッチを「OFF」にしているときは緊急警報放送は受信できません。

M

外部機器の映像を見る／音声を聞く

接続する …… M-2
映像を見る／音声を聞く …… M-3

接続する

市販のAV機器やポータブルオーディオ機器などの映像や音声を本機で視聴できます。

※接続の前に

①接続する機器側の電源を切ってください。

②車のキースイッチを「OFF」にしてください。

（本機の電源を入れたままAV機器やポータブルオーディオ機器などを接続したり、外したりするとノイズが出ることがあります。）

1 機器を接続する。

VTR機能	別売のAVケーブルと映像・音声ケーブルを使用して 本機と市販のポータブルオーディオ機器やVTR機器を接続
AUX機能	音声ケーブル(3.5 φ)を使用して 本機と市販のポータブルオーディオ機器を接続 **お知らせ** ●ディスプレイを開閉するときに音声ケーブルがからまったり、プラグ部がぶつかったりしないよう注意して接続してください。 ●音声ケーブルは抵抗なし品を使用してください。抵抗入りケーブルは音声が聞こえません。

2 外部接続を設定する。

※AUXで接続する場合は外部接続の設定をする必要はありません。

① 情報・設定メニューから **AV設定** をタッチする。

② **外部接続** をタッチする。

③ “VTR接続” **する** ／ **しない** を選んでタッチする。

※VTR接続機能を使用しない場合は、設定を **しない** にしてください。

映像を見る／音声を聞く

あらかじめAV機器などを本機に接続しておく必要があります。
さらに、VTRソースを使用する場合は、外部接続設定で **する** に設定しておいてください。

1 本機と使用する機器の電源を入れ、AVメニューから VTR ／ AUX を選んでタッチする。

お知らせ

画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。

VTRソース画面(例)

ボタンを消し、全画面を表示
※ **ボタン消** はVTRソースのみ表示されます。

明るさ強・弱ボタン

2 AV機器やポータブルオーディオ機器を操作する。

※操作のしかたはそれぞれの機器に付属の説明書をご覧ください。
※VTR接続機能を使用しない場合は、設定を **しない** にしてください。

お知らせ

- 接続した機器の電源をOFFにしてから、車のキースイッチを「OFF」にしてください。
- VTR端子に入力された映像や音声はVTRソースで視聴できます。
- AUX端子に入力された音声はAUXソースで聞くことができます。
- VTR／AUXの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作ができます。
- 接続した機器によっては映像や音声が出ない場合があります。
- 接続した機器に音量調整機能がある場合は、本機の音声とバランスをとるようにしてください。
- 下記レベルを超えた機器を接続した場合、映像や音にひずみなどが生じ、正常に動作しない場合があります。

VTR入力端子	
映像入力レベル	1 Vpp(入力インピーダンス75 Ω)
音声最大入力レベル	2.0 V(入力インピーダンス47 kΩ)
AUX入力端子	
音声最大入力レベル	2.0 V(入力インピーダンス47 kΩ)

N
ハンズフリーを使う

ハンズフリー電話を使う……N-2
電話を受ける(着信時の操作)……N-2
通話中の操作……N-3
電話をかける……N-4
発信中の操作……N-5
ハンズフリーの通話設定……N-6
携帯電話のアドレス帳を本機に転送する……N-7

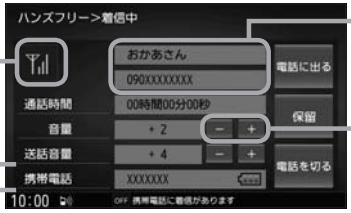
ハンズフリー電話を使う

あらかじめ携帯電話を登録して、“電話1”または“電話2”に接続設定しておく必要があります。
☞ G-13、G-14

電話を受ける(着信時の操作)

電話がかかってくると着信中画面が表示されます。

着信中画面



電波状態を表示

携帯電話の名称と電池残量を表示

相手の名前、電話番号を表示
(名前はアドレス帳に名前登録がある場合のみ表示)

呼び出し音の音量を調整
※ 音量 ツマミを着信中に操作しても調整できます。

1 操作したいボタンを選んでタッチする。

電話に出る	通話が開始され、通話中画面が表示されます。
保留	相手と電話がつながり、相手へ電話に出られないことを音声で案内します。 着信保留中画面 電話に出る ※着信保留を行うためには、携帯電話側が着信保留に対応している必要があります。(保留できない携帯電話ではメッセージが表示されます。) ※保留中も相手には通話料金がかかります。
電話を切る	かかってきた電話を応答せずに切ります。

お知らせ

- 携帯電話にドライブモード、マナーモードが設定されていた場合、着信音が出ない場合があります。
- 携帯電話の着信設定の効果音やメロディーにより音が聞こえにくい場合があります。
- 電波状態(アンテナの本数)表示および電池残量表示は携帯電話の表示と異なる場合があります。(例、電波良好の状態でもナビゲーションでは圏外と表示)
- 発信／着信／通話は携帯電話2台同時にはできません。(例、電話1で発信／着信／通話中、電話2に電話がかかってきたとき着信はできません。なお、電話2がかかってきたときの動作は設定により着信拒否されます。)

通話中の操作

通話が始まると通話中画面が表示されます。

1 操作したいボタンを選んでタッチする。

ミュート	自分の声を相手に聞こえないようにします。(相手の声は聞こえます。) ※ミュートを行うと、ミュート が 通話 に変わります。 通話 をタッチすると、再度自分の声が相手に聞こえるようになります。
携帯電話切替	ハンズフリー通話をやめて、携帯電話での通話に切り替えます。 ※携帯電話に切り替えると、携帯電話切替 が ハンズフリー切替 に変わります。 ハンズフリー切替 をタッチすると、ハンズフリー通話になります。
トーン	0 ～ 9 、 ＊ 、 # ボタンが表示されるので、タッチするとトーン入力が行えます。 ※安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。
電話を切る	通話を終了し、電話を切ります。

お知らせ

- 通話中の本機の通話時間表示と携帯電話の通話時間表示は同じになりません。(通話時間は目安です。)
  ※通話時間の最大表示は99時間59分59秒です。
- 接続する携帯電話によっては、通話終了時に本機画面がしばらく切り替わらない場合があります。

通話中の地図画面表示について

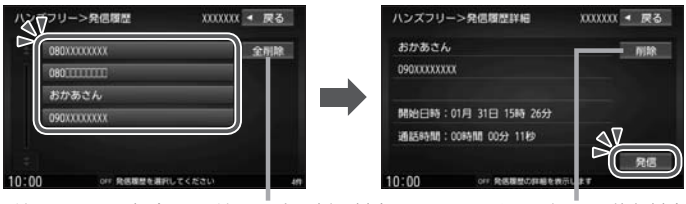
- 通話中に 現在地 を押すと、地図画面が表示できます。
- 地図画面から通話中画面に戻るには、トップメニューから 電話 をタッチしてください。
- ハンズフリー音声出力中は、右(前)スピーカーよりナビゲーションの音声案内、左(前)スピーカーより通話の音声出力となります。
- ハンズフリー通話中はオーディオの音量調整(音量 ツマミ)は無効となります。

電話をかける

1 トップメニューから 電話 をタッチする。

2 電話1 ／ 電話2 を選んでタッチする。

3 電話をかける方法を選んでタッチする。

ダイヤル	0 ～ 9 、 ＊ 、 # ボタンが表示されます。 **電話番号を入力して 発信 をタッチ** ※36桁まで入力でき、画面には24桁まで表示します。
リダイヤル	**メッセージが表示されるので、 はい をタッチ** ：前回電話をかけた番号に発信します。 ※発信履歴がない場合、 リダイヤル は選べません。
発信履歴 ／ 着信履歴	履歴リストが表示されます。 **① 履歴リストから電話をかける相手を選んでタッチする。** **② 発信 をタッチする。** 発信履歴(例)  発信履歴画面の場合は、発信履歴を一括で削除　　選んだ履歴１件を削除 ※履歴がない場合 発信履歴 ／ 着信履歴 は選べません。
アドレス帳	アドレス帳画面が表示されます。 ※あらかじめ携帯電話のアドレス帳を本機に転送しておく必要があります。 （アドレス帳にリストが１件もない場合は、アドレス帳から発信できません。） N-7 **① リストから電話をかける相手を選んでタッチする。** **② 番号１で発信 ／ 番号２で発信 を選んでタッチする。** アドレス帳の全件を一括で削除　　選んだアドレス帳１件を削除

お知らせ

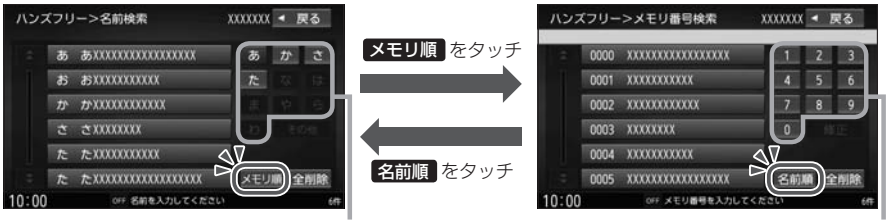
走行中は発信操作が制限されます。

発信履歴／着信履歴について

- 発信履歴リスト／着信履歴リストに表示される履歴は最新の10件分です。
- 着信履歴リスト画面で、非通知または公衆電話からかかってきた着信は非通知表示されます。また、非通知の場合、電話をかけることはできません。
- 非通知の着信履歴は最新の履歴のみが表示されます。
- 施設の詳細、登録地詳細画面から電話をかけた場合も履歴番号がリストに表示されます。(施設名は表示されません。)
- 同じ相手への発信履歴や同じ相手からの着信履歴は、それぞれ最新の履歴のみが表示されます。

アドレス帳画面について

- 携帯電話によっては、本機に転送したアドレス帳に正しく50音割り当てされない場合があります。
- 携帯電話によっては、本機で表示されるメモリ番号と携帯電話のメモリ番号が一致しない場合があります。
- **メモリ順** をタッチするとアドレス各件に振られているメモリ番号の順にリストを並べ替えて表示します。



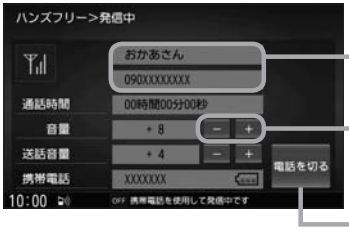
タッチしたひらがなのアドレス(名前)を表示

タッチしたメモリ番号のアドレス(名前)を表示

発信中の操作

電話をかけると発信中画面が表示されます。

発信中画面



相手の名前、電話番号を表示
(名前はアドレス帳に名前登録がある場合のみ表示)

呼び出し音の音量を調整
※ **音量** ツマミを発信中に操作しても調整できます。

発信を中止する

お知らせ

接続中の携帯電話の種類によっては、発信中と通話中の状態が携帯電話側と同じにならない場合があります。
(例：本機は発信中で相手はまだ電話に出てないが、本機の画面では通話中となります。)

ハンズフリーの通話設定

1 トップメニューから 電話 ➡ 設定 ➡ 通話設定 をタッチする。

2 設定したい項目を選んでタッチする。

着信音量	着信時の呼び出し音の音量を設定します。 ＋：音量が大きくなります。 －：音量が小さくなります。
受話音量	通話中の相手の声の音量を設定します。 ＋：音量が大きくなります。 －：音量が小さくなります。
送話音量	通話中の相手に伝わる自分の声の音量を設定します。 ＋：音量が大きくなります。 －：音量が小さくなります。
通話中の着信拒否	例えば、電話１が発信／着信／通話中に、電話２へ電話がかかってきたとき、かかってきた電話を着信拒否するよう設定できます。 する：着信拒否する。 しない：着信拒否しない。
自動応答保留	設定すると電話がかかってきたとき、自動的に着信保留を行います。 （着信保留を行うと、電話回線がつながり電話に出られないことを音声で案内します。） する：自動的に着信保留を行う。 しない：自動的に着信保留しない。

お知らせ

安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

通話中の着信拒否について

- 通話中の着信拒否は、携帯電話が本機に２台接続している場合の機能です。また、携帯電話自体の設定ではありません。
- 拒否動作はナビゲーション画面に表示されることなく、自動的に行われます。
- 着信の場合、発信操作を拒否された側には、本機能で拒否された旨は通知されません。
  ※突然、電話を切られたようにみえます。
- “通話中の着信拒否” する に設定していると、発信／着信／通話中は他方の携帯電話での発信はできません。
  （例：電話１が発信／着信／通話中は、電話２で携帯電話での発信はできません。）
- “通話中の着信拒否” する に設定していると、発信／着信／通話中は他方の携帯電話でのBLUETOOTH接続はできません。
  （例：電話１が発信／着信／通話中は、電話２のBLUETOOTH接続はできません。）
  ※端末操作で発信動作を行いたい場合は、“通話中の着信拒否” しない に設定するか、ハンズフリー接続を携帯電話側で解除してください。
- 携帯電話が複数登録されている場合、通話中の着信拒否設定は電話１／電話２の携帯電話に共有されます。
  （個別に設定できません。）

自動応答保留について

- 保留中のときも、相手には通話料金がかかります。
- 自動応答保留を行うためには、携帯電話側で応答保留（着信保留）に対応している必要があります。
- 携帯電話が複数登録されている場合、自動応答保留設定は、電話１／電話２の携帯電話に共有されます。
  （個別に設定できません。）

携帯電話のアドレス帳を本機に転送する

アドレス帳の転送は、本機と携帯電話の両方を操作して行います。
本書では、本機の操作方法のみ説明していますので、携帯電話の説明書もご覧になりながら転送操作を行ってください。

1 トップメニューから **電話** をタッチする。

2 **電話1** ／ **電話2** を選んでタッチする。

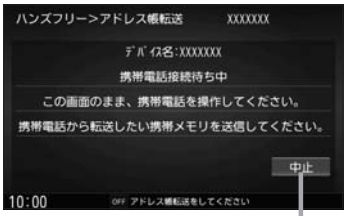
3 **携帯メモリ読み出し** をタッチする。

お知らせ

- お使いの携帯電話の機種によっては、 **携帯メモリ読み出し** をタッチすると、自動で転送が開始されるものがあります。(この場合の転送は全件転送のみとなります。)この場合、手順 **5** に進んでください。
- 自動で転送させたくないときは、携帯電話側で自動転送しない設定をしてください。詳しくはお使いの携帯電話の説明書でご確認ください。

4 携帯電話を操作して、
転送したいアドレス帳を選んで
データ送信を開始させる。

携帯電話接続待ち中画面



読み出しを中止

※アドレス帳の全件転送(一括送信)を選んだ場合のみ、右記画面が表示されます。
追加保存 ／ **上書き保存** を選んでタッチしてください。
上書き保存 を選んだ場合、本機に登録済みのアドレス帳を全て削除したうえで、メモリ読み出しが開始されることがあります。

5 アドレス帳転送(読み出し)が完了したら、 **終了** をタッチする。

お知らせ

本機のアドレス帳について

- アドレス帳は携帯電話ごとに別々に保存されます。（転送したアドレス帳は別の携帯電話では使用できません。）
- 本機のアドレス帳は自動的に更新されません。携帯電話のアドレス帳を更新した際は、アドレス帳を本機に転送しなおしてください。

アドレス帳の転送について

- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。
- アドレス帳を転送するには、携帯電話が電話１または電話２に接続設定されていること、携帯電話が本機と接続されていることが必要です。
- 本機のメモリがいっぱいになったり（1台あたり最大1500件）、不正なデータがある場合、転送は終了されます。
  ※すでに本機に転送されたアドレス帳は本機に保存されます。
- 転送中に車のキースイッチを変更した場合、読み出しは中止されます。その場合は、読み出しをやりなおしてください。（故障のおそれがありますので、読み出し中はキースイッチを変更しないようご注意ください。）
- 転送中に着信があった場合、BLUETOOTH接続では携帯電話の機種により着信が優先される場合があります。
- シークレットメモリの読み出しはできません。（携帯電話の機種によっては読み出しができる場合があります。）
- 読み出しできる文字数･桁数は、名前：全角９文字まで／よみ：半角18文字まで／電話番号：36桁まで／メールアドレス：半角64文字までです。
- 特殊な漢字や記号は表示できない場合があります。
- 全件転送（一括送信）をすると携帯電話の機種によってオーナー番号（お客さま自身の番号）も登録される場合があります。

0 困ったとき

故障かな？と思ったら……0-2
こんなメッセージが表示されたら……0-17

故障かな？と思ったら

ちょっとした操作のミスや接続のミスで故障と間違えることがあります。
修理を依頼される前に、下記のようなチェックをしてください。それでもなお異常があるときは、使用を中止してお買い上げの販売会社にご連絡ください。

共　通

症　状	原　因	処　置	参考ページ
電源が入らない（動作しない）	各リード線や各コネクターが正しく接続されていない。	販売会社にご相談ください。	—
音が出ない	音量が小さいまたは“0”になっている。	音量ツマミで調整してください。	K-3
	フェード・バランスが片方に寄っている。	フェード・バランスを正しく調整してください。 ※2スピーカーの場合は“0”に合わせます。	K-21
	本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。	—
本機に登録されていた情報が消失している	● 本機の使用を誤った ● ノイズの影響を受けた ● 修理を依頼した などにより本機に登録した情報が消失する場合があります。	消失したデータについては補償できません。	—
ディスプレイが閉じない	ディスク排出の処理中です。	排出が終わったらディスクを取り出してください。取り出さないとディスプレイは閉じません。	—
	SDカードが奥まで挿入されていない。	奥まで挿入してください。奥まで挿入しないとディスプレイは閉じません。	—
	地図SDカード挿入口のフタが閉まっていない。	地図SDカード挿入口のフタを確実に閉めてください。	—
ディスクが出ない	ディスクに汚れ、キズ、指紋がついている。	▲(OPEN)を長押ししてください。	—

共　通

症　状	原　因	処　置	参考ページ
映像が出ない	走行している。	走行中は映像を見ることができません。	—
	明るさ／コントラスト調整が最も暗い調整になっている。	明るさ／コントラストを調整してください。	P-27
	画面が消えている。	画面をタッチして、画面を表示させてください。	—
	VTRソースになっている。	外部機器の電源を入れる、または他のソースに切り替えてください。 （VTR未入力時は黒い画面になります。）	—
表示が暗く見づらい	車両側のオートライトが働いている。	画面の明るさはイルミに連動します。（トンネル内など画面が急に暗くなります。） オートライトが働いていないとき、またはライトをONにしていないときは画面は明るくなります。	—
画面が乱れる	本機の近くに携帯電話や無線機がある。	携帯電話などの妨害により画面が乱れる場合があります。本機の近くにこれらを近づけないでください。	—
画質調整ができない	パーキングブレーキ接続ケーブルを接続していない。	パーキングブレーキ接続ケーブルを接続し、パーキングブレーキをかけてください。また、パーキングブレーキがONになっているか確認してください。	G-10
テレビなどの映像色や色合いが悪い	調整がずれている。	明るさ、コントラスト、色の濃さ、色合いを調整してください。	P-27
映像にはん点やしま模様が出る	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、他の自動車などの影響で起きることがあります。	妨害電波を受けない場所に移動してください。	—
ディスプレイに光る点がある	液晶パネルは99.99 %以上の有効画素がありますが、0.01 %以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありません。	—

自車マーク関係

症　状	原　因	処　置	参考ページ
平面地図画面と3D表示で地名表示が異なる	画面が煩雑にならないよう、文字情報の間引き処理を行っています。また道路や地名などを複数表示することもあります。	故障ではありません。	—
現在地が正しく表示されない	走行条件やGPS衛星の状態により、表示誤差が生じた。	GPS衛星電波を受信してください。	—
自車を移動させても地図がスクロールしない 自車マークが表示されない	現在地表示になっていない。	現在地を押してください。	—
走行すると道路が消える	走行中は細街路*1を表示しません。	故障ではありません。	—
地図画面上のGPS受信表示がいつまでも灰色のままになっている	GPSアンテナ上に雪などが覆い被さって、GPS衛星からの電波が受信できない。	積もった雪などを取り除いてください。	—
	GPS衛星の受信感度が悪い。	GPS衛星からの電波が安定するまでお待ちください。	—
自車位置精度が悪い	タイヤチェーンの装着、本機の他車への載せ替えなどにより、車速パルスからの車速推定にずれ(進みや遅れ)が発生した。	しばらく(およそ30 km/hの速度で30分程度)走行すると自動的に調整されます。または、センサー学習結果の初期化を行ってください。	G-11
	GPS内蔵レーダー探知機を設置している。	本機やGPSアンテナから離れた位置にGPS内蔵レーダー探知機を設置するか、使用しないでください。	—

目的地/経由地/メニュー項目などが選択または設定できない

症　状	原　因	処　置	参考ページ
再探索時、経由地を探索しない	すでに経由地を通過した、または通過したと判断した。	通過した経由地を再度経由したい場合は、再度ルート設定を行ってください。	—
ルート情報が表示されない	ルート探索を行っていない。	目的地を設定し、ルート探索を行ってください。	D-3
	ルート案内が停止になっている。	ルート案内を開始してください。	D-12

＊1…道幅5.5 m未満の道路

目的地/経由地/メニュー項目などが選択または設定できない

症　状	原　因	処　置	参考ページ
ルート探索後、有料道路出入口付近を通っても、案内記号が表示されない	自車マークが探索されたルートを走行していない。（案内記号は、探索されたルート内容に関係があるマークのみを表示）	探索されたルート上を走行してください。	—
経由地が設定できない	すでに経由地を5箇所設定している。	経由地は6箇所以上設定することはできません。数回に分けて探索を行ってください。	—

音声案内関係

症　状	原　因	処　置	参考ページ
音声案内しない	探索されたルートを外れている。	探索されたルートに戻るか、再度ルート探索を行ってください。	D-3
	ルート案内が停止になっている。	ルート案内を開始してください。	D-12
	音声案内画面の 消音 をタッチして音声を出なくしている。	消音 をタッチして解除してください。	G-9
音声案内やハンズフリー時の音量が急に大きくなる	音量 ツマミを操作してしまっている。	音量 ツマミで、音量を調整しなおしてください。	K-3
実際の道路と案内が異なる	音声案内の内容は右左折する方向、他の道路との接続形態などにより異なった内容になる場合があります。	実際の交通ルールに従って走行してください。	—

ルート探索関係

症　状	原　因	処　置	参考ページ
探索されたルートが表示されない	目的地の近くに道路がない。	目的地を近くの道路まで位置修正してください。特に、上り下りで道路が別々に表示されているような場所では進行方向に注意のうえ、道路上に目的地や経由地を設定してください。	—
	出発地と目的地が近い。	故障ではありません。	—

ルート探索関係

症　状	原　因	処　置	参考ページ
遠回りな自動ルートを探索する	探索では、広い道路を優先して使用する場合があるため、遠回りなルートになることがあります。	故障ではありません。	—
	出発地、目的地付近の道路に規制がある(一方通行など)ときに遠回りのルートを出すことがあります。	出発地や目的地を少しずらして設定してください。 または、通りたいルートに経由地を設定してください。	—
	細街路*1を探索に使用するエリアでは、現在地および目的地(経由地)付近では左折を優先しているため、遠回りになることがあります。	故障ではありません。	—
	車の方向(矢印の向き)が目的地方向と逆のときは進行方向にそってルートを作成するため、遠回りのルートを作成することがあります。	故障ではありません。	—
ランドマークの表示が実際と異なる	地形データの不備や誤りにより起こることがあります。	地図ソフトが古い場合がありますので、お買い上げの販売会社にご相談ください。	—
出発地、経由地、目的地から離れたポイントにルートが引かれる	地図上の出発地、経由地、目的地付近に経路探索用のデータが入っていない。	近くの道路上に目的地を設定してください。ただし、近くの道路が細街路*1の場合、少し離れた一般道路からルートが引かれる場合があります。	—
意図したルートとは違うルートが引かれる	目的地の近くに探索可能な道路がない。	目的地と逆の車線に設定されたりし、正しいルートが作れないことがありますので、目的地は最詳細地図で車線などを確認して設定してください。	—
	目的地を建物の中心に設定している。		
	中央分離帯のある道路の反対側に目的地・経由地を設定している。	一方通行を考慮してルート探索するので大回りなルートを引く場合があります。最詳細地図で車線などを確認して設定してください。	—

VICS関係

症　状	原　因	処　置	参考ページ
VICS情報が表示されない	VICS情報を受信していない。	情報を受信していないときは、表示できません。情報を受信できるまでお待ちください。	—

＊1…道幅5.5 m未満の道路

CARWINGS関係

症　状	原　因	処　置	参考ページ
カーウイングス情報センターに接続されない	携帯電話が電話1（通信／通話）でBLUETOOTH接続されていない。	携帯電話を正しく接続してください。	G-14
	携帯電話の電波状態が悪い。圏外表示になっている。	故障ではありません。圏内表示になるとお使いいただけます。	—
	携帯電話の回線が混雑している。	しばらくしてからおかけなおしください。	—
	携帯電話にダイヤルロックがかかっている。	携帯電話のダイヤルロックを解除してください。	—
	携帯電話に発信規制が設定されている。	携帯電話の発信規制を解除してください。	—
	auの携帯電話の通信モードを「回線交換モード」のまま接続して使用している。	auの携帯電話をお使いの場合、機種によっては通信モードに「回線交換モード(ASYNC／FAX)」と「パケットモード」がありますが、「パケットモード」にしてご使用ください。	—
	カーウイングスの申し込みをしていない。	カーウイングスへの申し込みを行ってください。詳しくはカーウイングスお客さまセンター（電話：0120-981-523 受付時間9:00～17:00 ※年末年始除く）または、三菱自動車販売会社にお問い合わせください。	—
サービスご利用時、通常の音声電話（携帯電話など）に比べてサービスエリアが狭くなったり、つながりにくいことがある	カーウイングス情報センターとの通信にデータ通信モードを使用しているため、つながりにくい場合があります。	故障ではありません。 しばらくしてからおかけなおしください。	—
メニュー項目が一部選べない	走行中である。	車を安全な場所に停車してから、操作してください。	—
一部の画面が表示されない			
ダウンロード中の画面が表示される時間よりも、実際の通信時間の方が長い	携帯電話の機種によっては、携帯電話で実際に通信が開始・終了されるタイミングよりも、本機の画面表示や切り替わるタイミングの方がやや速い。	故障ではありません。	—
オペレータと通話時、音声が途切れるまたはデータが到達するのが遅くなる	通信回線の状況、基地局の設置状況によって起こる場合があります。	故障ではありません。 しばらくしてからおかけなおしください。	—

CD

症　状	原　因	処　置	参考ページ
CDソースに切り替わらない	CDが挿入されていない。	CDを挿入してください。	A-20
● 再生しなかったり、大きな雑音が出たり、再生が途中で止まる **● 音が飛んだり音質が悪い**	CD、MP3／WMAのディスクに問題がある。	他のCD、MP3／WMAを聞いてみてください。よくなれば、CD、MP3／WMAのディスク自体に問題のある可能性があります。	—
	ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。	ディスクのクリーニング(やわらかい布などでディスクの汚れを拭き取るなど)をしてみてください。 また、キズのあるディスクは使用しないでください。	—
	ディスクにラベルが貼ってある。	ラベルがはがれているとこすれたり、ラベルがはがれ製品内部につまってしまうおそれがあります。ラベルがはがれてないか確認してください。はがれているディスクは挿入しないでください。	—
	CD-R／RWの特性は書き込みソフト／ハードの組み合わせや書き込み速度に左右されます。書き込みの深さ、幅(面積)などの規格が合わないと音切れや音飛びをしたり、再生できない場合があります。	書き込み速度を遅くすると、安定して焼けますので一番遅い速度での書き込みをお試しください。	—
CDが入らない	結露している。	CDを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。	—
	すでにCDが入っていて2枚目を入れようとしている。	入っているCDを取り出してから、次のCDを入れてください。	—
CD-RやCD-RWを再生できない	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。	—
ディスクを取り出したときディスクが熱い	● 本体を長時間使用していた。 ● ディスクを長時間再生していた。	長時間使用すると本体内部の温度が上がり、ディスク自体が熱くなることがあります。本体のディスク読み取り性能およびディスクへの影響はございませんので気をつけて取り出してください。	—

CD

症　状	原　因	処　置	参考ページ
MP3／WMAファイルを再生できない	CD-DAデータとMP3／WMAファイルが混在しているディスクを再生しようとした。	CD-DAデータとMP3／WMAファイルが混在している場合、MP3／WMAファイルは再生できません。	—
	MP3ファイルに「.mp3」、WMAファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」、WMAファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。	—
	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。	—
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたMP3／WMAファイルにしてください。	P-41
再生が始まるまでに時間がかかるまたは止まる	MP3／WMAディスクを再生する場合、ディスクに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。	—
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする	ファイルの形式と拡張子があっていない。	ディスクを交換してください。(MP3形式でないファイルに「.mp3」、WMA形式でないファイルに「.wma」の拡張子を付けたCD-R、CD-RWを再生しないでください。)	—
聞きたいMP3／WMAファイルが見つからない	MP3ファイルに「.mp3」、WMAファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」、WMAファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。	—
フォルダ名やファイル名が正しく表示されない	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。	—
ファイル再生が記録した順と異なる	MP3／WMAファイルの再生順序は、ディスク書き込み時にライティングソフトがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダ名、ファイル名のはじめに数字(01、02など)を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。ライティングソフトウェアの説明書でご確認ください。	—

SD／WALKMAN®／USB

症　状	原　因	処　置	参考ページ
SD、WALKMAN®／USBがタッチできない	SDカード未挿入／USB機器未接続である。	SDカードを挿入またはUSB機器を接続してください。	A-20、K-20
MP3／WMA／AACファイルを再生できない	対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたMP3／WMA／AACファイルにしてください。	P-39
	AACファイルに画像データ（iTunesのアートワークを除く）、映像データが混在しているSDカードまたはUSB機器を再生しようとした。	AACファイルに画像データ（iTunesのアートワークを除く）、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合、AACファイルは再生できません。	—
	著作権保護された音楽データで記録されている。	著作権保護された音楽ファイル（SD-Audio規格など）は再生できません。対応しているファイル形式で記録されたMP3／WMA／AACファイルを再生してください。	—
	SD-Audioで録音された音楽を再生しようとした。		
	UNICODEなど本機に対応していない文字コードでフォルダ名／ファイル名が付けられている。	本機に対応した文字コードでフォルダ名／ファイル名を付けてください。	P-39
再生が始まるまでに時間がかかる	SDカードまたはUSB機器に記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA／AAC／OMA以外のデータや不要なフォルダは書き込まないようにしてください。	—
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする	ファイルの形式と拡張子があっていない。	MP3形式でないファイルに「.mp3」、WMA形式でないファイルに「.wma」、AAC形式でないファイルに「.m4a」の拡張子を付けたファイルは再生しないでください。	—
ウォークマン®でMP3／WMA／AACファイルが再生できない	ドラッグ＆ドロップ転送またはMedia Goで転送を行っている。ドラッグ＆ドロップ転送またはMedia Goで転送した曲は、全曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／グループ／プレイリストの絞込み選曲を行えません。	ドラッグ＆ドロップ転送またはMedia Goで転送した曲は、選曲モードのフォルダから選曲することで再生することができます。	—
		x-アプリまたはSonicStageを使用することで、MP3／WMA／AACをATRAC AD規格で転送することができます。x-アプリまたはSonicStageのアプリケーションを使用して転送した曲は、全曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／グループ／プレイリストの絞込み選曲を行えます。	—

SD／WALKMAN®／USB

症　状	原　因	処　置	参考ページ
USB機器を認識していない	対応しないUSB機器の可能性があります。	別のUSB機器で試してください。	—
		本機で対応しているウォークマン®か確認してください。	P-34
	USB接続ケーブルが正しく接続されていない。	正しく接続してください。	K-20
再生が始まらない	SDカードを本機で初期化（フォーマット）していない。	SDカードを本機で初期化（フォーマット）してからファイルを入れてください。	G-11
	SDカード未挿入／USB機器未接続である。	SDカードを挿入またはUSB機器を接続してください。	A-20、K-20
	本機で再生できないSDカード／USB機器を使用している。	再生可能なSDカード／USB機器を使用してください。	P-31、P-32
		対応しているファイル形式で記録されたファイルにしてください。	P-39
	結露している。	SDカードを取り出して電源を切った状態でしばらく放置してから使用してください。	—
SDカードを初期化できない	誤消去防止スイッチを「LOCK」方向にしている。	「LOCK」を解除してください。	—
ジャケット写真が表示できない	MP3／WMA／AACファイルにジャケット写真が登録されていない。	iTunes＊1、Windows Media Playerなどのアプリケーションを使用して、パソコンでジャケット写真を登録してください。	—
		アプリケーションが自動で取得したジャケット写真（アートワーク）は音楽ファイルに自動で付加されない場合があります。そのような場合は、手動でジャケット写真を登録してください。	—
	登録する画像が対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたJPEGファイルを使用してください。	P-40
	登録されているジャケット写真の画像サイズが大きい。	MP3／WMA／AACファイルに登録されているジャケット写真の画像サイズが大きいと表示できない場合があります。小さい画像サイズのジャケット写真を登録してください。	—
	1つの音楽ファイルに複数のジャケット写真が登録されている。	1つの音楽ファイルには、1つの画像のみ登録してください。	—

＊1…アップル社が開発および配布している動画および音楽再生・管理ソフト

SD／WALKMAN®／USB

症　状	原　因	処　置	参考ページ
ジャケット写真が小さく表示される	登録に使用する画像の解像度が小さいと、ジャケット写真表示領域より小さく表示される場合があります。	176×176ピクセル以上、1024×1024ピクセル以下の画像サイズを推奨します。	—
MP3／WMA／AAC再生時にエラーメッセージが表示される	Macで作成したファイルをSDカード／USBメモリーで再生している。	Macでファイルを作成すると、作成したファイルと一緒に隠しファイルが作成されます。そのファイルを一緒にフォルダの中にコピーしていると再生時にエラーが発生します。使用するSDカード／USBメモリーから隠しファイルを削除してください。	—
音楽ファイル再生中に音飛びが発生する	登録されているジャケット写真の画像サイズが大きい。	MP3／WMA／AACファイルに登録されているジャケット写真の画像サイズが大きいと音飛びが発生する場合があります。 小さい画像サイズのジャケット写真を登録してください。	—
ファイル再生が記録したい順と異なる	SD／USB機器書き込み時(コピー時)にパソコンがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性がある。	SD／USB機器へ書き込む際、パソコン上で期待する順に並んでいるのを確認し、フォルダごとまとめて書き込む(コピーする)ことで並び順を正しく表示できる場合があります。	—

iPod／iPhone

症　状	原　因	処　置	参考ページ
正常に動作しない	接続不良である。	本機とiPodの接続を確認してください。iPodが正常に動作しない場合はiPodをリセットしてください。	K-15
	再生可能なデータがない。	再生可能なデータをiPod本体に転送してください。	—
	iPodのソフトウェアバージョンが古い。	iPodのソフトウェアを本機で対応しているバージョンにしてください。	P-35
	突然、iPodと通信ができなくなった。	iPodを再起動してください。	—
ビデオ再生ができない	iPodがビデオ再生に対応していない。	Lightningケーブルで接続するiPod／iPhoneは、本機ではビデオ再生できません。	P-35
	iPodのソフトウェアバージョンが古い。	iPodのソフトウェアを本機で対応しているバージョンにしてください。	P-35
	別売のiPod用接続ケーブルで接続されていない。	ビデオ再生するには、別売のiPod用接続ケーブルで接続してください。	K-15
iPodを接続しているのに画面にiPodの接続をうながすメッセージが表示される	iPodビデオ認証中に車のキースイッチを変更した。	オーディオをOFFにし、iPodを接続しなおして再度オーディオをONにしてください。	—
選べないビデオがある	アーティスト名、アルバム名などのタイトル情報を登録していない。	本機でビデオを再生させるにはタイトル情報を登録してください。	—
車のキースイッチを「OFF」にするとiPod抜き忘れを知らせる音声が流れる	iPod用接続ケーブルにiPod本体を接続したままキースイッチを「OFF」にした。	故障ではありません。音声は設定によりやめることができます。	G-5

ハンズフリー

症　状	原　因	処　置	参考ページ
ビルの谷間などで音声が乱れる	電波がビルなどにより乱反射したり電波がさえぎられている。	妨害電波を受けない場所に移動してください。	—
鉄道の高架下や高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで雑音が入る	それぞれが出す雑音電波が電波に混入した。		
オーディオの音声にブーンというノイズが入る	携帯電話からの電波が混入した。		
発信できない	電波が届きにくい場所にいる。	妨害電波を受けない場所に移動してください。	—
	“通話中の着信拒否” **する** に設定され、もう一方の端末が通話中である。	“通話中の着信拒否” **しない** に設定してください。	N-6
		もう一方の端末の通話が終わってから発信してください。	—
音が出ない。 ● 相手の声が聞こえない ● 着信音が聞こえない	音量が最小になっている。	着信音量、受話音量を調整してください。	N-6
	携帯電話が本機より離れすぎている。	携帯電話を本機に近づけてください。	—
		携帯電話の電波状態を確認してください。	—
通話後、オーディオの音声が聞こえない	音を消している。（[☆]（オプション）を **消音** に設定している場合）	[☆]を押して消音を解除してください。	G-12
着信時に応答できない	携帯電話側が応答保留（着信保留）に対応していない。	着信保留を行うためには、携帯電話側が着信保留に対応している必要があります。	—
	“通話中の着信拒否” **する** に設定され、もう一方の端末が通話中である。	“通話中の着信拒否” **しない** に設定してください。	N-6
携帯電話と接続できない	BLUETOOTHで携帯電話と通信できない状態になっている。	携帯電話の電源を入れなおすか、車のキースイッチを「OFF」→「ON」にしてください。	—
	BLUETOOTH対応の携帯電話を使用していない。	BLUETOOTH対応の携帯電話を使用していないと接続できません。	—
	他のBLUETOOTH機能が動作中になっている。	他のBLUETOOTH機器の動作が終わってから接続をしてください。	—

ハンズフリー

症　状	原　因	処　置	参考ページ
携帯電話と接続できない	“通話中の着信拒否” **する** に設定され、もう一方の端末が通話中である。	“通話中の着信拒否” **しない** に設定してください。	N-6
		もう一方の端末の通話が終わってから発信してください。	—
	携帯電話によっては、“NaviCon”に接続設定しているとBLUETOOTH接続できない場合があります。	“NaviCon”の接続設定を解除してください。	G-14

FM／AM

症　状	原　因	処　置	参考ページ
ラジオの自動選局ができない	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。	K-7
ラジオの入りが悪い	エアコンやワイパー動作に連動したノイズが発生している。	車両側の電装品が動くとノイズが入る場合があります。電装品の動作を止めてください。	—
	本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。	—

TV

症　状	原　因	処　置	参考ページ
文字スーパーが出ない	● 文字スーパーのある番組を選局していない。 ● 文字スーパー表示設定で **しない** にしている。 ● 受信モードがワンセグである。	文字スーパー表示設定で言語を選んでください。また、ワンセグの場合文字スーパーは表示されません。	L-8
字幕が出ない	字幕のある番組を選局していない。	字幕のある番組を選局してください。	―
	字幕表示の設定がされていない。	字幕表示を設定してください。	L-8
受信できない	エリアを変更していない。	視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をしてください。	L-6
映像が止まったりモザイクがかかる	電波が弱い場所で受信している。	12セグ／ワンセグを自動切替する設定にしておくと受信状態が悪くなった場合でも自動的にワンセグへ切り替わるため映像が止まりにくくなります。 ※自動切替に設定しても、放送局によってワンセグ放送を行っていない場合があるため、映像が映らない場合があります。	L-5
データ放送や番組表が表示されるまでに時間がかかる	データ取得中のためです。	多少時間がかかることがあります。しばらくお待ちください。	―
本機に設定した内容、プリセット登録などが消失している	● 初期化を行った ● 本機の使用を誤った ● ノイズの影響を受けた ● 修理を依頼した などにより本機に設定した内容が消失する場合があります。	消失したデータについては補償できません。	―

こんなメッセージが表示されたら

ナビゲーション

メッセージ表示	メッセージが出るとき	処　置	参考ページ
“受信局が変化しました。情報を受信中です。”（FM多重）	FM多重のVICS情報（レベル1／レベル2）表示中に受信周波数が変わり、その後、FM多重の情報を受信したが、表示可能な情報ではない。	表示可能な情報が受信できるまでは、“受信局が変化しました。情報を受信中です。”が表示されたままとなります。しばらく待っても表示が変わらない場合は、放送エリア外にある、または、エリア内にあるが電波状況が悪く、受信できない可能性があります。放送エリア内、または電波の良いところへ移動してください。	—
“情報の受信中です。”（FM多重）	FM多重の表示しようとしている情報が受信できていない。（受信感度は良い）	受信できるまでしばらくお待ちください。	—
“サーチ中は登録できません。”（FM多重）	放送局のサーチ中に、 **未設定** を長押しした。	サーチが完了して周波数が表示された後、左記の操作をしてください。表示されている周波数が保存されます。	—
“放送局は登録されていません。”（FM多重）	放送局を1つもプリセットしていないときに、 **未設定** をタッチした。	あらかじめ、放送局をプリセットしておかないと、この機能は働きません。放送局をプリセットしてください。	F-6
“情報を受信していません。”（FM多重）	受信エリア外にいる。	受信エリア外では、受信できません。受信エリア内に移動してください。	—
	受信エリア内にいるが、電波状況が悪く、受信できない。	場所を移動してみてください。	—
	放送局のサーチ中に **文字情報** ／ **図形情報** をタッチした。	サーチが完了して周波数が表示された後、左記の操作をしてください。	—
	VICS放送局でない放送局（周波数）を受信している。	全てのFM放送局が交通情報を放送しているわけではありません。交通情報を放送している放送局を受信してください。	F-5
“SDカード再生中は操作できません。再生を停止しますか？”	SDソースを使用している。	SDソースを終了してください。	—

オーディオ

メッセージ表示	メッセージが出るとき	処　置	参考ページ
“走行中は映りません”	走行中に映像(動画)を見ようとした。	安全のため、停車しないと、映像(動画)を見ることはできません。 安全な場所に車を停車させてから、各操作をしなおしてください。	—
“再生可能なディスクを入れてください。”	本機で再生できないディスクを入れている。	本機で再生できるディスクを入れてください。	—
	CDが逆にセットされている。	ディスクを正しくセットしてください。	—
	ディスクに汚れ／異常がある。	● ディスクの汚れを拭き取ってください。 ● 別のディスクを入れてみてください。表示が消えれば、前のディスクに異常がある可能性があります。	—
	音楽用ディスク以外のディスクがセットされている。	正しいディスクをセットしてください。	—
“しばらくお待ちください。”	ディスクを読込中に表示されます。	表示が消えるまでしばらくお待ちください。	—
“iPodと通信できません。iPodを接続しなおしてください。”	iPodと通信できない、またはiPodと認証できない。	iPodを本機から一度取り外し、再接続してください。	—
“使用できないSDカードが挿入されています”	対応していないSDカードが挿入されている。	別のSDカードで試してください。	—
	SDカードを正しくフォーマットしていない。	本機でSDカードの初期化を行ってください。	G-11
	本機がSDカードを正しく認識できない。	SDカードを本機から一度取り出し、再度挿入してください。	—
“対応していない機器が接続されています”	対応していないUSB機器が接続されている。	別のウォークマン®／USBメモリーで試してください。	—
“ビデオモードに対応していません”	ビデオモードに対応していないiPodを接続している。	ビデオモードに対応していないのでiPodでビデオの再生はできません。	—
“パスキーが一致していません。再度登録操作を行ってください。”	入力したパスキーが本機に設定されているパスキーと異なる。	本機に設定されているパスキーを確認のうえ、正しいパスキーを入力してください。	—
“登録できませんでした。”	他のBLUETOOTH機器からの登録が行われている。	ハンズフリーの登録を行う際には、誤登録を防ぐために周囲の他のBLUETOOTH機器の電源はお切りください。	—

テレビ

メッセージ表示	メッセージが出るとき	処　置	参考ページ
“放送チャンネルではないため、視聴できません。”〔E200〕	非放送サービスを受信したとき。	視聴できるチャンネルを選んでください。	—
“信号が受信できません。中継局を探しますか？”〔E202〕	放送エリア外にいる。	放送エリア外では受信できません。放送エリア内に移動してください。	—
	地形や周囲の構造物などの影響で受信状態が悪い。	受信できる場所に移動してください。	—
	アンテナの故障が考えられる。	停車時に受信レベル確認画面でレベル数値が40以上あるか確認してください。レベル数値が低い場合、アンテナの故障や正しく取り付けられていないことが考えられます。正しく取り付けられているか確認してください。	L-9
	車の走行速度が速い。	法定速度内でも受信できない場合があります。スピードを落としてください。	—
	パソコンや携帯電話などを使用している。	車内で使用している電子機器、無線利用の機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。また、違法無線局などの影響を受ける場合があります。	—
	放送エリア内にいるが、受信できない。	一般社団法人 デジタル放送推進協会(Dpa)で公表されている放送エリアの目安は固定受信機を想定しているため、本機では放送エリア内でも受信できない場合があります。受信できる場所に移動してください。	—
“現在、放送されていません。”〔E203〕	放送休止中のとき。 (PAT／PMTが取得できず)	視聴できるチャンネルを選んでください。	L-2
“データが受信できません。”〔E400〕	データ放送のBMLドキュメントが取得できないとき。		
“この受信機ではデータを表示できません。”〔E401〕	データ放送のBMLエンジンが、取得したBMLドキュメントのバージョンをサポートしていないとき。		
“データの表示に失敗しました。”〔E402〕	データ放送のコンテンツを表示中に、実行エラーがおこったとき。	再度やりなおしてください。	L-3

P

必要なとき

GPS衛星の電波受信と測位 …… P-2
GPS(Global Positioning System)について … P-2
受信しにくい場所について … P-2
受信するまでの時間について … P-2
自律航法とマップマッチング …… P-3
現在地の誤差について … P-3
自律航法とマップマッチングについて … P-3
センサー学習について … P-3
音声案内について …… P-4
音声はそのままで、画面を消す …… P-6
ルート案内時の注意点 …… P-7
出発地・経由地・目的地の設定について …… P-9
VICSについて …… P-10
地図ソフトについて …… P-14
市街地図の収録エリア …… P-18
地図に表示される記号 …… P-24
表示できる施設 …… P-25
映像の調整のしかた …… P-27
画質を調整する … P-27
画面サイズを選ぶ … P-28
オーディオ／テレビ／ラジオについて …… P-29
ディスク／SDカードについて …… P-30
再生できるディスク … P-30
ディスクの取り扱いについて … P-31
SDカードについて … P-31
SDカードの取り扱いについて … P-32
USB機器について …… P-32
ウォークマン®について …… P-33
対応可能なウォークマン® … P-34
iPod／iPhoneについて …… P-35
対応可能なiPod／iPhone … P-35
使用上のお願い … P-35
ハンズフリーについて …… P-36
使用上のお願い … P-36
ステアリングオーディオリモコンスイッチについて …… P-38
音楽ファイルについて …… P-39
仕様 …… P-43
初期設定一覧 …… P-44
ナビゲーション … P-44
オーディオ … P-46
別売品(システムアップ)について …… P-47
商標など …… P-48
個人情報の取り扱いについて …… P-50
保証とアフターサービス …… P-50
さくいん …… P-51

GPS衛星の電波受信と測位

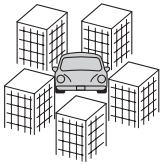
GPS(Global Positioning System)について

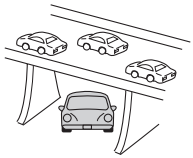
地球の廻り高度約21,000 kmにGPS衛星が米国国防総省によって打ち上げられています。これは主として軍事利用のためですが、民間にもその利用が開放されており、このGPS衛星から送信された電波を利用して、現在地(緯度、経度、高度)を知ることができるシステムです。
※本機では高度は表示しません。

受信しにくい場所について

GPS衛星の電波は、付属のGPSアンテナで受信します。
GPSアンテナとGPS衛星との間に障害物があると、電波が受信しにくくなり、現在地の測位ができません。
受信に適した場所は、屋外の電波をさえぎる障害物のない見晴らしの良い場所です。受信しにくい場所は以下のようなところです。

- トンネルの中
- 高層ビルに囲まれたところ
- 樹木の密集したところ
- 高速道路の下など





※同じ場所でも、次のような理由で受信数が変動します。
- GPS衛星は地球の周りを移動する周回衛星であり、時間によって位置が変わるため。
- GPS衛星の受信は、GPS衛星の周波数に近似した他の電波の影響を受けるため。
- 車内でご使用の電子機器(アマチュア無線機、レーダー探知機、ドライブレコーダー、ETC、本機以外のナビゲーションシステムなど)の妨害、または一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムなどにより電波がさえぎられ受信感度が悪化したり受信しなくなることがあるため。

受信するまでの時間について

本機を取り付け後または車のバッテリーなど交換後、初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、現在地を表示するまでに15分～20分程度かかることがあります。現在地を表示するまでは移動しないでください。通常は電源を入れてから数分で表示します。
GPS衛星から測位に使用できる電波を受信すると、方位ボタンの背景色が黄色になり、測位した現在地を表示します。

自律航法とマップマッチング

現在地の誤差について

GPSを使った測位では、約30 m～200 m程度の誤差があるため、実際の位置と地図に表示されている現在地の位置が一致しないことがあります。また、GPS衛星は米国国防総省によって管理されていますので、意図的に測定用電波のデータが変更されることがあり、このときは現在地表示の誤差も大きくなります。こうした誤差を補正するために、本機では、車速パルスとジャイロセンサーを利用した自律航法と、マップマッチング機能を備えています。

自律航法*1とマップマッチング*2について

自律航法とマップマッチングで、GPS衛星電波の誤差によって起こる実際の現在地と地図上の現在地とのズレを少なくします。また、GPS衛星電波が受信できなくなったときも、自律航法とマップマッチングで、自車マークの位置を補正します。

＊1…本機に内蔵のジャイロセンサーなどで車の移動方向を判断し、車から得た車速パルスから車の走った距離を算出することにより、現在地を割り出します。
＊2…測位した現在地が道路上にない場合に、地図ソフトに収録されている情報を利用して、自車マークを近くの道路上に表示させる機能です。

センサー学習について

本機はGPS衛星電波による測位のほか、ジャイロセンサーなどと車速パルスで正確な現在地を割り出すしくみになっています。
ナビゲーションは車に取り付けてから、実際の走行を重ねることでデータを蓄積し、次第に各種センサーの精度が向上していきます。
取り付けてしばらくの間は「センサー学習」が十分ではありませんので、実際の現在地からずれてしまう場合があります。

音声案内について

音声案内時の注意点

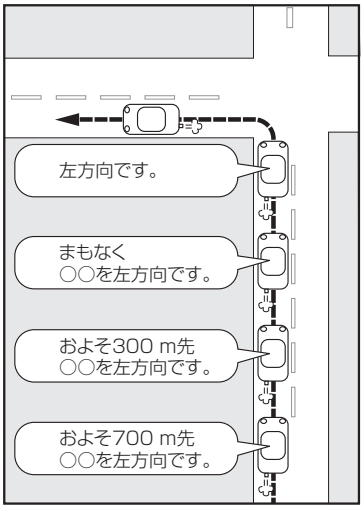
- 本システムの音声案内は、あくまでも補助的な機能ですので、実際に運転する際には、地図上のルート表示を確認のうえ、実際の交通規制に従って走行してください。
- 音声案内は、ルート上では方向が変わっていても、音声案内を行わない場合があります。
- 音声の内容は、曲がる方向や他の道路との接続形態などにより、異なった内容になることがあります。
- 音声案内のタイミングは、遅れたり早くなったりすることがあります。
- 音声案内は、設定されたルート上を走行し始めてから行われますので、案内が開始されるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 経由地に近づくと“まもなく経由地付近です”と音声案内が行われ、次のルート区間の案内に移ります。次の音声案内が行われるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 音声案内は、実際の道路と地図ソフトの道路データの違いにより、異なった案内になることがあります。
- 目的地に近づくと“目的地に到着しました。ルートガイドを終了します”と音声案内が行われ、音声案内(ルート案内)は終了します。

お知らせ

- 音声案内の音量を調整する場合は☞ G-9
- 音声案内を再度聞きたい場合や、次の分岐点の情報を聞きたい場合 現在地 を押すと、再度音声案内を聞くことができます。

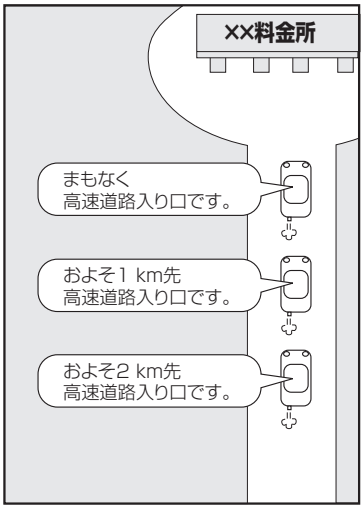
目的地までのルート案内時に、右左折する交差点などに近づくと自動的に音声で案内が流れます。

一般道の交差点*1

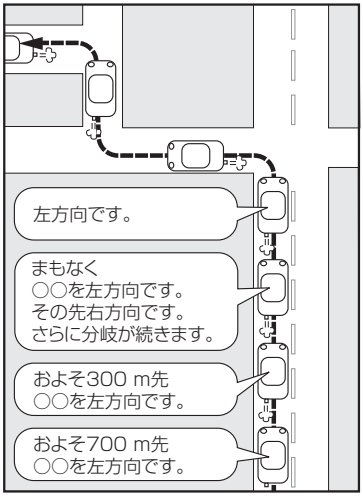


*1…交差点名がある場合は、交差点名を音声案内します。

高速道路入口

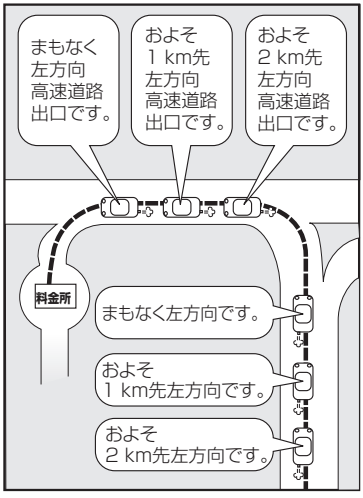


一般道の連続した交差点



※「さらに分岐が続きます。」は連続した交差点が三つ以上続く場合に案内します。

高速道路出口



音声はそのままで、画面を消す

画面を消して、音声のみ聞くことができます。

1 **メニュー を長押しする。**

：画面のバックライトが消えて、黒くなります。
再度画面を表示する場合は画面をタッチしてください。

お知らせ

リヤビューカメラが接続されている場合に車のシフトレバーをリバースに入れると、画面消し中でも、モニター映像に自動的に切り替わります。
※シフトレバーをリバース以外に入れると、画面を消す前に表示していたソースの画面をしばらく表示してから画面が消えます。

ルート案内時の注意点

■表示されるルートは最短ルートとならない場合があります。

■道路は日々変化しており、地図ソフト作成時期の関係から、形状、交通規制などが実際と異なる場合があります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。

■狭すぎて、自動車が通行できない細街路を案内することがあります。運転の際は現地の状況に従ってください。

■ルート探索中は、車両走行にともなう地図の移動が遅れることがあります。

■ルート探索終了後、探索されたルートが表示されるまでに時間がかかることがあります。

■目的地および経由地に到着してもルートが消えない場合があります。新しいルートを探索するか、ルート削除をしたときにルートは消えます。

■再探索をしたとき、通過したと判断した経由地に戻るルートは探索しません。

■ルート表示時に地図を移動させると、ルートの再表示に時間がかかることがあります。

■ 距離優先 に設定してルート探索をした場合、細い道路の通過や有料道路の乗り降りを繰り返すことがあります。

■ 距離優先 に設定してルート探索をした場合でも、安全のため通りやすい基本道路を優先するので、距離優先とならない場合があります。

■道路が近接している所では、正確に位置を設定してください。特に、上り、下りで道路が別々に表示されているような場所では、進行方向に注意して道路上に目的地や経由地を設定してください。

■経由地が設定されている場合は、各経由地間のルートをそれぞれ別々に探索していますので、以下のようになることがあります。

- どれか１箇所でもルートが探索できなかったときは、全ルートが表示されません。
- 経由地付近でルートがつながらないことがあります。
- 経由地付近でUターンするルートが表示されることがあります。
- 距離優先での探索でも、細街路(灰色：細線の道路)は、通行の安全上、最短ルートとならない場合があります。
- 細街路(灰色：細線の道路)は、それ以外の道路に出るルートおよび細街路に入るルートでは交通規制を考慮していないので、現地では十分確認のうえ、実際の交通規制に従って走行してください。

■以下のような場合、ルートが探索できないことがあります。

- 現在地と目的地が遠すぎる場合
  目的地をもう少し近づけてから再度ルート探索してください。
- 交通規制で目的地や経由地まで到達できない場合
- 極度に迂回したルートしかない場合

その他、条件によってはルート探索できない場合があります。

ルート案内時の注意点

■以下のようなルートを表示することがあります。

- ルート探索しても、自車マークの前または後からルートを表示することがあります。
- 目的地を設定しても、目的地の前または後にルートを表示することがあります。
- ルート探索しても、他の道路からのルートを表示することがあります。
  この場合は自車マークが現在地とずれている可能性がありますので、自車マークが正しい道路上に戻ってから、再度ルート探索を行ってください。
- 登録地、案内情報から呼び出した地点をそのまま目的地や経由地に設定すると、遠回りなルートを表示することがあります。修正する場合は、進行方向などに注意して設定してください。インターチェンジ(IC)やサービスエリア(SA)などのように上りと下りの道路が別々になっている場所では、特にご注意ください。
- **一般優先** に設定をしてルート探索させても、有料道路を通るルートを表示する場合があります。ルートを修正したいときは、一般道路上に経由地を設定して再度ルート探索を行ってください。
- 陸路のみで目的地に到着できるときや **探索条件** の設定で“フェリーを優先” **する** に設定していなくても、フェリー航路でのルートを表示する場合があります。ルートを修正したいときは、陸路に経由地を設定して再度ルート探索を行ってください。
- フェリー航路は、旅客のみ、二輪車のみの航路を除いた主なものがルート設定可能ですが、目安としてお考えいただき、実際の所要時間、運行状況などをご確認のうえ、利用してください。

■自車マークの現在地や進行方向は、以下のような走行条件などによってずれることがあります。故障ではありませんので、しばらく走行を続けると正常な表示に戻ります。

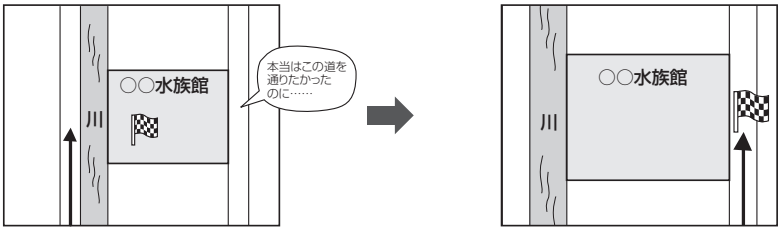
- 近くに似た形状の道路がある所の走行
- 地図画面に表示されない道路上の走行や新設された道路、改修などにより形状が変わった道路などの走行
- 車のキースイッチを「OFF」にしてターンテーブルなどで旋回したときまた、立体駐車場から出てきたとき
- 碁盤目状の道路の走行
- 旋回、切り返しを繰り返したとき
- S字の連続する道路の走行
- ループ橋などの走行
- 直線や緩やかなカーブの長距離走行
- 緩やかなY字路の走行

お知らせ

エンジンを始動してすぐ車を動かしたときも、自車マークの向きがずれることがあります。

出発地・経由地・目的地の設定について

- **目的地や経由地を地図から設定する場合は必ず縮尺スケールを最詳細にして設定してください。最詳細地図で設定しなかった場合、目的地と逆の車線に設定されたり、近くの別の道路に設定されたりなど、設定したい場所と異なる場所に設定される場合があります。**



目的地マークに一番近い道路であるため、川向こうのこの道路上の地点が、ルート探索の実際の目的地になります。

詳細地図で、水族館に面した道路上に設定してください。

- **駐車場情報がない場合、もしくは駐車場情報を選ばなかった場合は、目的地と違うルートを案内する場合があります。**

VICSについて

VICSの概要

VICSはVehicle Information and Communication System(道路交通情報通信システム)の略です。

〈概念〉

道路交通にかかわる様々な情報を、直接車載機にリアルタイムに提供することにより、ドライバーが適切なルートを選ぶことができ、その結果として、車の流れの分散、渋滞の緩和が促され、道路交通の安全性、円滑性が向上することを目的としています。

〈システム概要〉

このシステムは、(一財)道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)*1から、FM多重放送*2などを使ってリアルタイム*3に送られてくる道路交通情報(渋滞、事故、工事、所要時間、駐車場など)を、車載機で受信、表示するというものです。表示形態は文字情報表示(レベル1)、簡易図形表示(レベル2)、地図表示(レベル3)の3段階あります。

＊1 (一財)道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)は、警察庁、総務省、国土交通省を主務官庁とする公益の財団法人です。

＊2 FM多重放送では広域情報を提供します。

＊3 通信処理のため、5分程度の遅れはあります。

〈サービスエリア〉

東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、大阪府、愛知県、京都府、兵庫県、長野県、広島県、福岡県、宮城県、北海道(札幌地区、旭川地区、函館地区、釧路地区、北見地区)、静岡県、群馬県、岡山県、福島県、沖縄県、宮崎県、岐阜県、三重県、山口県、茨城県、和歌山県、滋賀県、奈良県、栃木県、山梨県、新潟県、石川県、熊本県、大分県、香川県、愛媛県、徳島県、高知県、佐賀県、長崎県、鹿児島県、福井県、富山県、山形県、秋田県、青森県、島根県、鳥取県、岩手県で展開されています。
(平成24年3月1日現在)

〈情報提供時間〉

FM多重放送は第1、第3日曜日の翌日の月曜日、午前1時～午前5時まで放送を休止する場合があります。

FM多重放送他、VICS情報の提供時間についてはVICSセンターにお問い合わせください。

※VICSの運用休止中は、情報が送信されていても、内容は保証されません。

〈情報の更新について〉

おおむね、5分間隔で更新されます。

〈FM文字多重放送の一般情報(番組)の道路交通情報とのちがいについて〉

一般情報の道路交通情報が30分ごとに手入力されるのに対して、VICSではリアルタイムに情報を提供しています。

〈VICSリンクデータベースの著作権について〉

VICSリンクデータベースの著作権は(一財)日本デジタル道路地図協会、(公財)日本交通管理技術協会が有しています。

- VICSリンク：各メディアを介して車両へ道路交通情報を提供する際、道路の統一的な表現手段として「VICSリンク」を定義しています。リンクは道路ネットワークを交差点、インターチェンジ、ジャンクション、分岐点、合流点等の適切な分割点(ノード)で分割し、その分割単位に付番したものであり、道路ネットワーク上の道路交通情報の表現が的確かつ効率的に行えます。
- VICSリンクデータベース：VICSリンクと(一財)日本デジタル道路地図協会が製作しているデジタル地図との対応テーブル。

〈VICSに関する問い合わせ先について〉

問い合わせの内容によって、下記のように問い合わせ先が異なります。

問い合わせ先 / 問い合わせ項目	お買い上げの販売会社	VICSセンター
VICSの概念、計画		○
レベル1の表示内容		○
レベル2の表示内容		○
レベル3の表示内容	○	
サービスエリア	○	
受信可否	○	
車載機の調子、機能、使い方	○	

※VICS関連商品、VICS情報の受信エリアや内容の概略、レベル3(地図)表示の内容に関することはお買い上げの販売会社へお問い合わせください。

※VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することはVICSセンターへお問い合わせください。(ただし、レベル3(地図)表示の表示内容は除く。)

VICSセンター

お問い合わせ窓口　サービス・サポート・センター

電話番号　0570-00-8831
※PHS、IP電話等からはご利用できません。
※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
※お電話のお問い合わせにつきましては、内容の正確な確認のため、録音させていただいております。

電話受付時間　平日9：30～17：45(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)
FAX番号　(03)3562-1719
FAX受付時間　24時間
URL　http://www.vics.or.jp/index1.html

〈使用上のご注意〉

- 提供された情報と実際の交通規制が異なる場合は、実際の交通規制に従ってください。
- 提供される情報はあくまでも参考情報です。
- 提供されるデータ等は最新情報でない場合があります。

VICS削除リンクに関する告知

VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)を地図上に表示するためあらかじめ本機に情報提供用の単位(以下、VICSリンクと称します)を設定しています。道路形状や交通施設の変化にともない、より正確な情報提供をするため、必要に応じ、毎年、VICSリンクの追加・変更が行われます。過去からのVICSリンクの情報を永続的に提供することは容量などの理由で不可能です。追加・変更が行われた場合、該当のVICSリンクについて3年間は情報提供が行われますが、それ以降は、情報提供が打ち切られることになっております。
このため、VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の表示は「本製品」発売後、3年程度で一部の道路において情報が表示されなくなることがあります。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章　総則

(約款の適用)
第1条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。)は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。)を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。
(約款の変更)
第2条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。
(用語の定義)
第3条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。
(1) VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
(2) VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
(3) 加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者
(4) VICSデスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)
第4条　VICSサービスには、次の種類があります。
(1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
(2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
(3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス
(VICSサービスの提供時間)
第5条　当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契 約

(契約の単位)
第6条　当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。
(サービスの提供区域)
第7条　VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）
第８条　VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。
（VICSサービスの種類の変更）
第９条　加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第４条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。
（契約上の地位の譲渡又は承継）
第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。
（加入者が行う契約の解除）
第11条　当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。
（1）加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
（2）加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき
（当センターが行う契約の解除）
第12条　当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。
２　第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料 金

（料金の支払い義務）
第13条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保 守

（当センターの保守管理責任）
第14条　当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。
（利用の中止）
第15条　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。
２　当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑 則

（利用に係る加入者の義務）
第16条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。
（免責）
第17条　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後３年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
２　VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、３年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

［別表］　視聴料金 300円（税抜き）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

地図ソフトについて

重　要　!!

本使用規定(「本規定」)は、お客様と株式会社ゼンリン(「(株)ゼンリン」)間の「本機」(「機器」)に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ(「本ソフト」)の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

使　用　規　定

1．(株)ゼンリンは、お客様に対し、機器の取扱説明書(「取説」)の定めに従い、本ソフトを本ソフトが格納されている機器で使用する権利を許諾します。

2．(株)ゼンリンは、本ソフトの媒体や取説にキズ・汚れまたは破損があったときは、お客様から本ソフト購入後90日以内にご通知いただいた場合に限り、(株)ゼンリンが定める時期、方法によりこれらがないものと交換するものとします。但し､本ソフトがメーカー等の第三者(「メーカー」)の製品・媒体に格納されている場合は、メーカーが別途定める保証条件によるものとします。

3．お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。

（1）必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。

（2）車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。

4．お客様は、以下の事項を承諾するものとします。

（1）本ソフトの著作権は、(株)ゼンリンまたは(株)ゼンリンに著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。

（2）本ソフトは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、本ソフトの内容・正確性について、(株)ゼンリンは何ら保証しないこと。従って、本ソフトを使用することで生じたお客様の直接または間接の損失および損害について、(株)ゼンリンは何ら保証しないこと。(本ソフトにおける情報の収録は、(株)ゼンリンの基準に準拠しております。また、道路等の現況は日々変化することから本ソフトの収録情報が実際と異なる場合があります。)但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。

（3）本規定に違反したことにより(株)ゼンリンに損害を与えた場合、その損害を賠償すること。

5．お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。

（1）本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。

（2）第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡･レンタル･リースその他方法の如何を問わず、本ソフト(形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。)の全部または一部を使用させること。

（3）本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。

（4）本ソフトに無断複製を禁止する技術的保護手段(コピープロテクション)が講じられている場合、これを除去・改変その他方法の如何を問わず回避すること。

（5）その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

安全上のご注意(交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください)

⚠ 警告

運転者は、走行中に操作をしないでください。
運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

操作は、安全な場所に車を停止させてからおこなってください。
安全な場所以外では追突、衝突されるおそれがあります。

運転中は、画面を注視しないでください。
運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。
本機に収録されている地図データ、交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があり、交通規制に反する場合や、通行できない経路を探索する可能性があるため、交通事故を招くおそれがあります。

一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。
一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。

本機を救急施設などへの誘導用に使用しないでください。
本機にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

【収録情報について】

- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図を使用しています。(承認番号 平23情使、第192-B86号)
- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。(承認番号 国地企調発第78号 平成16年4月23日)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用しています。(承認番号 平23情使、第768-050号)
- この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しています。(測量法第44条に基づく成果使用承認13-061)
- 本ソフトに使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を利用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。

地図ソフトについて

- 本ソフトを無断で複写・複製・加工・改変することはできません。
- 本ソフトに使用している電話番号検索はタウンページ2013年11月のものを使用しています。
- VICS® は一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
- “ゼンリン”および“ZENRIN”は株式会社ゼンリンの登録商標です。
- 本ソフトで表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。
- 道路データは、高速、有料道路についてはおおむね2013年12月、国道、都道府県道についてはおおむね2013年10月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。
  - ◆3D交差点……ルート案内時、東・名・阪の主要交差点をリアルデザインで案内します。
    ※全ての交差点において収録されているわけではありません。
  - ◆ジャンクションビュー…ルート案内時、自動的に高速道路・首都高速道路・都市高速道路のジャンクションをリアルデザインで案内します。
    ※全ての交差点において収録されているわけではありません。
  - ◆方面看板……ルート案内時、国道をはじめとした一般道の行き先案内を表示します。
    （全国の主要交差点）
    ※全ての交差点において収録されているわけではありません。
- 細街路規制データは、おおむね2013年7月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される規制データが現場の状況と異なる場合があります。
- 経路探索は、2万5千分の1地形図（国土地理院発行）の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難なときがあります。現場の状況を優先して運転してください。
- 交通規制は、普通自動車に適用されるもののみです。また、時間・曜日指定の一方通行が正確に反映されない場合もありますので、必ず実際の交通規制に従って運転してください。
- 「市街地図」データは（株）ゼンリン発行の住宅地図に基づき作成しております。なお、当該「市街地図」は地域により作成時期が異なるため、一部整合が取れていない地域があります。また、「市街地図」には、データの整備状況により一部収録されていない地域があります。
- 電話番号検索データはタウンページ（2013年11月発行）をもとに作成しています。タウンページは、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。
- 2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、東北・関東地方の被災地域においては、表示される地図が現地の状況と異なる場合があります。最新の情報は、行政機関などで公開されている情報をご確認ください。
- 本ソフトに使用している渋滞統計情報は、過去の統計情報を基にした渋滞情報表示となります。
  （予測データ提供元：NTTデータ　予測の元となる情報：JARTIC／VICSセンター）
  なお、ご使用のカーナビゲーション機器によっては、渋滞統計情報が表示されない場合があります。
- VICSリンクデータベースの著作権は、（一財）日本デジタル道路地図協会、（公財）日本交通管理技術協会に帰属しております。なお、本ソフトは、全国47都道府県のVICSレベル3対応データを収録しております。VICSによる道路交通情報（渋滞や混雑の矢印など）の地図上への表示は毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。
  ※本ソフトの収録エリアには2014年5月時点でVICSサービスが開始されていないエリアも含まれております。VICSサービスの開始時期については（一財）道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

VICS に関するお問い合わせ

（一財）道路交通情報通信システムセンター　サービスサポートセンター
電話番号：0570-00-8831
電話受付時間：9：30～17：45（土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く）
※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
※PHS、IP電話等からはご利用できません。
FAX：03-3562-1719

【本ソフトの情報について】

本ソフトは、おおむね以下の年月までに収集された情報に基づいて作成されております。

■道路：2013年12月（高速・有料道路）／2013年10月（国道・都道府県道）
■交通規制※1：2013年11月　■住所検索　：2013年11月　■電話番号検索：2013年11月
■郵便番号検索　：2013年11月　■ジャンル検索：2013年10月
■高速・有料道路料金※2：2013年12月　■市街地図　：2013年7月

※1：交通規制は普通自動車に適用されるもののみです。
※2：料金表示は、ETCを利用した各種割引などは考慮していません。

【VICSレベル3対応データ収録エリア】全国47都道府県

※ただし、本ソフトの収録エリアには2014年5月時点でVICSサービスが開始されていないエリアも含まれております。VICSサービスの開始時期については（一財）道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

2014年5月発行　製作／株式会社ゼンリン
© 2013 一般財団法人日本デジタル道路地図協会
© 2013 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION
© 2013 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION
© ジオ技術研究所
© 2014 ZENRIN CO., LTD. All rights reserved.

地図に関するお問い合わせ先
株式会社ゼンリン　カスタマーサポートセンター
フリーダイヤル 0120-210-616
受付時間 9:30～17:30　月～土（祝日・弊社指定休日は除く）
※携帯・PHSからもご利用いただけます。
※IP電話等の一部電話機では、ご利用いただけない場合がございます。

市街地図の収録エリア

2013年7月現在

北海道	**＜ほぼ全域を収録＞** 札幌市、室蘭市、江別市、北広島市 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 函館市、小樽市、旭川市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、恵庭市、石狩市、当別町、釧路町、岩見沢市、網走市、留萌市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、江差町、斜里町、伊達市、白老町、音更町、北斗市、池田町、洞爺湖町、新ひだか町、清水町、芽室町、幕別町、七飯町、八雲町、岩内町、余市町、奈井江町、鷹栖町、東神楽町、美瑛町
青森県	**＜ほぼ全域を収録＞** 三沢市、田舎館村 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、むつ市、藤崎町、大鰐町、東北町、つがる市、平川市、野辺地町
岩手県	**＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、陸前高田市、釜石市、二戸市、雫石町、岩手町、滝沢市、一関市、紫波町、矢巾町、大槌町、山田町、岩泉町、八幡平市、奥州市、金ヶ崎町、平泉町
宮城県	**＜ほぼ全域を収録＞** 多賀城市、仙台市、塩竈市、名取市、岩沼市、大河原町、松島町、七ヶ浜町、利府町、富谷町、色麻町、加美町、美里町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 石巻市、気仙沼市、白石市、角田市、山元町、登米市、栗原市、東松島市、大崎市、蔵王町、村田町、柴田町、亘理町、大和町、大衡村、涌谷町
秋田県	**＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、五城目町、井川町、由利本荘市、潟上市、大仙市、北秋田市、にかほ市、仙北市、八郎潟町
山形県	**＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、天童市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、中山町、河北町、高畠町、川西町、庄内町
福島県	**＜ほぼ全域を収録＞** 福島市、鏡石町、西郷村、矢吹町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、桑折町、国見町、本宮市、小野町、田村市、南相馬市、伊達市、川俣町、会津美里町、石川町、玉川村、三春町、広野町、檜葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町
茨城県	**＜ほぼ全域を収録＞** 水戸市、土浦市、取手市、ひたちなか市、五霞町、境町、守谷市、利根町、結城市、龍ケ崎市、下妻市、牛久市、つくば市、鹿嶋市、潮来市、茨城町、大洗町、東海村、鉾田市、神栖市、那珂市、筑西市、坂東市、常総市、つくばみらい市、小美玉市、河内町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 日立市、古河市、石岡市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、阿見町、常陸大宮市、稲敷市、かすみがうら市、桜川市、行方市、城里町、大子町、美浦村、八千代町
栃木県	**＜ほぼ全域を収録＞** 小山市、上三川町、壬生町、野木町、さくら市、下野市 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、真岡市、大田原市、矢板市、益子町、市貝町、芳賀町、那須町、那須塩原市、那須烏山市、茂木町、岩舟町

群馬県	**＜ほぼ全域を収録＞** 前橋市、伊勢崎市、太田市、榛東村、甘楽町、玉村町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町、館林市 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 高崎市、桐生市、吉岡町、中之条町、東吾妻町、嬬恋村、草津町、みなかみ町、沼田市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市、下仁田町、昭和村
埼玉県	**＜ほぼ全域を収録＞** 川越市、熊谷市、川口市、さいたま市、所沢市、飯能市、加須市、本庄市、春日部市、狭山市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、鶴ケ島市、吉川市、三芳町、毛呂山町、松伏町、行田市、秩父市、東松山市、羽生市、鴻巣市、坂戸市、幸手市、日高市、伊奈町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、横瀬町、皆野町、長瀞町、小鹿野町、東秩父村、美里町、神川町、上里町、寄居町、宮代町、白岡市、杉戸町、ふじみ野市、ときがわ町
千葉県	**＜ほぼ全域を収録＞** 千葉市、市川市、船橋市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、佐倉市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ヶ谷市、浦安市、四街道市、袖ケ浦市、八街市、印西市、白井市、銚子市、館山市、成田市、東金市、鴨川市、君津市、富津市、酒々井町、富里市、栄町、神崎町、多古町、東庄町、大網白里町、九十九里町、山武市、横芝光町、芝山町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、南房総市、匝瑳市、香取市、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町、鋸南町、いすみ市
東京都	**＜ほぼ全域を収録＞** 千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、西東京市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、瑞穂町、日の出町、あきる野市 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 檜原村、奥多摩町
神奈川県	**＜ほぼ全域を収録＞** 横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、開成町、愛川町、秦野市、座間市、松田町、箱根町、真鶴町、湯河原町、清川村 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 山北町
新潟県	**＜ほぼ全域を収録＞** 新潟市、燕市、聖籠町、見附市、田上町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 三条市、長岡市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、糸魚川市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、村上市、湯沢町、妙高市、南魚沼市、胎内市、弥彦村
富山県	**＜ほぼ全域を収録＞** 滑川市、砺波市、小矢部市、射水市、舟橋村 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 富山市、高岡市、魚津市、氷見市、黒部市、南砺市、上市町、立山町、入善町、朝日町
石川県	**＜ほぼ全域を収録＞** 内灘町、能美市、野々市市、川北町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、津幡町、かほく市、白山市、志賀町、宝達志水町、中能登町、能登町

福井県	＜ほぼ全域を収録＞ 鯖江市、美浜町、高浜町、敦賀市、小浜市 ＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞ 福井市、坂井市、大野市、勝山市、あわら市、越前市、永平寺町、越前町、おおい町
山梨県	＜ほぼ全域を収録＞ 富士吉田市、都留市、大月市、南アルプス市、昭和町、中央市、西桂町 ＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞ 甲府市、山梨市、韮崎市、北杜市、甲斐市、笛吹市、富士河口湖町、上野原市、甲州市、市川三郷町、身延町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士川町
長野県	＜ほぼ全域を収録＞ 岡谷市、諏訪市、飯山市、千曲市、下諏訪町、坂城町、小布施町 ＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞ 松本市、長野市、上田市、飯田市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、茅野市、塩尻市、佐久市、東御市、軽井沢町、御代田町、富士見町、辰野町、箕輪町、南箕輪村、松川町、高森町、阿智村、白馬村、山ノ内町、筑北村、安曇野市、原村、飯島町、中川村、宮田村、喬木村、豊丘村、山形村、池田町、松川村、高山村
岐阜県	＜ほぼ全域を収録＞ 岐阜市、多治見市、岐南町、関ヶ原町、神戸町、瑞浪市、羽島市、美濃加茂市、土岐市、各務原市、可児市、山県市、瑞穂市、笠松町、坂祝町、富加町、北方町、輪之内町、安八町 ＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞ 大垣市、高山市、関市、中津川市、美濃市、下呂市、恵那市、飛騨市、本巣市、郡上市、海津市、養老町、垂井町、揖斐川町、大野町、池田町、川辺町、八百津町、御嵩町
静岡県	＜ほぼ全域を収録＞ 浜松市＊、富士市、静岡市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、湖西市、東伊豆町、松崎町、函南町、清水町、長泉町、御前崎市、吉田町、菊川市、牧之原市 ＊印…浜松市北区は市街中心部、または一部地域を収録したエリアになります。 ＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞ 沼津市、島田市、伊豆市、河津町、西伊豆町、小山町、森町、伊豆の国市
愛知県	＜ほぼ全域を収録＞ 名古屋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、春日井市、津島市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、東郷町、長久手市、豊山町、清須市、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、弥富市、阿久比町、東浦町、南知多町、武豊町、幸田町、豊橋市、半田市、豊川市、常滑市、美浜町、愛西市、北名古屋市、みよし市、あま市 ＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞ 豊田市、新城市
三重県	＜ほぼ全域を収録＞ 津市、東員町、四日市市、伊勢市、鈴鹿市、名張市、鳥羽市、玉城町、度会町、志摩市、伊賀市、朝日町、川越町 ＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞ 松阪市、いなべ市、菰野町、桑名市、尾鷲市、亀山市、熊野市、木曽岬町、多気町、明和町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町
滋賀県	＜ほぼ全域を収録＞ 草津市、守山市、栗東市、湖南市、日野町、竜王町、東近江市、愛荘町、豊郷町、甲良町 ＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞ 近江八幡市、大津市、彦根市、長浜市、野洲市、甲賀市、米原市、高島市、多賀町

京都府	**＜ほぼ全域を収録＞** 城陽市、向日市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、木津川市、精華町、京都市、宇治市、亀岡市、長岡京市、南山城村、大山崎町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、宇治田原町、笠置町、和束町、京丹後市、南丹市、伊根町、与謝野町
大阪府	**＜ほぼ全域を収録＞** 大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、貝塚市、守口市、枚方市、茨木市、八尾市、泉佐野市、富田林市、寝屋川市、松原市、大東市、和泉市、箕面市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、田尻町、高槻市、河内長野市、泉南市、島本町、豊能町、能勢町、熊取町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 忠岡町
兵庫県	**＜ほぼ全域を収録＞** 尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、三木市、播磨町、太子町、神戸市、洲本市、相生市、加古川市、赤穂市、西脇市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、猪名川町、稲美町、淡路市、南あわじ市、たつの市、加東市 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 福崎町、上郡町、姫路市、豊岡市、篠山市、養父市、丹波市、宍粟市、朝来市、多可町、香美町、新温泉町、市川町、神河町
奈良県	**＜ほぼ全域を収録＞** 橿原市、生駒市、平群町、三郷町、斑鳩町、田原本町、明日香村、大和高田市、大和郡山市、天理市、五條市、御所市、香芝市、葛城市、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、安堵町、川西町、三宅町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 奈良市、桜井市、宇陀市、高取町、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村
和歌山県	**＜ほぼ全域を収録＞** 和歌山市、海南市、岩出市、橋本市、有田市、御坊市、紀の川市、太地町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** かつらぎ町、湯浅町、田辺市、新宮市、白浜町、那智勝浦町、有田川町、高野町、紀美野町、九度山町、広川町、美浜町、日高町、由良町、印南町、みなべ町、日高川町、上富田町、串本町
鳥取県	**＜ほぼ全域を収録＞** 米子市、倉吉市、境港市、三朝町、日吉津村 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 鳥取市、岩美町、八頭町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町、伯耆町
島根県	**＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、雲南市
岡山県	**＜ほぼ全域を収録＞** 岡山市、倉敷市、玉野市、備前市、早島町、勝央町、久米南町、笠岡市、井原市、総社市、和気町、里庄町、矢掛町、鏡野町、奈義町、西粟倉村、美作市、吉備中央町、瀬戸内市、赤磐市、美咲町、浅口市 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 津山市、高梁市、新見市、真庭市
広島県	**＜ほぼ全域を収録＞** 福山市、府中町、坂町、江田島市、広島市、竹原市、大竹市、廿日市市、海田町、熊野町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 呉市、尾道市、府中市、三原市、三次市、庄原市、東広島市、安芸高田市
山口県	**＜ほぼ全域を収録＞** 宇部市、防府市、下松市、山陽小野田市、周南市、和木町、平生町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 下関市、山口市、萩市、岩国市、光市、長門市、柳井市、美祢市、周防大島町、田布施町

市街地図の収録エリア

徳島県	**＜ほぼ全域を収録＞** 徳島市、鳴門市、小松島市、石井町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 阿南市、吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町
香川県	**＜ほぼ全域を収録＞** 坂出市、善通寺市、さぬき市、東かがわ市、土庄町、宇多津町、琴平町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 高松市、丸亀市、観音寺市、綾川町、まんのう町、多度津町、三豊市、小豆島町、三木町
愛媛県	**＜ほぼ全域を収録＞** 新居浜市、松前町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、砥部町、伊方町、 久万高原町、西予市、東温市、内子町
高知県	**＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、佐川町、梼原町、四万十市、 香南市、香美市、四万十町、黒潮町、いの町、越知町
福岡県	**＜ほぼ全域を収録＞** 糸島市、北九州市、福岡市、大牟田市、久留米市、中間市、小郡市、春日市、志免町、粕屋町、水巻町、 直方市、田川市、筑後市、大川市、行橋市、豊前市、筑紫野市、大野城市、太宰府市、古賀市、 那珂川町、宇美町、篠栗町、須恵町、新宮町、久山町、芦屋町、岡垣町、遠賀町、大刀洗町、苅田町、 吉富町、福津市、宮若市、鞍手町、大木町、みやま市、小竹町、糸田町、大任町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 宗像市、飯塚市、柳川市、八女市、うきは市、嘉麻市、朝倉市、築上町、桂川町、筑前町、広川町、 香春町、添田町、川崎町、赤村、福智町、みやこ町
佐賀県	**＜ほぼ全域を収録＞** 鳥栖市、基山町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 佐賀市、唐津市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、白石町、嬉野市、神埼市、吉野ヶ里町、 上峰町、みやき町
長崎県	**＜ほぼ全域を収録＞** 時津町、島原市、諫早市、平戸市、波佐見町、壱岐市、雲仙市、長与町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 佐世保市、長崎市、大村市、松浦市、五島市、対馬市、西海市、南島原市、東彼杵町、川棚町、佐々町
熊本県	**＜ほぼ全域を収録＞** 熊本市 *、荒尾市、水俣市、宇土市、菊陽町、合志市、益城町 ＊印…熊本市南区は市街中心部、または一部地域を収録したエリアになります。 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 玉名市、八代市、人吉市、山鹿市、菊池市、大津町、阿蘇市、南小国町、小国町、上天草市、宇城市、 高森町、天草市、玉東町、長洲町、御船町、嘉島町、甲佐町、氷川町、芦北町、津奈木町
大分県	**＜ほぼ全域を収録＞** 別府市 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 大分市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、 豊後大野市、由布市、九重町、玖珠町、国東市、日出町
宮崎県	**＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、三股町、高原町、 国富町、高鍋町、新富町、木城町、川南町、都農町、門川町

鹿児島県	＜ほぼ全域を収録＞ 垂水市 ＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞ 鹿児島市、鹿屋市、姶良市、枕崎市、いちき串木野市、阿久根市、出水市、伊佐市、指宿市、西之表市、薩摩川内市、日置市、曽於市、霧島市、南さつま市、志布志市、奄美市、南九州市、さつま町
沖縄県	＜ほぼ全域を収録＞ 那覇市、宜野湾市、浦添市、名護市、糸満市、沖縄市、本部町、北谷町、北中城村、中城村、西原町、豊見城市、与那原町、南風原町、うるま市、南城市、八重瀬町 ＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞ 読谷村、嘉手納町、石垣市、宮古島市

地図に表示される記号

地図表示記号(例)

- 都道府県庁舎(灰色)
- 市役所・特別区庁舎(灰色)
- 町村役場・政令指定都市区役所庁舎
- 官公署・市町村役場支所(出張所)
- 消防署(含む:分署・支署・出張所)
- 自衛隊
- 学校
- 病院
- 警察署・交番・駐在所
- 図書館
- 海水浴場・(湖水、池)水泳場
- デパート・スーパー・ショッピング施設
- スーパーマーケット・その他ショップ
- ホテル・旅館・宿泊施設
- 史跡・旧跡、観光名所
- 神社
- 寺院(仏閣、地蔵)
- 教会
- 城跡
- 美術館
- 博物館
- 郵便局
- 銀行
- 飛行場・空港
- 港
- フェリーターミナル
- ファミリーレストラン
- 山頂
- 工場
- 一方通行記号
- 交差点
- サービスエリア
- パーキングエリア
- インターチェンジ
- ジャンクション
- 料金所
- ランプ(出入口)
- ランプ(出口専用)
- 駐車場
- 運動施設
- サッカースタジアム
- 墓地
- 冬季通行止め
- その他目標施設
- JRA競馬場・ウィンズ
- ガソリンスタンド
- 展望タワー
- 動物園
- 植物園
- 水族館
- ゴルフ場
- 温泉
- スキー場
- 遊園地・テーマパーク
- テーマパークゲート
- キャンプ場
- スタジアム
- 公園
- マリーナ
- 盗難多発地点
- 冠水注意ポイント

道路の表示色

青色:高速道路、有料道路
赤色:国道
緑色:主要地方道、県道
灰色(太線):一般道
灰色(細線):細街路
青色(破線):フェリー航路

※灰色(破線)はルート探索できません。
※市街地図の場合、上記と異なる色で表示されます。
※計画道路
- 建設中などで、地図ソフト作成時点で未開通の道路は計画道路として表示されます。
- 市街地図では計画道路も実線表示している箇所がありますが、ルート探索の対象となりません。

お知らせ

道路色は“地図切り替え”で選んだボタンによって変わります。
上記の色は **道路メイン** を選んだときの色を記載しています。

立体アイコン(例)

東京タワー

新宿センタービル

神宮球場

松江城

日本武道館

横浜ランドマークタワー

東京都庁(第一庁舎)

通天閣

原爆ドーム

JR東京駅

表示できる施設

ジャンル	企業名・中分類
コンビニエンスストア	コンビニエンスストア
ガソリンスタンド	ガソリンスタンド
駐車場	駐車場
交通機関	駅
	高速・都市高速・有料道路施設
	道の駅
	フェリーターミナル
	港
	空港
	タクシー
遊ぶ	遊園地(テーマパーク)
	レジャー公園・牧場
	その他レジャー施設
	海洋・海浜公園
	サファリパーク
	海水浴場
	川くだり
	果物狩り
	遊覧船
	遊覧飛行機
	リフト・ロープウェイ
	釣り
	キャンプ場
	公営ギャンブル
	パチンコ
	麻雀
	ゲームセンター
	ビリヤード
	ボウリング場
	カラオケボックス
	マンガ喫茶
	インターネットカフェ
	アニメ・ゲームグッズ
	プラネタリウム
	クラブ・ライブハウス
	マリーナ
	待ち合わせ場所
	趣味・娯楽・教養
観る	動物園
	植物園
	水族館
	美術館
	博物館
	資料館
	文化施設
	ホール会館
	劇場

ジャンル	企業名・中分類
観る(続き)	映画館
	城・城跡
	史跡
	名所・観光地等
	イベント
	ビューポイント
	住宅展示場
泊まる	ホテル
	ビジネスホテル
	旅館
	ペンション
	公共の宿
	ファッションホテル
	カプセルホテル
	家族旅行村
	国民休暇村
	民宿
	その他宿泊施設
買う	カー用品
	ホームセンター
	ディスカウント
	スーパー
	デパート
	複合大型商業施設
	アウトレットモール
	家電
	本
	ファッション
	衣服・呉服・小物
	シューズ
	バッグ・コート・毛皮
	その他繊維製品
	スポーツ
	雑貨
	ドラッグストア
	100円ショップ
	その他日用品・雑貨・文具
	チケット売買・プレイガイド
	携帯電話ショップ
	リサイクルショップ
	おもちゃ屋
	子供用品・服
	酒屋
	食材
	パン・お菓子
	花屋
	園芸店
	家具店

ジャンル	企業名・中分類
買う(続き)	インテリア用品店
	メガネ・コンタクトレンズ
	釣具店
	アウトドア用品店
	CDレコード店
	中古CDレコード店
	レンタルビデオ・CD
	化粧品・装飾品・民工芸品
	オーディオ・パソコン・OA
	金物店・刃物店
	ガラス・陶磁器
	その他小売店
食べる	ファミリーレストラン
	ファストフード
	ラーメン
	うどん・そば
	日本料理
	中華
	イタリア料理
	寿司屋
	回転寿司
	フランス料理
	カレーハウス
	焼肉・ホルモン
	韓国料理
	お好み焼き
	とんかつ
	持ち帰り弁当
	喫茶
	酒場
	うなぎ料理店
	おでん屋
	海鮮料理店
	懐石料理
	割烹・料亭
	スパゲティ専門店
	ステーキハウス
	てんぷら料理店
	鳥料理店
	ピザハウス
	アイスクリーム
	その他和風飲食店
	その他洋風・中華飲食店
生活施設	郵便
	理容・美容
	クリーニング

表示できる施設

ジャンル	企業名・中分類
生活施設（続き）	温泉
	銭湯
	サウナ・健康センター
	クアハウス・スパ
	教養施設・福祉施設
	写真・写真館
	組合
	人材紹介・代行サービス
	録音スタジオ
	クレジット・質屋・買取
	宅配便・運輸
	リース・レンタル・修理
トイレ	トイレ
銀行	都市銀行
	地方銀行
	その他銀行
公共施設	役所
	警察署・交番
	消防署
	図書館
	裁判所
	税務署
	年金事務所
	保健所
	法務局
	運転免許試験場
学校・教育施設	大学
	高校
	中学校
	小学校
	短大
	高専
	中等教育学校
	幼稚園
	保育園
	特別支援学校
	自動車学校
	各種専門学校
	予備校
	その他学校・教育施設
病院	病院
冠婚葬祭	冠婚葬祭場
	結婚式場
	霊園・墓地
	造花・装飾・花環
スポーツ施設	ゴルフ
	スキー・スケート

ジャンル	企業名・中分類
スポーツ施設（続き）	マリンスポーツ
	野球場
	競技場
	プール
	モータースポーツ
	自転車
	テニスコート
	体育館
	武道館
	スポーツクラブ
	バッティングセンター
	公営スポーツ施設
	その他スポーツ施設
神社・仏閣・教会・巡礼	神社
	仏閣・寺
	教会
	全国著名巡礼名所
カーディーラー	三菱
自動車関連	自動車整備工場
	中古車販売
	レッカーサービス
	ロードサービス
	レンタカー
	オートバイ販売・部品・用品
	レンタルバイク
	その他自動車・自転車
エコステーション	エコステーション
その他ジャンル	大使館・領事館
	マスメディア
	旅行・観光業
	ペット
	製造・卸売業
	農園・果樹園

映像の調整のしかた

ナビゲーション画面やリヤビューカメラ画面で別々に調整することができます。
※選んでいるソースによって設定できる項目が異なります。走行中は調整できる項目が限られます。

画質を調整する

1 現在地 を長押しする。

2 画質調整 ➡調整したい項目を選んでタッチする。

※調整する画面によっては、 画質調整 のタッチは不要です。
※調整する画面によっては、調整項目が 明るさ ／ コントラスト のみになります。

3 ◀／▶ をタッチして値を調整する。

お知らせ

調整はタッチパネルの ◀ または ▶ をタッチし続けても調整できます。
タッチするのをやめると、その値で止まります。お好みの調整レベルでタッチするのを止めてください。

明るさ(1～31)調整	◀ をタッチすると暗くなり、 ▶ をタッチすると明るくなる。 **お知らせ** 車のライトをつけているとき(ON時)とライトを消しているとき(OFF時)とで、それぞれ、明るさをメモリーしています。ライトをつけている／ライトを消しているときの明るさを、それぞれ調整してください。
コントラスト(1～31)調整	◀ をタッチすると黒さが増し、 ▶ をタッチすると白さが増す。
色の濃さ(1～31)調整	◀ をタッチすると淡くなり、 ▶ をタッチすると濃くなる。
色合い(1～31)調整	◀ をタッチすると赤が強くなり、 ▶ をタッチすると緑が強くなる。

画面サイズを選ぶ

1 現在地 を長押しする。

2 画面サイズを選んでタッチする。

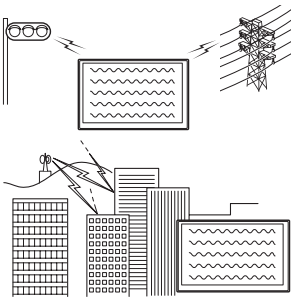
ノーマル	映像を4：3で表示 ※16：9の映像は横方向に圧縮されます。 ※両端は黒い帯で表示されます。
フル	16：9の映像を最適に表示 ※4：3の映像は画面全体が引き延ばされて表示されます。
ワイド	左右の端部が横方向に向けて引き延ばされて表示
シネマ	ノーマル表示が上下左右方向に引き延ばされて表示 ※映像は上下が切れて表示されます。

お知らせ

TVソースの場合はフル固定ですので、画面サイズは選べません。

オーディオ／テレビ／ラジオについて

- テレビの受信ついては、安全のため、走行中はナビゲーションのみ表示可能です。
（走行中はTV画面は映らず、音声のみとなります。）
- バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、メモリーしたチャンネルなどの設定も全て消去されます。
- ラジオやテレビの受信は受信場所によって、電波の強さが変わったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。



・電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くやラジオ放送、アマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入る場合があります。
・電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
・トンネルの中や放送局から遠いと電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
・一部の地域において、ラジオ、テレビなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。
・本機で受信する場合は、家庭で受信する場合に比べると受信可能なエリアが狭くなります。
・固定受信（ハイビジョン放送など）や携帯受信（ワンセグ）などの放送方式、放送局により、受信状態やエリアが変化します。

- 受信状態が弱い場合、パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコン、ファンなどの車両電装品を作動させると映像にブロックノイズが出たり、音が途切れたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 地上デジタルテレビ放送では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音が途切れたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など（パソコンや携帯電話など）を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像にブロックノイズが出たり、音が途切れたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなる場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 地域、天候により電波・受信状況が変わる場合があります。
- 障害物などの影響により放送エリアでも受信できない場合があります。
- 車の走行速度によっては音声が乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動きなどにより受信状態が悪くなり、映像・音声が乱れる場合があります。

ディスク／SDカードについて

再生できるディスク

CD-R ／ -RW

■CD-R、CD-RWについて
拡張フォーマットを除いたISO9660レベル1およびレベル2フォーマットに対応しています。

■8 cmディスクについて
本機では、8 cmディスクは再生できません。アダプターを使用しての再生もできません。

■次のような場合は再生できないことがあります。
・データが記録されていないディスク
・ディスクの記録状態／ディスク自体の状態が悪い場合
・データ書き込みに失敗し再度録音した場合
・記録に使用したレコーダ／ディスクと本機の相性が悪い場合
・「CDDA」または「オーディオCD」フォーマット以外のディスク
（ただしMP3／WMAは再生できます。）
※これらの書き込み対応のディスクを使用される場合には、書き込みを行う機器の説明書や注意事項をよくお読みください。

■下記のディスクには対応していません。（再生できても正常に再生されないことがあります。）
- CD-G
- フォトCD
- CD-ROM
- CD-EXTRA
- VIDEO CD
- SACD
- SVCD
- コピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）

■下記のディスクは使用しないでください。ディスクの破損や本機の故障の原因になります。

ラベルなどを貼り付けたディスク

シールやテープ、のりが付着している

プリンターで作成したラベル

プロテクトフィルム、保護シート

ディスクアクセサリー（スタビライザーなど）

破損・変形したディスク

そっている

ひびやキズがある・欠けている

透明なディスク

全体が透明

一部が透明

円形以外の特殊な形状のディスク

ハート形

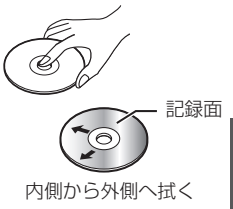
カード型

三角形

バリがある

■Dual Discについて
Dual Discとは、DVD規格に準拠した面（DVD面）と音楽専用面（CD面）とを組み合わせたディスクです。本機ではDual Discは使用しないでください。ディスクにキズがついたり、ディスクが取り出せないなどの不具合が発生する場合があります。

ディスクの取り扱いについて



- ディスクを持つときは記録面に触らないように持ってください。
- 使用する前など、記録面に付いたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。
- レコードスプレー、帯電防止剤などは使用しないでください。また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけるとディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- そらないように必ずケースに入れ、直射日光の当たる場所には保管しないでください。特に夏期、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなり高温になりますので放置しないでください。
- 長時間使用しないときはディスクを本機から取り出してください。

SDカードについて

- **本書ではSDメモリーカード／SDHCメモリーカードのことをSDカードと記載しています。**
- **SDカードに記録されているデータを本機で編集することはできません。**
- **本機はSD規格に準拠した下記のSDカードに対応しています。**

使用できるSDカードの種類（下記以外のSDカードは使用できません。）	
・SDカード（2 GB以下、256 MB以上を推奨） ・SDHCカード（4 GB～32 GB）（Class2～10）	※SDロゴ、SDHCロゴのある（SD規格準拠）カードのみ使用可 ※対応した機器でのみ使用可 ※SDXCカードには対応していません。 ※セキュリティ機能など特殊な機能が付いているSDカードには対応していません。

- SDカードの性能によっては、動作が不安定になったり認識しない可能性があります。
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ず専用アダプターに装着してご使用ください。ただしアダプターご使用の際は、正常に動作しない場合があります。
- **SDカードの初期化は本機で行ってください。**☞G-11
- SDソースで音楽再生中／初期化中にSDカードを抜かないでください。データが壊れたり、SDカードが破損するおそれがあります。オーディオをOFFにしてから、SDカードを取り出してください。
- SDカードの書き込みが可能な状態で使用してください。
- SDカードには寿命があるため、長時間使用すると、書き込みや消去などができなくなる場合があります。
- SDカードが不良の場合、正常に動作しません。
- ラベルがはがれていたり、ネームテープ（ラベル）が貼ってあるSDカードは使用しないでください。

SDカードの取り扱いについて

- 使用する前など、カートリッジの表面についたほこりやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。
- 使用条件範囲以外の場所（炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近く、湿気の多い場所や腐食性のものがある場所など）でのご使用や保存はしないでください。
- 長時間使用しないときは本機から取り出してください。
- 持ち運びや保管の際は、必ず収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属などで触れないでください。また、強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、分解したり、改造したり、水に濡らしたりしないでください。
- 静電気や電気的ノイズを受けるおそれのある場所に、SDカードを放置しないでください。データが破壊されるおそれがあります。

USB機器について

- **本機にはUSB機器は付属しておりません。**
- **本機から出ている付属のUSB接続ケーブルにUSB機器を接続してご使用ください。**
- **USB機器に記憶されているデータを本機で編集することはできません。**
- **USB機器再生中にUSB機器を外さないでください。**
- **32 GBまでの容量のUSBメモリーに対応しています。（256 MB以上を推奨）**
- **マスストレージクラスのUSBメモリーに対応しています。**
- **FAT16／FAT32のファイルシステムに対応しています。**
- **下記のUSB機器、接続には対応していません。**
  - ・パーティションが複数あるUSB機器
  - ・電流が500 mAを超えるUSB機器
  - ・パソコンに接続した際、ドライバを要求されるUSB機器
  - ・セキュリティ機能など特殊な機能が付いているUSB機器
  - ・USBハブ、USB延長ケーブルを介した接続
- **本機はUSB3.0には対応していません。USB3.0の機器を接続した場合、USB2.0で動作します。**
- **全てのUSB機器の動作を保証するものではありません。**

ウォークマン®について

本機はソニー社製ATRAC AD対応のウォークマン®を接続し、再生することができます。
※本機は画像および動画再生はできません。
※2014年2月現在に発表されているものに限ります。
※Windows Media Video(WMV)には対応していません。
※Walkman Phoneには対応していません。
※対応可能なウォークマン®については☞P-34

- ウォークマン®の種類によりウォークマン®の対応している音楽フォーマットが異なります。ウォークマン®に転送できる音楽フォーマットはウォークマン®に依存しますのでウォークマン®の説明書を参照してください。
- ウォークマン®に転送されたATRAC Advanced Lossless／WAV(PCM)形式の曲には対応していません。
- 本機に接続すると、本機起動中はウォークマン®へ充電を行います。
- **ウォークマン®(ATRAC AD)と認識し再生するファイルはOMAの拡張子 “oma” が付いたものだけです。**
  ※拡張子名は大文字でも小文字でもかまいません。
  ※異なった拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
  ※表示可能文字数は全角32文字、半角64文字となります。
- ドラッグ＆ドロップ転送した音楽ファイル、Content Transfarで転送した音楽ファイルは選曲モードのフォルダからのみ再生できます。
- Media Goから転送した音楽ファイルは、選曲モードの全曲やフォルダからのみ再生できます。
- x-アプリ、SonicStageから転送した音楽ファイルに対応しています。
  x-アプリ、SonicStageから転送した音楽ファイルはATRAC AD形式で保存されます。
- ウォークマン®で表示されるリストと本機で表示されるリストは内容が異なる場合があります。
- ウォークマン®で再生できるファイルでも、本機で再生できない場合があります。
- 本機で認識できるフォルダ階層はルートから8階層です。(ウォークマン®の対応している階層とは異なります。)
- 「歌詞ピタ」サービス／「ちょい聴きmora」サービス／おまかせチャンネル／おでかけ転送／ポッドキャスト／カラオケ・語学学習モードには対応していません。

対応可能なウォークマン®

2014年2月現在

モデル名	ミュージック(音楽)
NW-E305/E307	○
NW-E405/E407	○
NW-E505/E507	○
NW-E002/E003/E005	○
NW-E013/E015/E016	○
NW-E023F/E025F/E026F	○
NW-E042/E043/E044	○
NW-E052/E053	○
NW-E052K/E053K	○
NW-E062/E063	○
NW-E062K/E063K	○
NW-E083	○
NW-E083k	○
NW-A605/A607/A608	○
NW-A805/A806/A808	○
NW-A916/A918/A919	○
NW-A828/A829	○
NW-A845/A846/A847	○
NW-A855/A856/A857	○
NW-A865/A866/A867	○
NW-S203F/S205F	○
NW-S603/S605	○
NW-S703F/S705F/S706F	○
NW-S615F/S616F	○
NW-S636F/S638F/S639F	○
NW-S715F/S716F/S718F	○
NW-S736F/S738F/S739F	○
NW-S644/S645	○
NW-S744/S745/S746	○
NW-S754/S755/S756	○
NW-S764/S765/S766	○
NW-S774/S775	○

モデル名	ミュージック(音楽)
NW-S784/S785/S786	○
NW-S636FK/S638FK	○
NW-S736FK/S738FK	○
NW-S644K/S645K	○
NW-S744K/S745K	○
NW-S754K/S755K	○
NW-S764K/S765K	○
NW-S774K/S775K	○
NW-S784K/S785K	○
NW-S764BT	○
NW-S774BT	○
NW-F805/F806/F807	○
NW-F805K/F806K	○
NW-F805BT	○
NW-F885/F886/F887	○
NW-X1050/X1060	○
NW-Z1050/Z1060/Z1070	○
NW-ZX1	○
NW-M505	×
NW-HD1	×
NW-HD2	×
NW-HD3	×
NW-HD5/HD5H	×
NW-A1000/A1200	×
NW-A3000	×
NW-E103/E105/E107	×
NWD-W202	×
NWD-W253	×
NWD-W263	×
NWD-W273	×
NW-W274S	×
NW-WH303	×

iPod／iPhoneについて

対応可能なiPod／iPhone

iPodソースで使用可能なiPod／iPhone

2014年2月現在

iPod／iPhone モデル名	ソフトウェア バージョン(iOS)	iPod用接続ケーブル(別売)で接続		Lightningケーブルで接続	
		音楽再生	ビデオ再生	音楽再生	ビデオ再生
iPhone 5s	7.0.6以上	×	×	○	×
iPhone 5c	7.0.6以上	×	×	○	×
iPhone 5	7.0.6以上	×	×	○	×
iPhone 4S	7.0.6以上	○	○	×	×
iPhone 4	7.0.6以上	○	○	×	×
iPhone 3GS	6.1.5以上	○	○	×	×
iPhone 3G	4.2.1以上	○	○	×	×
iPod touch(第5世代)	7.0.6以上	×	×	○	×
iPod touch(第4世代)	6.1.5以上	○	○	×	×
iPod touch(第3世代)	5.1.1以上	○	○	×	×
iPod touch(第2世代)	4.2.1以上	○	○	×	×
iPod touch(第1世代)	3.1.3以上	○	○	×	×
iPod Classic	1.1.2以上	○	○	×	×
iPod Video	1.3以上	○	○	×	×
iPod nano(第7世代)	1.0.2以上	×	×	○	×
iPod nano(第6世代)	1.2以上	○	×	×	×
iPod nano(第5世代)	1.0.2以上	○	○	×	×
iPod nano(第4世代)	1.0.4以上	○	○	×	×
iPod nano(第3世代)	1.1.3以上	○	○	×	×
iPod nano(第2世代)	1.1.3以上	○	×	×	×
iPod nano(第1世代)	1.3.1以上	○	×	×	×

○：可能　×：不可

※第4世代以前のiPod、iPod miniおよびiPod photoには対応しておりません。

お知らせ

- iPod／iPhoneは最新のソフトウェアバージョンをアップル社のWebサイトよりインストールしてご使用ください。
  ※最新のソフトウェアバージョンでない場合、正しく動作できない場合があります。
- ソフトウェアのバージョンにより、本機接続中でもiPod／iPhone側の操作ができる場合がありますが、正しく動作しない場合がありますのでiPod／iPhone側で操作しないでください。
- iPod／iPhoneの機種、バージョンによっては一部機能の制限があります。
- ソフトウェアのバージョンはiPod／iPhone本体の“情報”よりご確認ください。
- 各iPod／iPhoneの仕様はiPod／iPhoneをお取り扱いの販売店へお問い合わせください。

使用上のお願い

- iPod／iPhoneを車内に放置しないでください。直射日光や高温などによってiPod／iPhoneの故障の原因となります。
- iPod／iPhoneの説明書もあわせてご確認ください。
- 本機への接続前と取り外し後で、iPod／iPhoneのリピートやシャッフルなどの設定が変わる場合があります。
- iPod touch／iPhoneを接続して使用する際は、iPod touch／iPhone本体側のアプリケーションを終了させてから使用してください。音飛びや誤動作の原因になる場合があります。

ハンズフリーについて

使用上のお願い

- 安全な場所へ停車してから通話を行ってください。
- **ハンズフリーを使用するときの通話料は、お客さまのご負担になります。**
- スピード違反取り締まり用レーダーの逆探知機(レーダー探知機)を搭載していると、スピーカーから雑音が出ることがあります。
- 割込通話(キャッチホン)や三者通話を契約しているときは、電話機本体で割込通話(キャッチホン)や三者通話を解除しておいてください。割込通話(キャッチホン)や三者通話機能には対応していません。
- 通話中に“カシャッ”という音が聞こえることがありますが、これはある無線ゾーンで電波が弱くなったときに、隣の無線ゾーンへ切り替わるために発生する音で、異常ではありません。
- 通話時は通話相手と交互にお話しください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声が相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなることがあります。(故障ではありません。)
- 車のキースイッチ「ON」直後やディスクを入れた直後は、電話の着信を受けることができません。
- 次のような場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなることがあります。
  ・悪路走行時　・高速走行時　・窓を開けているとき　・エアコンのファンの音が大きいとき
- 本機は全てのBLUETOOTH機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。接続するBLUETOOTH対応携帯電話はBluetooth SIG. Incの定めるBLUETOOTH標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。接続するBLUETOOTH対応携帯電話が上記BLUETOOTH標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できない、表示／動作が異なる、などの現象が発生する場合があります。
- 携帯電話にはご利用できない機種があります。適合携帯電話機種は、三菱自動車販売会社にお問い合わせください。
- auの携帯電話をご使用の場合には、機種によって「回線交換モード(ASYNC／FAX)と「パケットモード」の2種類の通信モードがありますが「パケットモード」でご使用ください。
- ソフト更新対応の携帯電話をお使いの場合は、ソフトウェアを最新にアップデートしてご利用ください。詳しくは携帯電話会社のWebサイトでご確認ください。
- 携帯電話と接続した場合は、本機との間に障害物のない場所に携帯電話を置いてください。
- 以下の場合は、ハンズフリーは使用できません。
  ・使用する携帯電話の圏外に車が移動したとき
  ・トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいるとき
- BLUETOOTH通信用の車両側アンテナはナビに内蔵されていますので、携帯電話を金属に覆われた場所やナビ本体から離れた場所に置くと音が悪くなったり接続できない場合があります。
- デジタル方式のため、声が多少変わって聞こえたり、周囲の音がざわめきのように聞こえたりすることがあります。
- ハンズフリーは付属のマイクを使用して通話します。
  ・マイクに近づいたり、意識的にマイクの方向に向いたりせずに、安全に運転できる姿勢で大きな声でハッキリとお話しください。
- ハンズフリーメニューで各操作をすることができますが、本機の使用状態によってはボタンを押しても画面が切り替わらない(表示しない)ことがあります。

- オーディオ再生中に発信および着信された場合、再生中のオーディオは消音状態となります。
- 通話中に車(本機)から離れる(無線通信が不可能な状態になる)と通信は終了(切断)されます。携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」「セルフモード」「FAXモード」などの機能を解除してからBLUETOOTH接続してください。
- ハンズフリー状態で、携帯電話側での発着信操作、保留操作(着信拒否、転送も含む。)はしないでください。誤作動をする場合があります。
- 本機で携帯電話を充電することはできません。
- 本機は2.4 GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。
  ・本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定省電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します。)が運用されています。
  1 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  2 万一、本製品から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、電波の発射を停止した上、お買い上げの販売会社へご相談ください。
  3 その他、本製品から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売会社へご相談ください。
- 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
  ・分解や改造をする　・ユニット本体に貼ってある定格銘板をはがす
- 携帯電話が本機以外の機器と接続されている場合、本機とBLUETOOTH接続できない場合があります。その場合は、本機以外の機器とのBLUETOOTH接続を切断してください。
- 通話先の相手によっては、トーンを使っての操作ができない場合があります。
- 本機では、通話アプリによるハンズフリー電話には対応していません。

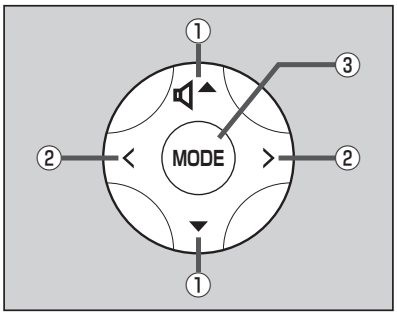
ステアリングオーディオリモコンスイッチについて

お車によっては、ハンドルにスイッチが付いている場合があります。その場合、運転中にオーディオの操作が可能です。

※ハンドルやステアリングオーディオリモコンスイッチの形状は車両によって異なります。

※対応車両は三菱自動車販売会社におたずねください。

イラストはイメージ図です。



①音量ボタン(▲／▼)

▲側に押すと音量が大きくなり、▼側に押すと音量が小さくなります。
長押しで連続して音量の増減ができます。

②選曲／選局ボタン(＜／＞)

- FM／AMを聞いているとき
  ＞側に押すとプリセットされている次の放送局を選局します。
  ＜側に押すとプリセットされている前の放送局を選局します。
  長押しで自動選局になり、放送局を受信すると止まります。
- TVを見ているとき
  ＞側に押すとチャンネルリスト上の次の放送局を選局します。
  ＜側に押すとチャンネルリスト上の前の放送局を選局します。
  長押しで自動選局になり、放送局を受信すると止まります。
- CD／SD／WALKMAN®／USB／iPodを聞いているとき
  ＞側に押すと次のトラックに進みます。
  ＜側に押すと前のトラックに戻ります。
  ＞側の長押しで早送り、＜側の長押しで早戻しをします。

③ MODE ボタン

ボタンを押すたびに、
CD → FM → AM → TV → VTR → AUX →
iPod ← WALKMAN®／USB ← SD ←
とソースが切り替わります。

お知らせ

- オーディオ画面⇔ナビゲーション画面の切り替えはナビ本体パネルの AV ⇔ 現在地 を押して切り替えてください。
- オーディオOFFのときは音量ボタン／選曲／選局ボタンは操作できません。
  ※ハンズフリー着信中は着信音量を、ハンズフリー発信中は呼び出し音を、通話中は受話音量を音量ボタンで操作可能です。
- 以下の場合はそのソースを飛ばします。
  CDディスク未挿入、iPod未接続、SDカード未挿入、USB未接続、AUX未接続、VTRの接続設定を しない に設定

音楽ファイルについて

● 音楽データの規格について

	MP3	WMA	AAC
使用可能なメディア	CD-R／-RW、 SD、USB	CD-R／-RW、 SD、USB	SD、USB
データの規格、プロファイル	MPEG Audio Layer 3	Windows Media Audio	Low Complexity
ファイル拡張子	MP3、mp3	WMA、wma	M4A、m4a
最大フォルダ名／ ファイル名文字数	全角32文字 半角32文字(CD)、半角64文字(SD、USB)		
フォルダ名／ファイル名 使用可能文字	A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、_(アンダースコア)、 全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角／半角)		
最大フォルダ階層	8階層		
1フォルダ内の最大ファイル数	255(ファイル+フォルダ数：ルートフォルダ含む)		
1メディア内の最大ファイル数	CD　　：512(ファイル+フォルダ数：ルートフォルダ含む) SD、USB：10,000		
1メディア内の最大フォルダ数	CD　　：255 SD、USB：400		
表示可能なタグ	CD　　：トラック名／アーティスト名／アルバム名 SD、USB：トラック名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル名		
タグ表示可能文字数	ID3タグ Ver1.0/1.1： 全角15/半角30文字 ID3タグ Ver 2.2/2.3： CD： 全角30/半角60文字 SD、USB： 全角32/半角64文字	CD： 全角30/半角30文字 SD、USB： 全角32/半角64文字	全角32/半角64文字
ジャケット写真	CD　　：非対応 SD、USB：対応		

※m3u／MP3i フォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシスは非対応です。
※WMA9 Professional／WMA9 Losslessは非対応です。
※DRM(デジタル著作権管理)には対応していません。
※WMAはWindows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応しておりません。
※著作権保護された音楽ファイル(SD-Audio規格など)は再生できません。
※2チャンネルを超えるチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
※ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先。

● **音楽ファイルの再生について**

・極端にファイルサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できないことがあります。

・選曲モードのフォルダやトラックリストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客さまが予想している順とは異なった順で表示されることがあります。

※正しい順番で表示させるには、ファイルの先頭に“01～99”など番号をつけてパソコンで期待する順番(名前順)などに並べ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。メディア上で番号を編集しても表示される順番は変わりません。

● **音楽ファイルのファイル名について**

フォルダ名+ファイル名の合計文字数が半角250文字、全角125文字を超える場合、再生できません。

● **ジャケット写真について**

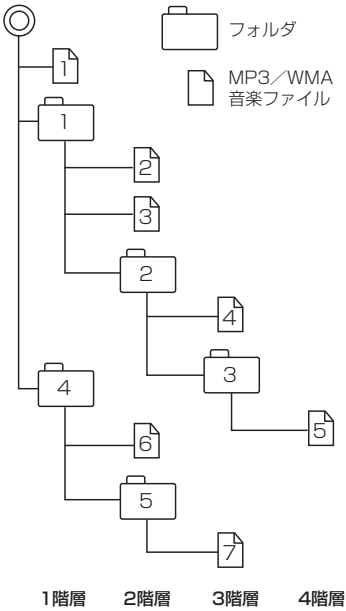
・MP3／WMA／AACファイルで対応しているジャケット写真の画像はJPEG形式のみです。他の画像形式の場合、正常に表示できないことがあります。

・音楽ファイルに付けられている画像データのサイズや解像度が大きい場合、正常に再生や表示ができなかったり、音飛びの原因となる場合があります。

・176×176ピクセル以下の画像は表示エリアより小さく表示される場合があります。

・1つのファイルに複数の画像のジャケット写真をファイルに登録してある場合、正常に表示できない場合があります。

● **階層と再生順序について**



〔以下はCDのMP3／WMAのみ〕

・ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。

・本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。

・ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。

・再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。

・使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。

・通常は、1→2→3→4→5→6→7の順に再生します。

・同じ階層に複数のMP3／WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。

・8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層を2つ以下にすることをおすすめします。

● 再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

		MP3		WMA		AAC
		MPEG1	MPEG2	WMA7	WMA9 standard	
サンプリング周波数 (kHz)	16.000	−	○	−	−	○
	22.050	−	○	−	−	○
	24.000	−	○	−	−	○
	32.000	○	−	○	○	○
	44.100	○	−	○	○	○
	48.000	○	−	−	○	○
ビットレート (kbps)	8	−	○	−	−	○
	16	−	○	−	−	○
	24	−	○	−	−	○
	32	○	○	−	−	○
	40	○	○	−	−	○
	48	○	○	○	○	○
	56	○	○	−	−	○
	64	○	○	○	○	○
	80	○	○	○	○	○
	96	○	○	○	○	○
	112	○	○	−	−	○
	128	○	○	○	○	○
	144	−	○	−	−	○
	160	○	○	○	○	○
	192	○	−	○	○	○
	224	○	−	−	−	○
	256	○	−	−	○	○
	320	○	−	−	○	○
	VBR (可変ビットレート)	○	○	−	○	−

・32 kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
・64 kbps以下のビットレートで再生されたMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
・一般的にビットレートが高くなるほど音質は良くなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps以上、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたファイルの使用をおすすめします。
・フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。
・音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけてあるものがあります。著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。

● MP3／WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内の全てのファイルをチェックします。CD-RWはディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。

● マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3／WMAファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once”で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

お知らせ

- ディスクの特性により読み取れない場合があります。
- ディスク内のファイルをチェックしている間、音は出ません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3／WMA／AACファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- MP3／WMA／AACファイルの作成の詳細はエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
- MP3／WMA／AACファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。セッションクローズ、ファイナライズ処理を行っていないディスクは再生できません。
- 再生不可能なファイルがある場合、そのファイルはスキップします。（再生しません。）
- MP3以外のファイルに“MP3”の拡張子、WMA以外のファイルに“WMA”の拡張子またはAAC以外のファイルに“m4a”の拡張子を付けると、MP3ファイル／WMAファイル／AACファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3／WMA／AACファイル以外に、“MP3”／“WMA”／“m4a”の拡張子を付けないでください。
  MP3／WMA／AAC以外の形式のファイルは動作を保証しておりません。

仕様

モニター部

種類	液晶カラーモニター
駆動方式	TFTアクティブマトリックス方式
画面サイズ	7 V型
使用光源	LED

地上デジタルテレビ部

受信チャンネル	000～999 UHF：13～52チャンネル
放送方式	地上デジタル放送方式(日本) 12セグ／ワンセグ
アンテナ入力端子	専用端子

ナビゲーション部

受信周波数	1575.42 MHz(C/Aコード)
受信方式	パラレル16チャンネル
受信感度	－145 dBm
位置更新時間	約0.25秒
フォーマット	オリジナルメモリーフォーマット
アンテナ入力端子	専用端子

CD部

S／N比	75 dB以上
周波数特性	20 Hz～20,000 Hz
高調波ひずみ率	0.1 %以下(1 kHz)

ラジオ・チューナー部

回路方式	AM／FM／MPX ラジオPLL方式
受信周波数	FM 76.0 MHz～90.0 MHz AM 522 kHz～1629 kHz
実用感度	FM 15 dB(μV) AM 37 dB(μV)
S／N比	FM 55 dB(15 kHz L.P.F使用時) AM 50 dB(15 kHz L.P.F使用時)
ステレオセパレーション	FM 20 dB(15 kHz L.P.F使用時)
歪率	FM／AM 0.5 %

入出力端子

電源入力端子	TH18専用コネクター
外部入力端子	TH8専用コネクター (ケーブル別売)
GPSアンテナ入力端子	GPSコネクター
ラジオ入力端子	GT13専用コネクター
(VICS入力端子	ラジオ入力端子と共用)
iPod端子	6ピン専用コネクター
マイク入力端子	TH04専用コネクター
AUX入力端子	3.5 φ
USB端子	4ピン専用コネクター

その他

供給電源電圧	DC12 V
最大出力	43 W×4(14.4 V)
外形寸法	206×106×163 mm (幅×高さ×奥行き) ※突起部は除く。
質量(本体のみ)	2.4 kg

※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。
※本書に記載の寸法・質量はおおよその数値です。
※画面サイズのV型(7 V型など)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

初期設定一覧

各項目の初期設定は下記のとおりです。

ナビゲーション

画面表示	メイン画面	進行方向を上 スケール＝25 m
	右画面	3D スケール＝100 m
FM VICS	周波数設定	自動選局＝ON プリセット選局＝未設定

表示

メイン画面用地図設定
名称の文字サイズ＝大
吹き出しを表示＝する
標高地図を表示＝する
地図モード＝進行方向
3D視角調整＝10目盛中左から1目盛目

右画面用地図設定
右画面に地図表示＝しない
名称の文字サイズ＝大
吹き出しを表示＝する
標高地図を表示＝する
地図モード＝3D
3D視角調整＝10目盛中左から1目盛目

地図色設定
昼夜切り替え＝時間連動
地図切り替え＝ノーマル
標高地図色＝季節連動

情報バー表示設定
MAPCODEを表示＝する
地図情報を表示＝住所名
AV情報を表示＝しない

その他設定
緯度・経度を表示＝しない
冠水注意ポイント表示＝する
市街地図での冠水注意ポイント表示＝する
登録地を表示＝する
映像中の時計表示＝する
安全運転メッセージ＝する
エコ運転機能を表示＝する
アニメーションを表示＝する
ランドマーク
　カーディーラー＝三菱
　レンタカー＝MMCレンタカー
カーマーク＝矢印(レッド)
自車位置＝未設定
走行軌跡
　軌跡記録スタート／ストップ＝ストップ
　軌跡表示＝OFF
　軌跡記録データ なし

案内

ルートの全表示＝する
交差点情報の表示＝する
ETCレーンの表示＝する
JCTビューの表示＝する
ルート情報の表示＝しない
ハイウェイモードの表示＝する
交差点拡大図の表示＝する
リアル3D表示＝する
方面看板の表示＝する
高速道路での逆走報知＝する
AV画面中の案内割込み＝する

探索

探索条件＝自動
料金表示＝普通車
自動再探索＝する
フェリーを優先＝しない
季節規制考慮＝する
時間規制道路を考慮＝する
スマートICを利用＝しない
ルート学習結果を利用＝する
VICS自動再探索＝する
リアルタイム交通／VICS情報を考慮＝する
統計交通情報を考慮＝する
到着予想
　自動＝ON
　一般道＝ 50 km/h
　国道＝ 65 km/h
　有料道路＝ 80 km/h

渋滞情報

VICS表示設定	一般道＝ON、　有料道＝ON 規制＝ON、　点滅＝ON 駐車場＝ON、 渋滞無し＝OFF、渋滞混雑＝ON
渋滞情報保存時間設定＝1時間	

CARWINGS

オペレータ接続設定	音声／データ同時機能 ＝自動検出(推奨)
情報チャンネル設定	自動取得＝しない 取得時間＝30分毎 取得チャンネル＝未設定 読み上げ自動再開時間＝5秒
渋滞情報取得設定	行き先の設定時に取得＝しない 案内時の取得時間間隔 ＝自動ダウンロードしない
プローブ情報設定	プローブ情報送信＝する

イージーセットアップ	未設定
登録地編集	自宅＝未登録 お気に入り地点＝未登録 登録地点＝未登録
セキュリティ	セキュリティ設定＝しない セキュリティインジケータ＝しない 盗難多発地点　音声案内＝する 盗難多発地点　表示案内＝する 市街地図での盗難多発地点表示案内＝する iPod抜き忘れ案内＝する
オプションボタン	消音
音声案内	15段階中5段階目 消音＝OFF 詳細設定 合流案内＝案内中 踏み切り案内＝案内中 専用レーン案内＝する 高速走行時の音量切替＝する VICS案内＝する 休憩メッセージ案内＝する トンネル出口案内＝する
ユーザーカスタマイズ	ユーザー切替＝ユーザー1 ユーザー名表示＝する
Language	日本語

車両メンテナンス	エンジンオイル交換＝しない オイルフィルタ交換＝しない タイヤ交換＝しない クリーンフィルタ交換＝しない バッテリー交換＝しない タイヤローテーション＝しない お好み1＝しない お好み2＝しない
キー操作音	キー操作音＝する
Quick MENU	お気に入り地点 再探索 渋滞地点 音声案内 走行軌跡 右画面表示 ユーザー切替 登録・履歴消去 地点を登録 オプション設定

オーディオ

FADE／BALANCE設定

各項目の調整値＝0

イコライザー設定

設定＝OFF

サラウンド設定

DSP=HALL

車速連動音量

設定＝MIDDLE

音量調整

音量＝6

外部接続設定

VTR接続＝する

CD

再生モード＝通常再生

FM／AM

FM周波数＝76.0 MHz
AM周波数＝522 kHz
交通情報＝1620 kHz

SD／WALKMAN® ／USB

選曲モード＝全曲
再生モード＝通常再生

iPod

モード切替＝ミュージック

TV〔12セグ／ワンセグ〕

エリア変更＝自動
視聴エリア＝東京
チャンネルリスト＝登録済み(東京)
プリセットリスト＝未登録
番組表＝ 3ch 表示
呼出＝エリア
郵便番号設定＝ 0000000
各種設定
　放送自動切替＝12セグ優先
　中継・系列局サーチ＝自動
　サービス設定＝テレビ／データ
　チャンネル設定＝サービスch
　文字スーパー表示＝第1 言語
　字幕表示＝しない

ハンズフリー

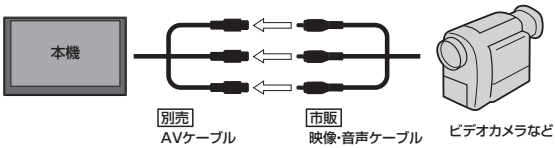
パスキー＝1212	接続確認案内＝する
着信音量＝＋8	通話中の着信拒否＝する
受話音量＝＋8	自動応答保留＝しない
送話音量＝＋4	デバイス名＝MM114D

映像調整

＜映像調整＞
明るさ＝30(ナビ、リヤビューカメラ共通)
明るさ(イルミ*1ON時)
　＝8(ナビ)
　＝18(リヤビューカメラ)
コントラスト
　＝16(ナビ、リヤビューカメラ共通)
コントラスト(イルミ*1ON時)
　＝16(ナビ、リヤビューカメラ共通)
色の濃さ＝16(ナビ、リヤビューカメラ共通)
色合い＝16(ナビ、リヤビューカメラ共通)
画面サイズ＝フル

※ナビゲーション画面時は、色の濃さ／色合い／ディスプレイ選択は表示されません。
＊1…イルミネーション

別売品(システムアップ)について

別売品が必要な機能	別売品の名称
本機で車載カメラ映像を見る	・リヤビューカメラ
本機でiPod／iPhoneのビデオを見る	・iPod用接続ケーブル ※DockコネクタのあるiPod/iPhoneのみビデオ対応しています。
本機で外部機器の映像を見る／ 音声を聞く (VTRソースの場合)	・AVケーブル 

お知らせ

・本機で使用できる別売品については、お買い上げの販売会社におたずねください。

商標など

- BLUETOOTHおよびBLUETOOTHロゴは、米国Bluetooth SIG. Incの登録商標です。
- カーウイングス／CARWINGSは日産自動車株式会社の登録商標です。
- “NaviCon” は株式会社デンソーの登録商標です。
- 「マップコード」および「MAPCODE」は株式会社デンソーの登録商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的又は非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
  (i) 画像情報をAVC規格に準拠して(以下、AVCビデオ)記録すること。
  (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。
  詳細についてはMPEG LA, LLCホームページ(http://www.mpegla.com)をご参照ください。
- MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
- 本製品は、Microsoft Corporationと複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配布は、Microsoftもしくは権限を有するMicrosoftの子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。

Made for iPod iPhone

- “Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
  Lightning is a trademark of Apple Inc.
- iTunes is a trademark of Apple Inc.
- SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、およびInternet Explorerは米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- “WALKMAN®” “ウォークマン®” はソニー株式会社の登録商標、“ATRAC3plus”、“ATRAC Advanced Lossless” は、ソニー株式会社の商標です。
- Androidは、Google Inc.の商標です。
- x-アプリ、SonicStage、Media Go、Content Transferはソニー株式会社の商標または登録商標です。
- 歌詞ピタはソニー株式会社の商標です。
- 「mora」およびモーラの名称は株式会社レーベルゲートの登録商標または商標です。
- VICS® は一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
- “ゼンリン” および “ZENRIN” は株式会社ゼンリンの登録商標です。
- タウンページは、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。
- 本機はARIB(電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。

- 本機は許諾契約に基づき当社が使用許諾を受けた第三者のソフトウェアを含んでおり、本機からのソフトウェアの取り出し、複製、リバースエンジニアリング、その他の許諾されていない当該ソフトウェアの使用は固く禁じられています。また、当該ソフトウェアを更新する目的で配布されるプログラム、データについても同様の扱いとなります。
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
- 本機を法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- 本機は、以下のMozilla Public Licenseの適用を受けるソフトウェアが含まれています。
  ・以下のオリジナルコードからの派生コード
  　js-1.5.tar.gz
  ・上記オリジナルコードの初期開発者
  　Netscape Communications Corporation

  お客様は、以下のホームページに掲載されるMozilla Public License の条件に従い、上記ソフトウェアのソースコードを入手する権利があります。上記ソフトウェアのソースコードの入手方法については、以下のホームページをご覧ください。
  http://panasonic.jp/car/cus/info/license/Mozilla/
  なお、ソースコードの中身についてのご質問にはお答えできませんので、あらかじめご了承ください。
  また、上記以外の当社が所有権を有するソフトウェアモジュールについては、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ホームページに掲載されるファイル情報	
・修正内容(2011年6月20日公開)	diff.pdf
・修正されたソースコード(2011年6月20日公開)	JS.zip
・Mozilla Public License(2011年6月20日公開)	Mozilla Public License.pdf

- 本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

個人情報の取り扱いについて

本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合はプライバシー保護のため、お客さまの責任において本機の情報を消去してください。☞ G-11

保証とアフターサービス

保証について

保証期間は、お買い上げ日またはお取付け日から３年です。
ただし、その期間内でも走行距離が60,000 kmまでといたします。
同梱の保証書に必要事項が記入されているかお確かめのうえ、大切に保管してください。

アフターサービスについて

本機が正常に動作しないときは、この説明書を再度ご覧になってお調べください。
それでも本機が正常に動作しないときは、お買い上げの販売会社にご相談ください。

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

さくいん

あ 行

案内画面設定……E-8
案内スタート／案内ストップ……D-12
一般優先(ルート探索条件)……D-5
緯度・経度……C-13
緯度経度表示設定……E-3
ウォークマン®……K-16
ウォークマン®対応可能機種……P-34
迂回探索……D-19
英語表示……G-8
エコ運転診断……F-7
エラーメッセージ……O-17
オーディオをON／OFFする……K-3
お買い上げ時の状態に戻す……G-11
お気に入り地点編集……E-13
お気に入り地点を削除……E-16
オプションボタン……G-12
オペレータ接続(カーウイングス)……H-4
音楽ファイルについて……P-39
音声案内……G-9, P-4

か 行

カーウイングス……H-1
各部のなまえとはたらき……A-16
画面消……A-16
韓国語表示……G-8
キー操作音設定……G-19
季節連動……E-2
距離優先(ルート探索条件)……D-5
緊急情報(FM多重)……F-4
クイック ルート探索……D-6
携帯電話アドレス転送……N-7
経由地に設定……B-10
経由地の入れ替え……D-10
経由地の削除……D-10
経由地の変更……D-10
経由地への残距離表示……B-11, E-8
経由地を追加……D-9
現在地表示……B-7
交差点情報……B-3
高速道路逆走報知……E-11
交通情報(VICS情報)……F-2

さ 行

再生できるディスク……P-30
再生モード……K-6, K-13, K-14, K-19
最速ルート探索……D-2
サンプリング周波数……P-41
時間規制道路を考慮……D-22
時間連動……E-2
自車マーク……B-3, E-6
システム情報……F-11
施設の詳細……B-10
自宅登録……B-8
自宅登録の削除……E-16
自宅へのルートを探索……D-6
自宅編集……E-13
自動再探索……D-21
シミュレーション走行……D-18
ジャケット写真表示……P-40
シャッフル再生……K-13
住所検索……C-4
渋滞情報取得……H-6
渋滞情報取得時間……H-18
渋滞情報保存時間設定(VICS)……E-19
渋滞予測回避……D-16
渋滞予測ルート……D-16
周辺施設検索……C-9
出荷状態に戻す……G-11
出発地に設定……B-10
出発地の変更……D-7
主要地図更新……J-2
消音……G-12
初期設定一覧……P-44, P-46
スキャン再生(イントロ)……K-6, K-19
スマートIC……D-21, D-23
スマートフォン連携……C-14
スモール連動……E-2
セキュリティインジケータ……A-16, G-3
セキュリティ設定……G-2
接続確認……G-10
接続設定(携帯電話)……G-14
センサー学習結果の初期化……G-11
走行軌跡……E-7

た 行

探索条件……D-5, D-11, D-21
地図画面の見かた……B-2
地図記号……P-24
地図情報表示設定(情報バー)……E-3
地図の拡大・縮小……B-6
地図表示(方位)の切り替え……B-4
地図を表示する……B-7
地点を登録……E-12
地点を編集……E-13
中国語表示……G-8
テナント情報……B-10
統計交通情報……D-16, D-21, D-23
到着予想時刻表示……B-3
盗難多発地点表示……B-3, G-4
登録設定(携帯電話)……G-13
登録地の並び替え……E-17
登録地の編集……E-13
登録地表示設定……E-4
登録地を削除……E-16
登録・履歴の消去……G-11
道路交通情報……K-9

な 行

日時指定探索……D-16

は 行

バージョン情報……F-11
ハイウェイモード……B-12
パスワード……G-2
ハンズフリー通話設定……N-6
ハンズフリー電話……N-2
ビットレート……P-41
標高地図表示……E-2
フェリーを優先……D-21
フォルダ名編集……E-15
複数ルート探索……D-2
方面看板表示……E-9
保存したルートの呼び出し／削除……D-14

ま 行

マルチセッション……P-41
目安線(リヤビューカメラ)……I-2
メンテナンス設定……G-6
目的地に設定……B-10
目的地の入れ替え……D-10
目的地の追加……D-8
目的地の変更……D-7
目的地への残距離表示……B-3
目的地履歴……C-8
目的地を探す……C-1
文字サイズ……E-2
文字修正……A-23
文字／数字の入力方法……A-21

や 行

ユーザーカスタマイズ……G-7, G-8
有料優先(ルート探索条件)……D-5

ら 行

ラジオ……K-7
ランダム再生……K-6, K-19
リアルタイム交通VICS／VICS情報を考慮……D-21, D-23
リダイヤル……N-4
リピート再生……K-6, K-13, K-19
リヤビューカメラ……I-2
ルート学習……D-23
ルート学習結果の初期化……G-11
ルート情報……B-11
ルート設定……D-2
ルート全表示……D-12
ルート沿い……C-9
ルート探索……D-3, D-16
ルート探索条件設定……D-21
ルート変更……D-7

わ 行

ワンセグ……L-5

数字・アルファベット

3D地図表示……B-4
AAC……P-39
AUX(外部入力)……M-1
AV情報表示設定(情報バー)……E-3
AVソース切替……G-12
CARWINGS……H-1
CARWINGS停止申請……G-11
CARWINGSの初期化……G-11
E1Grand Prixのご案内……F-8
eco(ルート探索条件)……D-5
FM多重……F-2
GPS受信表示……B-3
GPS情報を見る……F-9
iPod／iPhone対応可能機種……P-35
iPod／iPhoneを接続する……K-15
iPod抜き忘れ案内設定……G-5
JCTビュー表示……E-8
Language……G-8
MAPCODE……C-13
MAPCODE表示設定(情報バー)……E-3
MP3……P-39
NaviCon……C-14
Quick MENU……B-9, B-13
SDHCカード……P-31
SDカード……A-20, P-31
SDカードの初期化……G-11
TVの初期化……G-11
USB機器を接続……K-20
VICS……F-2
VICS自動再探索……D-23
VICS渋滞情報(矢印表示)……F-2, F-3
VICS情報マーク……F-3
VICS情報を考慮……D-23
VICSタイムスタンプ……D-15
VTR(外部入力)……M-1
WMA……P-39

本機は、三菱自動車工業株式会社向けに、パナソニック株式会社オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社が開発・製造しています。
お問い合わせは、裏表紙に記載の「三菱自動車　お客様相談センター」へお願いいたします。
カーウイングスに関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

カーウイングスお客さまセンター
0120-981-523
受付時間：9:00～17:00（年末年始を除く）

MITSUBISHI MOTORS

お問い合わせ，ご相談は下記にお願いいたします。

三菱自動車
お客様相談センター
(Customer Relations)

全国共通フリーダイヤル
(Toll Free)
0120-324-860

お客様の個人情報は厳重に取り扱い，お問い合わせへの対応に使用いたします。
また，ご相談内容によっては適切な対応をさせていただくため，三菱自動車販売会社等へ必要な範囲で情報を開示し，当該販売会社等からお客様にご連絡を取らせていただく場合もございますので，予めご了承ください。
なお，当社における個人情報の取り扱いの詳細については三菱自動車ホームページ（www.mitsubishi-motors.co.jp）にて記載しております。